知多の自然観察

2021(令3)年 1月～12月

年　報

拾ってきた木の実など使って親子で“自然物工作”

知多自然観察会

－愛知県自然観察指導員連絡協議会知多支部－

目　　次

頁

1 目　　次 ---------- 1
2 編集について 2
3 知多自然観察会について
・概　　要 3
・会　　則 4

4 総 会 議 事 録 ---------- 6

5 2021年の事業計画（会員用） ---------- 10

6 支部担当の事業 ---------- 17
・持ち寄り会-会員宿泊研修-県委託観察会-等はコロナ禍で中止

7 ブロック担当の観察会
(1) 阿久比ブロック ---------- 18
(2) 大　府　〃 24
(3) 武　豊　〃 26
(4) 知　多　〃 ---------- 35
(5) 東　海　〃 44
(6) 常　滑　〃 49
(7) 半　田　〃 ---------- 55
(8) 東　浦　〃 61
(9) 美浜・南知多　〃 69

8 臨時の観察会 ---------- 72
・加木屋緑地「ふるさとの自然に親しもう」No4,No1,No2
・東海市上野新川「上野新川で生き物を調べよう」
・加木屋緑地「アサギマダラを観察しよう」ふるさと再生プロジェクト ③/全4回
・於大公園「令和３年度知多地域みどりの少年団交歓会」

9 発表の場（会員の投稿記事） ---------- 80
（各テーマの掲載ページは P.80 に記載）
・蝉(セミ）の天ぷらを食す　・ニホンミツバチの解放巣　・ムカデの卵
・チャダイゴケ（キノコの仲間）　・仙人の髭（ひげ）-センニンソウの果実-
・モグラの捕獲（…を狙って）

10 役員一覧表 ---------- 89

11 会員専用ページ（ホームページ）の内容 ---------- 90

12 持ち寄りギャラリー（試作ページ） ---------- 91

13 編集後記 ---------- 92

【編集について】

知多自然観察会ＨＰの URL
http://chitakan.com/　　または
http://prosv7.tok2.com/~chitakan/

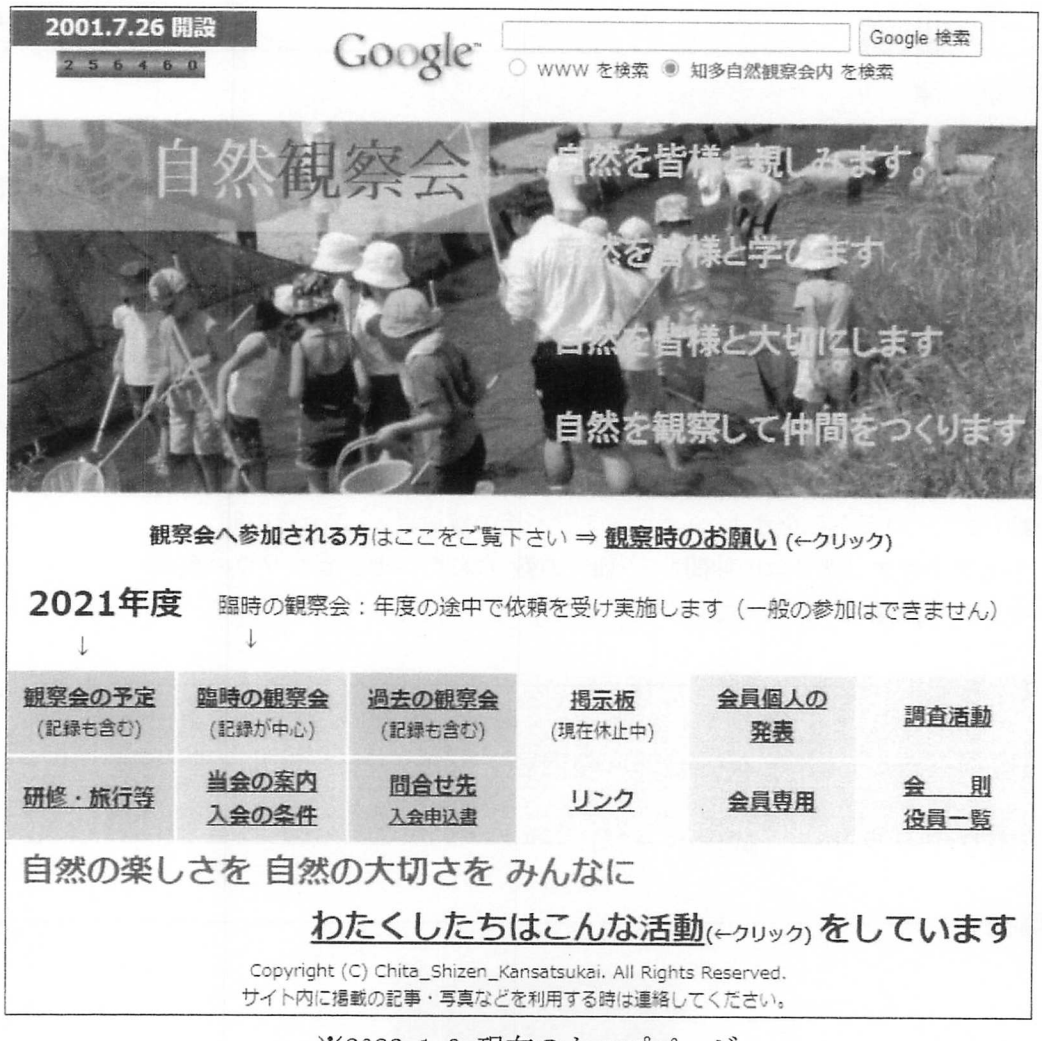
この「2021 年 年報」は 2021 年 1 月～12 月の活動の報告です。

また、この冊子に掲載の記事は、すべて、上記のホームページからの抽出です。

即ち、掲載の活動例などは、ホームページをプリントアウトしたものをそのまま利用しています。ただし、自然観察会の紹介については一つの活動を印刷しますと文字や掲載写真の多いページは２，３ページになるものもあります。そのような場合は、ここでは、すべて、縮小印刷するなどして最初の１ページを程よく収まる分だけを印刷し掲載しています。

そのため掲載の写真が活動の中心を表していないことが多々あります。このことも併せて宜しくご承知下さい。機会がありましたら、是非、上記ホームページにアクセスいただき実際の全ページをご覧下さい。

下記画面は知多自然観察会ホームページのトップページです。



※2022.1.3 現在のトップページ

本 会 の 概 要

1．名 称 等

・会の名称　知多自然観察会　（愛知県自然観察指導員連絡協議会知多支部）
・設立年月　１９８２年５月
　　知多地方自然観察研究会の名称で発足（会員８名で発足）
・周年記念　1992.6　発足 10 周年記念大会開催（半田市勤労会館）
　　2002.5　　20 周年　　（知多市地域文化センター）
　　2012.11　　30 周年　　（　　〃　　）
　　2022.11.19　40 周年　　〃　　開催予定（会場未定）
・会則制定　2006.2.19 総会で承認
・総　　会　原則、毎年２月に開催
・事業年度　４月から翌年３月。ただし、会計年度は１月から１２月
・会　　員　６９名（2020 年 12 月末 現在）
・役　　員　１５名（顧問、代表、副代表、庶務、会計、会計監査、世話役）
・ブロック　９ブロック
　　（阿久比、大府、武豊、知多、東海、常滑、半田、東浦、美浜・南知多）
・年 会 費　１，０００円

2．自然観察会の実施状況（2021 年１月～１２月）

・支部担当事業　役員会、会員研修、県委託事業、総会等で……１９回
　　（上記の 19 回の内、コロナ禍で中止…3 回）
・自 然 観 察 会　本会主催観察会（ブロック主催の観察会）……２７回
　　（上記の 27 回の内、コロナ禍で中止…0 回）
　　市町等主催観察会（前年度に予約済）……６０回
　　（上記の 60 回の内、コロナ禍で中止…22 回）
・観察会の場所　公園、野道、川、海岸、里山、神社、湿地
・一般参加者数　少ないとき…０～１家族（２，３名）　多いとき…数十名
　　当日指導員…２～10 数名（特別な場合は 20 数名）
・雨 天 の 場 合　雨天は原則中止。ただし、ブロック主催の観察会は担当指導員及び他の指導員が集合するので、中止宣言のあと、そのまま指導員だけで観察に出発する場合もある。一般参加者もよければ一緒に行動することは可能である。

3．観察会の日時　原則、土曜または日曜　９：３０～１１：３０

・公園…駐車場に集合。公園内の散策路から観察
・野道…適切な駐車場から野道を歩く。側溝（小川）があればタモを入れたりする
・海岸…　〃　から海岸へ移動。潮位の事前確認が必要
・ 川 …　〃　から川へ移動。ハシゴで昇降する。夏期はテントも必要
・朽木…林の中の朽ち木をマイナスドライバーでばらす
・工作…自然の材料を利用。グルーガンを使用する場合もある
・ 夜 …日没頃に集合。ナイトハイクしながら観察。灯火採集装置をセットする

知多自然観察会　会則

(名　称)　第１条　本会は知多自然観察会と称する。

(目　的)　第２条　自然観察会を通して自然とつきあうことの楽しみを人に広めるとともに活動の場となる自然を守るように努力する。

(事　業)　第３条　前条の目的を達成するため次の事業を行う。
自然観察会ガイド、里山活動、自然物の工作、生きもの調査、総合的学習のお手伝い、会員研修会など

(会　員)　第４条　自然観察指導員講習会を受講した者、または、本会の目的に賛同し、本会への参加を希望する者とする。

(会　費)　第５条　会員は毎年５月末日までに会費を納入しなければならない。

(退　会)　第６条　退会を希望する者は代表または世話役に申し出るものとする。
２．会費未納の者は会員の資格を失う。

(役　員)　第７条　本会には次の役員をおく。

顧　　問	若干名
代　　表	１名
副 代 表	若干名
世 話 役	市、町からの代表
庶　　務	１名
会　　計	１名
会計監査	２名

(役員の任期)　第８条　任期は一年とするが再任を妨げない。

(役員の選出)　第９条　代表・会計監査は会員中より互選する。総会で承認を得る。
顧問・副代表・庶務・会計は代表が委嘱する。総会で承認を得る。
世話役は各市町で互選する。総会で承認を得る。

(役員の補充)　第 10 条　役員に欠員が生じたときは速やかに代理を選出する。

(総　　会)　第 11 条　本会は毎年１回、原則２月に総会を開催するものとする。
総会の決議は出席者の過半数による。

(役　員　会)　第 12 条　総会に代わる決議機関とする

(会計年度)　第 13 条　会計年度は毎年１月１日に始まり 12 月 31 日に終わる。

(役員の補充)　第 14 条　会則の変更は総会または役員会において過半数の賛成を得て行なう。

(内　　規)　第 15 条　本会の円滑な運営のために内規を定めることができる。

(附　　則)　１　この会則は平成 26 年２月９日より実施する。
２　本会の事務局は当分の間、庶務宅とする。
＊ 附則の１の年月日は総会で変更があつた場合、その総会の実施日が記される。

(覚え)　１　この会則の最初の制定日は平成 18 年２月 19 日である
(当日の総会で承認された)
なお、知多自然観察会は昭和 57 年(1982 年) ５月 16 日に「知多地方自然観察研究会」として発足し、愛知県自然観察指導員連絡協議会の支部としてスタートした。

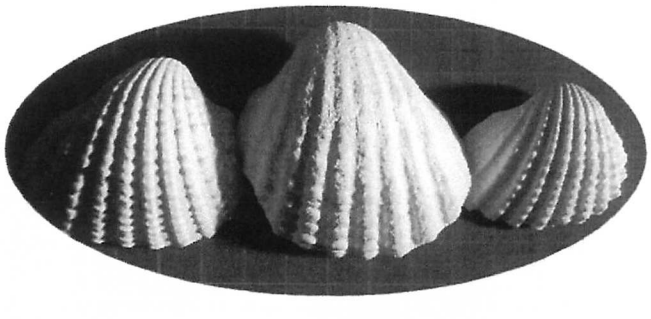
2　平成19年2月19日の総会で7条を次のように変更した。
・世話役「市町代表…10名以内」を「市町及び里山クラブからの代表」に変更
・会計監査「1名」を上記条文の2名に変更
3　平成23年2月13日の総会で7条を次のように変更した。
・世話役「市町及び里山クラブからの代表」を上記条文の通りに変更
4　令和2年（2020年）2月16日の総会で（覚え）1の「なお、」以下を追記した。
5　令和2年(2020年)9月12日の役員会で「年会費規定 内規」が承認された。
「年会費規定の内規」→ ここ

※ 下記の内規は、
令和2年9月12日（土）　於、阿久比町勤労福祉センター会議室
で開催された役員会で承認された。

――――――記――――――

年会費規定 内規

第1条　目的
この規定は、会則第15条に基づき年会費とその有効期間を定めるものである。
第2条　年会費
年会費は一人年額1,000円とする。複数年に亘る年会費は受理しない。
第3条　会員資格有効期間
会員資格は会計年度(1月1日～12月31日)毎に更新し、年会費入金を以って取得または継続する。翌会計年度においては5月末日までを入金猶予期間とし、前年度からの会員資格を継続保持する。
第4条　途中入会
途中入会の入会者についてもこの内規を適用する。
第5条　途中退会
退会申し出を受理した日または逝去した日に会員資格は失効する。
途中退会の場合年会費を返却しない。なお、会員資格失効後においても、在籍期間中に生じた債権、債務が残っている場合は速やかに精算されるものとする。
第6条　内規の変更
本則に準じ、内規の変更は総会または役員会において過半数の賛成を得て行なう。



知多自然観察会 2021 総会議事録

【日時】２０２１年(令和３年)２月２１日（日曜）午前９時３０分～１１時３０分
【場所】阿久比町勤労福祉センター[エスペランス丸山]　集会室３及び集会室４
【受付】密を避けるため受付を用意せず、参加者は参加者記帳名簿にチェックの上、
机上の総会資料及び年報を一部ずつ取ってブロックごとの席につく。会費は会計が
個別に徴収に回る。また、集会室入口前に手指消毒剤を配置し、入室前に入念に手指消毒、
マスク着用の上で入室し、できれば１つの机に１人掛けで対応する。

１．開会のことば（榊原正）
副代表の榊原正躬から開会の言葉。

２．代表あいさつ‥‥（榊原靖）
代表の榊原靖からコロナ禍の中で観察会の多くが中止になるなどについて言及しながら挨拶。

県協議会あいさつ
代表の依頼で、知多自然観察会会員で県協議会代表である浅井聡司から挨拶をいただき、特に今年 7 月 24・25 日に、美浜少年自然の家で自然観察指導員講習会が開催されるので、地元の知多自然観察会会員には特に協力お願いしたいとした。

３．出席者自己紹介
出席者全員が、各自資料―６の名簿上での番号を明示して自己紹介を行った。２７名の参加。

４．議長、書記の選出
総会の進行に当たり議長及び書記の選出について、自薦・他薦を問わず出席者に諮ったところ意見がなかったことから、事務局から議長：吉房、書記：村瀬様について諮り、満場一致の賛同を得た。
議長（吉房）、書記（村瀬）

５．議事＝２０２０年度事業報告
(1) 主な事業の報告
1) 支部行事に関する報告（年報 P16）
庶務から、年報 16P の「支部主催の事業」について報告。
2) 各ブロックの活動（受託の事業を含む）に関する報告
・阿久比（年報 P17）：牧野から、阿久比ブロックの観察会について 6 回の観察会を行うことができたとの報告。
・大府（年報 P24）：吉川洋から、大府ブロックの観察会について、コロナ関係で市役所関連の事業が開催できなかったとの報告。
・武豊（年報 P26）：畠から、武豊ブロックの観察会について、予定通りに開催することができたとの報告。
・知多（年報 P35）：南川から、知多ブロックの観察会について、コロナ関係、天候によって開催できなかった事業もあったとの報告。
・東海（年報 P43）：浅井一から、東海ブロックの観察会について、雨天でできなかった事業もあったとの報告。
・常滑（年報 P49）：森田から、常滑ブロックの観察会について、すべて開催することができ、好評だったとの報告。
・半田（年報 P53）：山田和から、半田ブロックの観察会について、すべて開催することができ、特にナイトハイクの評判が良かったとの報告。
・東浦（年報 P61）：竹内から、東浦ブロックの観察会について、前半中止のものがあったが後半はコロナの影響もなくなり開催できたとの報告。
・美浜南知多（年報 P67）：中村から、美南ブロックの観察会について、化石の観察が好評だったとの報告。
3) 受託観察会に関する報告（年報 P10）
庶務から、2020 年事業計画の種欄で受託と記載されている１から 110 の観察会が受託事業であるが、コロナの影響で開催不可能なものもあったことを報告。

4) 研修旅行に関する報告
牧野から、コロナ禍で春・秋の研修旅行とも中止となったこと、来年度は行いたいとの報告。
5) 持寄り会に関する報告
榊原正から、コロナ禍で無期延期から中止としたことを報告。

6) ホームページに関する報告
榊原正から、提出された報告書を HP にそのまま掲載し、年報の原稿ともなることから、資料―9の「観察会報告書」の留意事項について、資料― 10 の「会員専用ページの内容」についても報告。
また、自主的に報告をいただくと個人的なフェイスブックからも情報交換の場として活用できるとした。
7) 年報作成に関する報告
榊原正から、年報作成について、90P の「シラカバの“目玉”」を特集として掲載したこと、カラーページが4枚で印刷費が 8 万円、さらに 4P 追加すると印刷費がプラス 2 万円の 10 万円となること、さらに、あらたな年報担当を募集していること、経費は3万円と消耗品費が 1 万円の計4万円でお引き受け願いたいとの報告。

(2) 一般会計決算書案報告（現預金出納帳を含む）
会計の森田から、資料-1（表・裏）により報告。
(3) 一般会計監査報告
会計監査の牧野から、昨年 12 月 23 日に同じく会計監査の山田公とともに会計監査を行ったところ、適正に執行されていたことを確認したとの報告。
議長が、一般会計決算書案について出席者に諮り、拍手により全員の賛同を得た。

(4) 委託金管理通帳収支報告（受託金納入状況を含む）
榊原靖から、資料-2（表・裏）により、No18 までは昨年度分で一旦全額を払い出していること、No19 以降が今年度分で、コロナ禍による観察会の中止が影響して入金が少なく、現残高は 226,959 円となっているとの報告。
議長が、委託金管理通帳収支報告について出席者に諮り、拍手により全員の賛同を得た。

(5) 特別会計収支報告（観察用具購入補助金の利用状況を含む）
榊原正から、資料-3-1,3-2 により、年末残高が 780.016 円であること、購入補助金利用者は 4 人であったこと、観察用具購入補助金（2000 円まで）周知していただき活用をしてほしい、残高は 40 周年記念事業に活用していきたいなど報告。
議長が、特別会計収支報告について出席者に諮り、拍手により全員の賛同を得た。

6．議事＝２０２１年度事業計画
(1) 役員の選出
新役員の選出について、出席者に自薦・他薦を問わずに諮ったところ意見がなかったことから、事務局から代表榊原靖、会計監査牧野・山田公の留任を提案し、議長が出席者に諮り、拍手により全員の賛同を得た。
1) 代表（榊原靖）
2) 会計監査（牧野）・（山田公）

榊原靖新代表から、再来年 5 月には知多自然観察会の設立 40 周年を迎えることとなることから、記念事業その他について検討を進めるなど、さらに 1 年頑張っていきたいとする挨拶。

(2) 役員の委嘱
榊原靖新代表から、全員の留任をお願いしたいとして、議長が出席者に諮り、拍手により全員の賛同を得た。
1) 顧問　（降幡）
2) 副代表（南川）・（榊原正）
3) 庶務　（吉川）
4) 会計　（森田琢）

(3) 世話役（ブロック代表）・副世話役（ブロック副代表）の選出

議長が各ブロックに世話役（ブロック代表）・副世話役（ブロック副代表）の選出を依頼したところ、各ブロック出席者から以下のとおり報告があった。

東海・・(浅井一)(未定)	大府・・・(村瀬)(吉川洋)	知多・・(南川)(吉川勉)
東浦・・(竹内秀)(岩本)	阿久比・(平松裕)(牧野)	常滑・・(森田琢)(中井)
半田・・(山田和)(森下保)	武豊・・・(　畠　)(畑中)	美南・・(中村)(永田孝)

(4) 各種担当の選出

各種担当の選出について議長が出席者に諮ったところ、意見がなかったことから全員留任として再度諮ったところ、拍手により全員の賛同を得た。

年報（榊原正）、ホームページ（榊原正）、調査活動（平松裕）、研修旅行（牧野）、持寄り会（榊原正）、年間計画（庶務）

(5) 県協議会関係への推薦役員

榊原靖代表から、以下のとおり報告があった。

・理事/副会長及び会計・・・・・（永田孝）
・理事/支部代表・・・・・・・・・・（榊原靖）

(6) 主な事業計画

1) 支部全体の主な事業計画

庶務から、以下について説明。

①役員会　　：5/15(土)、7/10(土)、9/11(土)、11/13(土)、12/4(土)、12/18(土)、R4/1/22（土）の7回開催予定
②みどりの少年団　：10月9日土曜日 於：東浦町（本番）（本番予備日：10月23日土曜日）
③研修旅行　　：（春）5月29日（土）～30日（日）、（秋）10月30日（土）～31日（日）
④調査活動　　：未定
⑤総会　　：R4年2月20日（日）
⑥持ち寄り会　：R4年3月12日（土）

2) 2021(R3)年度会員用年間予定-日付順-について

庶務から、資料-4 の「知多自然観察会事業計画（年間行事予定表）」について説明、半田ブロックから一部訂正の意見があり、併せて、3 月 6 日に総会議事録等の印刷があることから、2月中に訂正等の連絡を欲しいとした。

3) 県協議会事業について　（代表）

①あいちの自然観察会：知多地区の自然観察会で受託のものを除いて選定する必要があるが、限られており、事業計画6番4月18日（日）の「任坊山の春―虫や野草の観察」を当てたいとして出席者に諮ったところ賛同を得た。代表から協議会に連絡し協議会ニュースに間に合うとの見通しが示された。
②研修会（各支部担当：保留
③フォローアップ研修会：日時・内容は未定　詳細は後日連絡
④協議会交流の日　　：R3年度は知多支部が担当。日時・内容は詳細未定
①通常総会･講演会　　：R2年度はR3年3月20日（土・祝）予定としていたが、R元年度と同様に書面評決となる。また、県協議会40周年行事が予定されている

(7) 2021年度　自然観察会活動に係る事業予算

会計が、資料－5の2021年度一般会計・予算案について説明し、前年度報告通りに行っているとした。

議長が、一般会計予算案について出席者に諮り、拍手により全員の賛同を得た。

(8) その他/報告等

1) 会員名簿について

庶務から、資料-6の会員名簿について説明、訂正等は2月中に連絡して欲しいとした。

2) 観察会時の傷害保険について

庶務から、資料―7「自然観察会の保険と安全について」例年と特に変わりはないが、熱中症対応のために保険金40円から42円に変更されたことを説明。

代表から、変更になる場合は理事会で決定するとしたほか、「救急医療情報センター」の連絡先の番号はどこにかかるのか？知多地区は二か所あるが・・・などの質問があったことから、代表が確認するとした。

また、会計から、保険担当の新山氏から、協議会の保険のかかる観察会について２月中に日時の報告がほしいとしているとの連絡。

さらに、各ブロックの世話役のメールアドレス等が未確定であるとの疑問が提示されたことから、代表が確認・設定するとした。

3）観察会の運営について

庶務から、資料－ 8「自然観察会の運営について」について、下見を必ずするなど例年通りであるとの説明。

4）会員の動向〔昨年の総会以降〕

庶務から、資料６の「会員名簿」によりながら、当初は 100 人近かったが、現在では 69 名となっていること、若い会員の増加方策について役員会でも議論しているが、妙案がまとまらないことの説明があり、出席者に意見があればぜひ聞かせて欲しいとした。

5）その他

南川から、みどりの少年団でマスクのほかにフェイスシールドの着用を予定しており、フェイスシールドについて２案のうちどちらが良いか決めてほしいとの依頼があったとして、フェイスシールドの２案が示された。

上が空いているフェイスシールドはすでにメディアで効果がないことが報道されている、大きい方が良いなどの意見があったことから、大きいフェイスシールドが選定された。

７．議長、書記の解任

総会議事が終了したことから、議長、書記の職が解かれた。

８．情報交換

代表進行で出席者による相互の情報交換が行われた。

藤井辰から話題提供及び田中央から「真冬の川の生きもの観察会」を以下の通り開催するので希望者は参加して欲しいとした。

１．開 催 日　2021 年２月 27 日（土）10:00 集合
　　雨天中止（少しでも降っていたら中止）

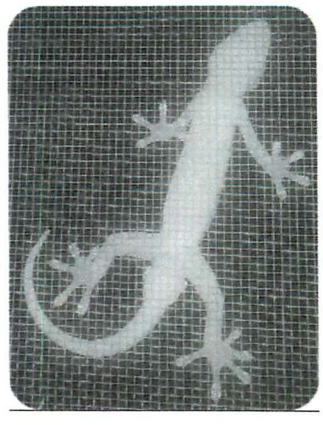
２．集合場所　於大公園第１駐車場（公園の南端）

９．閉会のことば

副代表の南川から総会閉会の宣言があった。

（総会資料印刷は２月 13 日（土）午後１時 30 分から常滑市中央公民館美術工芸室、総会は２月 21 日（日）午前９時 30 分から阿久比町勤労福祉センター集会室３・４、総会議事録等印刷は３月６日（土）午後１時 30 分から常滑市中央公民館学習室１

資料―１　2020 年度一般会計決算案（現預金出納帳を含む）及び監査報告
資料―２　2020 年度委託金管理通帳収支報告（受託金納入状況を含む）
資料―３の１　2020 年度特別会計収支報告
資料―３の２　2020 年観察用具購入補助金の利用状況
資料―４　2021 年度年間行事予定表
資料―５　2021 年度一般会計予算案
資料―６　知多自然観察会会員名簿（2021 年２月 21 日現在）
資料―７　自然観察会の保険と安全について
資料―８　自然観察会の運営について
資料―９　「観察会報告書」＆「観察用品購入補助金請求」の留意事項-2021
資料―10 会員専用のページの内容



2021(令和3)年 （1月～12月） 事業計画

◎ 備 考

・種らん… 募 ＝知多自然観察会主催
　　受募＝市町等が主催、当日受付でも参加可
　　受託＝市町等が主催、当日受付での参加は不可(事前申し込みが必要)
・保険らん… 協 ＝県協議会へ保険金を納入
・担当らん…阿久＝阿久比　美南＝美浜・南知多
・テーマらんの主催者……セレトナ＝二ツ池セレトナ
　　東海-施管協＝東海市施設管理協会
・集合場所らん……健康の森事務所＝あいち健康の森公園管理事務所
　　みどり公園事務所＝大府みどり公園管理事務所
　　東浦学習の森＝東浦自然環境学習の森
※テーマらんの「中止」…主催者が中止を決定した観察会 （中止理由：ほとんどコロナ禍）

No	年	月	日	曜	種	保	担当	「テーマ」 ●印…主催者 ☆…参加費100円	集合場所と時刻 P:駐車場	担当指導員(問合せ先)
1	21	1	17	日	受託		大府	「セレトナ森研⑨冬に出会える鳥たち」●セレトナ	セレトナ 9:30	村瀬(0562-46-1974)今西
2	21	1	23	土	受募		知多	「朽木の中の生き物を観察しよう」●梅の館	知多市梅の館 9:30	藤井辰(0562-34-3077)南川
3	21	1	23	土	受託		東海	「公園の野鳥 を観察」☆●東海市施管協	大池公園動植物資料館　9:30	岩崎(052-601-5504)神野
4	21	1	23	土	受募		美南	中止「地層岩石調べ化石採集」●南知多町環境課	南知多町JAあいち知多 みさき支店P 9:30	田中達(090-1626-3231)河原
5	21	1	23	土			支部	1月役員会 ※ 年間予定完成、総会役割分担、総会資料	未定 13:30	庶務
6	21	1	24	日	募	協	武豊	「冬の風物・海辺の鳥を見よう」	河和口駅前の海岸 9:30	古川(0569-73-6078)伊藤伸
7	21	2	6	土	受託		知多	中止「冬の野鳥の観察しよう」●こども未来館	こども未来館 9:30	吉房(0562-55-9025)古川
8	21	2	6	土	受託		半田	「冬越しをする虫たちの生活」	任坊山公園P 9:30	榊原正(0569-21-7000)牧野
9	21	2	7	日	受託		大府	「セレトナ森研⑩朽木に集まる虫たち」●セレトナ	セレトナ 9:30	門脇重(0562-46-6807)浅井
10	21	2	13	土	募	協	東浦	「冬の生き物に会おう」	東浦自然環境学習の森P　9:30	岩本(0569-58-0952)山田公
11	21	2	13	土	受託		東海	「朽ち木の虫観察」☆●東海市施管協	大池公園テニスコート前 9:30	吉村(0562-32-3760)降幡
12	21	2	13	土			支部	総会資料の印刷	青海公民会 13:30	庶務

13	21	2	21	日			支部	総会	未定 9:30	庶務
14	21	2	28	日	受募		常滑	「朽ち木のダンゴムシたち」●大曽公園	大曽公園P 9:30	森田(0569-42-1708)平松俊
15	21	2	28	日	受募	協	美南	**中止**「冬鳥と旅鳥カワウの子育て」●美浜町環境課	美浜町総合体育館正面玄関 9:30	神野(080-5169-3964)榊原靖
16	21	3	6	土			支部	総会議事録等の印刷	青海公民会 13:30	庶務
17	21	3	7	日	受託		大府	「セレトナ森研⑪春に出会える鳥たち」●セレトナ	セレトナ 9:30	村瀬(0562-46-1974)門脇重
18	21	3	13	土			支部	**無期延期** 持ち寄り会	未定 9:30～15:30	(榊原正)
19	21	3	20	祝			支部	県協議会総会	未定	(榊原靖)
20	21	4	3	土	募	協	東浦	「里山の春を見つけよう」	東浦自然環境学習の森P 9:30	岩本(0569-58-0952)山田公
21	21	4	4	日	募	協	武豊	「里山の春を感じよう」	別曽池公園P 9:30	畑中(080-1631-0413)古川
22	21	4	11	日	受託		大府	「①植物おもしろ探検隊」●セレトナ	セレトナ 9:30	村瀬(0562－46－1974)吉川洋
23	21	4	11	日	受託		東浦	「春の里山の恵みを探そう」●東浦町環境課	東浦自然環境学習の森P 9:30	竹内秀(0562-83-9023)桑原
24	21	4	17	土	募	協	阿久	「シュレーゲルアオガエルの観察」	季の野の台所 18:30	平松裕(090-8071-3954)榊原正
25	21	4	18	日	募	協	半田	「任坊山の春-虫や野草の観察」（あいちの自然観察会）	任坊山公園P 9:30	榊原靖(0569-21-3497)安達
26	21	4	24	土	受託		知多	「春の野草と虫さんに会いに行こう」●こども未来館	こども未来館 9:30	吉房(0562-55-9025)吉川勉
27	21	5	8	土	受募		美南	**中止**「山海川生き物観察」●南知多町環境課	山海ふれあい会館(旧山海小)P 9:30	田中達(090-1626-3231)中村
28	21	5	9	日	募	協	阿久	「竹林であそぼう」	洋菓子サリュー東 9:30	平松裕(090-8071-3954)榊原正
29	21	5	9	日	募	協	常滑	「砂浜の花と虫」	蒲池漁港P 9:30	中井(0569-42-2021)森田
30	21	5	9	日	受託		大府	「春のいきものをさがそう」●大府市環境課	大府市役所 9:30	村瀬(0562-46-1974)今西
31	21	5	15	土	受募		知多	「信濃川の七反田橋周辺の川の生きもの」●梅の館	知多市梅の館 9:30	野村(0562-55-4122)田中央

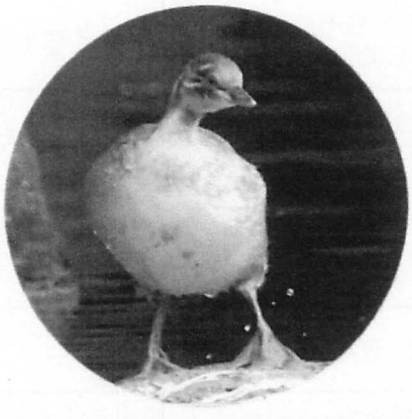
32	21	5	15	土	受託		東浦	中止「ヒメボタルに会おう」●東浦町環境課	うのはな館P 21:30	田中央(0562-34-6040)岩本
33	21	5	15	土	受託		東海	中止「ヒメボタルに会おう」☆参加費100円●東海市施管協	上野台公園 21:30	浅井一(080-6960-6053)吉川洋
34	21	5	15	土			支部	5月役員会	未定 13:30	庶務
35	21	5	16	日	受託		大府	「②昆虫おもしろ探検隊」●セレトナ	セレトナ 9:30	吉川洋(052-381-4426)福岡
36	21	5	16	日	募	協	武豊	「野の花や虫たちに会おう」	壱町田湿地P 9:30	伊藤伸(0569-73-5059)畠
37	21	5	22	土	受募	協	美南	中止「山で発見ヒメボタル」●美浜町環境課	美浜町時志観音P 21:30	永田寛(0569-82-3151)岩橋
38	21	5	23	日	受託		大府	中止「虫・花・樹をさがそう・春」●あいち健康の森公園	健康の森公園管理事務所 9:30	村瀬(0562-46-1974)門脇重
39	21	5	29	土			支部	中止 宿泊研修1日目	未定	(牧野)
40	21	5	30	日			支部	中止 宿泊研修2日目	未定	(牧野)
41	21	5	未定	平日			支部	みどり…交歓会-事前打合せ会	県事務所	(水野恭)
42	21	6	5	土	受託		知多	中止「信濃川新阿原橋周辺の川の生きもの」●知多市環境政策課	信濃川パークロードP 9:30	野村(0562-55-4122)浅井一
43	21	6	12	土	受託		東浦	中止「明徳寺川の生き物に会おう」●東浦町環境課	うのはな館P 9:30	田中央(0562-34-6040)水野恭
44	21	6	12	土	受募		美南	中止「ウミウシを見つけよう」●南知多町環境課	南知多町県水産試験場P 9:30	田中達(090-1626-3231)中村
45	21	6	12	土	募	協	武豊	「天然のホタルに会おう」	市原農村広場P 19:00	畠(0569-73-3518)畑中
46	21	6	13	日	受託		半田	中止「亀崎海岸の生き物」干潮●半田市環境課	亀崎海浜緑地P 9:30	山田和(0569-22-4660)加藤
47	21	6	20	日	受託		大府	「③きのこ探検隊」●セレトナ	セレトナ 9:30	村瀬(0562-46-1974)吉川洋
48	21	6	23	水	募	協	美南	「クサフグの集団産卵を見よう」	南知多町聖崎公園P 14:30	大矢晃(052-841-6048)大矢美
49	21	6	26	土	受募	協	美南	「干潟の生き物と漂着物」●美浜町環境課	美浜町奥田農協のすぐ北のJA美浜西支店P 9:30	永田孝(0569-82-3151)中村

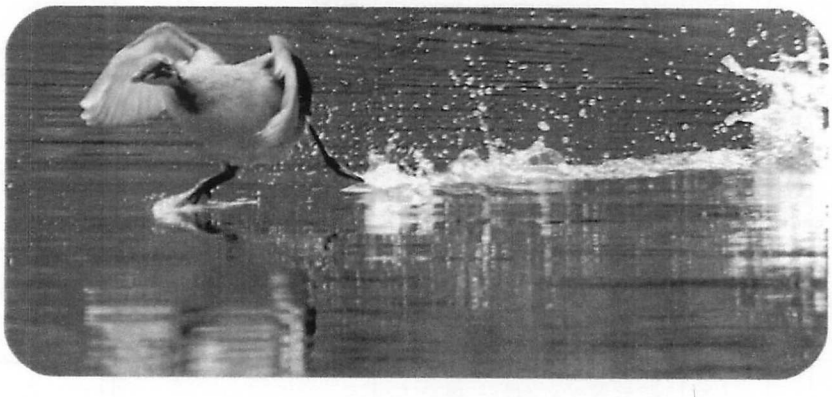
50	21	7	3	土	募	協	阿久	「福山川の生き物は今年も元気かな？」	阿久比板山公民館P 9:30	平松裕(090-8071-3954)浅井一
51	21	7	3	土	受託		東海	「昆虫とオオケマイマイ」☆参加費100円●東海市施管協	しあわせ村玄関前 9:30	吉川洋(052-381-4426)平松俊
52	21	7	4	日	受託		大府	中止「虫・花・樹をさがそう・夏」●あいち健康の森公園	健康の森公園管理事務所 9:30	村瀬(0562-46-1974)門脇重
53	21	7	4	日	募	協	武豊	「ジャブジャブと新川の生きものすくい」	市原農村広場の東P 9:30	畠(0569-73-3518)榊原正
54	21	7	9	金	受託		大府	「④灯火に集まる虫たち」●セレトナ	セレトナ 19:30	村瀬(0562-46-1974)水野利
55	21	7	10	土	受託		知多	「海辺の生きものの観察」●こども未来館干潮12:19	新舞子海岸 郷戸広場P 9:30	吉川勉(0569-43-1501)榊原正
56	21	7	10	土			支部	7月役員会	未定 13:30	庶務
57	21	7	11	日	募	協	阿久	「阿久比川(支流)の生き物観察」	アピタ東第1P 9:30	平松裕(090-8071-3954)田中央
58	21	7	11	日	募	協	常滑	「海辺のカニ、ヤドカリ」(大潮干潮12:54)	蒲池漁港P 10:00	中井(0569-42-2021)森田
59	21	7	17	土	受託		東浦	「初夏の里山で生き物を探そう」●東浦町環境課	東浦自然環境学習の森P 9:30	竹内秀(0562-83-9023)桑原
60	21	7	23	金	募	協	東浦	「森の中で虫探し&灯火に集まる虫」	高根の森P 19:00	水野恭(080-3648-4467)水野利
61	21	7	24	土	受募		知多	「佐布里池の森の昆虫や野鳥を観察しよう」●梅の館	知多市梅の館 9:30	南川(0569-42-5382)藤井辰
62	21	7	24	土	受募	協	美南	「海辺の生き物」●美浜町環境課	美浜町冨具崎港P 9:30	永田孝(0569-82-3151)永田寛
63	21	7	未定	平日			支部	みどり…交歓会-事前打合せ会	東浦町内 13:30	(水野恭)
64	21	8	1	日	受託		東海	「夏の生き物をみつけよう」☆参加費100円-東海市施管協	加木屋緑地第三駐車場 9:30	浅井一(080-6960-6053)森田
65	21	8	7	土	受託		東浦	「須賀川の生き物に会おう」●東浦町環境課	藤江ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰP 9:30	田中央(0562-34-6040)水野恭
66	21	8	7	土	受託		半田	「ナイトハイクと灯火に集まる虫」●半田市環境課	半田運動公園第4P 19:00	榊原正(0569-21-7000)山田和
67	21	8	7	土	募	協	美南	「ウミホタルの発光を見よう」	南知多町聖崎公園P 18:30	大矢晃(052-841-6048)大矢美

68	21	8	8	日	募	協	常滑	「市最高峰86.95mの自然を楽しむ」	高砂山公園P 9:30	森田(0569-42-1708)降幡
69	21	8	21	土	受託		知多	**中止**「海辺の生きもの観察」●知多市環境政策課 干潮11:26	新舞子海岸 郷戸広場P 9:30	吉川勉(0569-43-1501)榊原正
70	21	8	28	土	募	協	阿久	「灯火採集&クロマドホタルはまだいるのかな？」	「ふれあいの森」正門から東へ約450mの農道 19:30	平松裕(090-8071-3954)榊原正
71	21	9	4	土	受募	協	美南	**中止**「布土川の生き物観察」●美浜町環境課	美浜町布土公民館P 9:30	斉藤(090-4213-2898)田中達
72	21	9	5	日	募	協	武豊	「里山の秋を見つけよう」	別曽池公園駐車場 9:30	伊藤伸(0569-73-5059)畑中
73	21	9	11	土	受託		大府	「⑤秋の鳴く虫さがし」●セレトナ	セレトナ 14:30	吉川洋(052-381-4426)福岡
74	21	9	11	土			支部	9月役員会	未定 13:30	庶務
75	21	9	12	日	受託		大府	「川のいきものをさがそう」●大府市環境課	鞍流瀬川　飛び石付近 9:30	村瀬(0562-46-1974)門脇重
76	21	9	18	土	受託		知多	**中止**「水田や水路の生きものを観察をしよう」●こども未来館	こども未来館 9:30	吉川勉(0569-43-1501)浅井一
77	21	9	18	土	受託		東海	中止「秋の虫を探そう」☆参加費100円●東海市施管協	大池公園テニスコート前 9:30	平松俊(052-601-1491)森田
78	21	9	18	土	受託		半田	**中止**「神戸川の生きもの」●半田市環境課	青山公園P 9:30	榊原靖(0569-21-3497)森下保
79	21	9	19	日	受託		大府	クリーンアップザワールド●大府市環境課	未定	村瀬(0562-46-1974)吉川洋
80	21	9	25	土	募	協	東浦	**中止**「身近にあるきのこを見つけよう」	高根の森P 9:30	岩本(0569-58-0952)降幡
81	21	9	25	土			支部	**延期** みどり…交歓会-下見　10/9 に延期決定	東浦町-於代公園 13:30 → 14:00 に変更	(水野恭)
82	21	9	26	日	受託		大府	**中止**「秋のいきものをさがそう」●大府市環境課	健康の森公園薬草園 9:30	村瀬(0562-46-1974)福岡
83	21	10	2	土	受託		知多	「身近にあるキノコを観察しよう」●こども未来館	知多市旭公園北P 9:30	吉房(0562-55-9025)降幡
84	21	10	2	土	受託		半田	「任坊山の秋-アサギマダラに会えるかな」●半田市環境課	任坊山公園P 9:30	石川由(0569-23-1101)牧野
85	21	10	3	日	受募		常滑	「雑木林のキノコ」●大曾公園	大曾公園P 9:30	降幡(0569-43-8060)中井

86	21	10	3	日	受託		大府	「⑥どんぐり探検隊」●セレトナ	セレトナ 9:30	村瀬(0562-46-1974)吉川洋
87	21	10	9	土			支部	みどり…交歓会-下見 ※雨天決行	東浦町-於代公園 14:00	(水野恭)
88	21	10	16	土	受募		知多	「佐布里池の森のキノコなど秋の生物を観察しよう」●梅の館	知多市梅の館 9:30	南川(0569-42-5382)降幡
89	21	10	16	土	受託		東海	「アサギマダラに会おう」☆参加費100円●東海市施管協	加木屋緑地第三駐車場 9:30	吉川洋(052-381-4426)平松俊
90	21	10	17	日	受託		大府	「虫・花・樹をさがそう・秋」●あいち健康の森公園	健康の森公園管理事務所 9:30	村瀬(0562-46-1974)今西
91	21	10	17	日	募	協	東浦	「里山の秋を見つけよう」	東浦自然環境学習の森P 9:30	水野恭(080-3648-4467)岩本
92	21	10	17	日	募	協	武豊	「ツルや枝・ドングリ等で工作しよう」	武豊自然公園P 9:30	畑中(080-1631-0413)伊藤伸
93	21	10	23	土			支部	みどり…交歓会-本番 ※雨天決行	東浦町-於大公園	(水野恭)
94	21	10	24	日	受託		東海	「公園のキノコを観察」☆参加費100円●東海市施管協	大池公園多目的室 9:30	降幡(0569-43-8060)吉房
95	21	10	30	土			支部	**中止** 宿泊研修1日目	未定	(牧野)
96	21	10	31	日			支部	**中止** 宿泊研修2日目	未定	(牧野)
97	21	11	6	土	受託		東浦	「秋の宝物で工作をしよう」●東浦町環境課	於大公園このはな館 9:30	竹内秀(0562-83-9023)山田公
98	21	11	7	日	受託		大府	**中止**「セレトナフェスタ2021-⑦」●セレトナ	セレトナ 9:30	村瀬(0562-46-1974)吉川洋
99	21	11	13	土	受託		知多	「旭公園の秋の生物を観察しよう」●知多市環境政策課	知多市旭公園北P 9:30	吉房(0562-55-9025)南川
100	21	11	13	土	募	協	武豊	「にぎやかな秋の鳥たちを見よう」	中山保育園P 9:30	古川(0569-73-6078)清水
101	21	11	13	土			支部	11月役委員会※年間予定(支部行事)、総会資料名一覧	未定 13:30	庶務
102	21	11	28	日	募	協	阿久	「リース作りや竹の工作であそぼう」	洋菓子サリュー東 9:30	平松裕(090-8071-3954)牧野
103	21	12	4	土	募集	協	知多	「日長神社の紅葉を愛でよう」	産業道路日長インター東広場P 9:30	細川(0569-43-3670)吉川勉

104	21	12	4	土			支部	12月①役員会※支部・ブロック行事調整、年報、補助金	未定 13:30	庶務
105	21	12	5	日	受託		大府	「⑧小枝で作ろう森のリース」●セレトナ	セレトナ 9:30	村瀬(0562-46-1974)吉川洋
106	21	12	11	土	募	協	半田	「康衛池のカモと阿久比川河口の生き物」	瑞穂記念館P 9:30	鈴木汎(0569-22-0908)榊原正
107	21	12	18	土	受募		知多	「佐布里池に集まる野鳥を観察しよう」●梅の館	知多市梅の館 9:30	細川(0569-43-3670)古川
108	21	12	18	土			支部	12月②役員会※年間予定の調整、会計関係、総会次第	未定 13:30	庶務





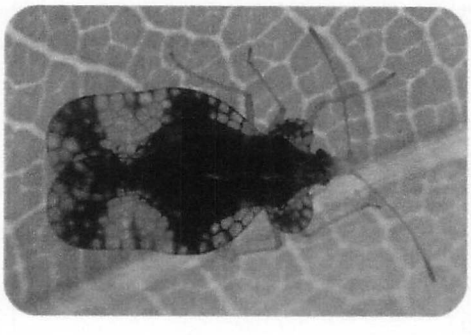
支部主催の事業　2021(令3)年　1月～12月

2021年2月の総会(1～3月は2020年2月の総会)時の事業計画　※以降の各ブロックも同様

No	年	月	日	曜	種	保険	担当	「テーマ」	集合場所と時刻	担当指導員(問合せ先)
1	21	1	23	土			支部	1月役員会　※ 年間予定完成、総会役割分担、総会資料	未定 13:30	庶務
2	21	2	13	土			支部	総会資料の印刷	青海公民会 13:30	庶務
3	21	2	21	日			支部	総会	未定 9:30	庶務
4	21	3	6	土			支部	総会議事録等の印刷	青海公民会 13:30	庶務
5	21	3	13	土			支部	**無期延期** 持ち寄り会	未定 9:30～15:30	(榊原正)
6	21	3	20	祝			支部	県協議会総会	未定	(榊原靖)
7	21	5	15	土			支部	5月役員会	未定 13:30	庶務
8	21	5	29	土			支部	**中止** 宿泊研修1日目	未定	(牧野)
9	21	5	30	日			支部	**中止** 宿泊研修2日目	未定	(牧野)
10	21	5	未定	平日			支部	みどり…交歓会-事前打合せ会	県事務所	(水野恭)
11	21	7	10	土			支部	7月役員会	未定 13:30	庶務
12	21	7	未定	平日			支部	みどり…交歓会-事前打合せ会	東浦町内 13:30	(水野恭)
13	21	9	11	土			支部	9月役員会	未定 13:30	庶務
14	21	9	25	土			支部	**延期** みどり…交歓会-下見　10/9に延期決定	東浦町-於代公園 13:30 → 14:00 に変更	(水野恭)
15	21	10	9	土			支部	みどり…交歓会-下見 ※雨天決行	東浦町-於代公園 14:00	(水野恭)
16	21	10	23	土			支部	みどり…交歓会-本番 ※雨天決行	東浦町-於大公園	(水野恭)
17	21	10	30	土			支部	**中止** 宿泊研修1日目	未定	(牧野)
18	21	10	31	日			支部	**中止** 宿泊研修2日目	未定	(牧野)
19	21	11	13	土			支部	11月役委員会※年間予定(支部行事)、総会資料名一覧	未定 13:30	庶務
20	21	12	4	土			支部	12月①役員会※支部・ブロック行事調整、年報、補助金	未定 13:30	庶務
21	21	12	18	土			支部	12月②役員会※年間予定の調整、会計関係、総会次第	未定 13:30	庶務

阿久比ブロック観察会　2021(令3)年　1月～12月

No	年	月	日	曜	種	保険	担当	「テーマ」　●印…主催者	集合場所と時刻	担当指導員(問合せ先)
1	21	4	17	土	募	協	阿久	「シュレーゲルアオガエルの観察」	季の野の台所 18:30	平松裕(090-8071-3954)榊原正
2	21	5	9	日	募	協	阿久	「竹林であそぼう」	洋菓子サリュー東 9:30	平松裕(090-8071-3954)榊原正
3	21	7	3	土	募	協	阿久	「福山川の生き物は今年も元気かな？」	阿久比板山公民館P 9:30	平松裕(090-8071-3954)浅井一
4	21	7	11	日	募	協	阿久	「阿久比川(支流)の生き物観察」	アピタ東第1P 9:30	平松裕(090-8071-3954)田中央
5	21	8	28	土	募	協	阿久	「灯火採集＆クロマドホタルはまだいるのかな？」	「ふれあいの森」正門から東へ約450mの農道 19:30	平松裕(090-8071-3954)榊原正
6	21	11	28	日	募	協	阿久	「リース作りや竹の工作であそぼう」	洋菓子サリュー東 9:30	平松裕(090-8071-3954)牧野



【行事名】　「竹林であそぼう」

【日　時】　令和3年5月9日（土）9：30～11：30
【場　所】　集合場所：洋菓子サリュー東
【天　気】　曇り
【担　当】　平松裕、榊原正
【参加者】　一般　大人４名　子ども５名
　　（指導員：安達、榊原正、藤井辰、古川、平松裕）
【内　容】
　コロナ禍のもと、３家族の参加を得て、楽しく出来ました（参加者の感想も含みます）
　ここの観察会の特徴は、第一に〝ヤギ〟さんとの触れ合い。第二に指導員が作った竹林の中の遊具で遊ぶこと。
　よって、子どもは虫カゴを持参するが昆虫のお話は二の次になってしまいます。
　本日は、少し離れたところに放牧(?)　してある母ヤギ２頭と子ヤギ３頭と、まず、触れ合ってから竹林に入って遊びました。竹林内では子どもの数が少ないこともあって〝ゴム銃遊び〟で使うゴム銃（パチンコ）を自分たちで作りました。そして、それを各自持って探検に出かけました。
　常連参加の子どももいましたが、その子は「今日も楽しかった」とのことでした。

【観察会の様子】

【左】始めの挨拶とお話。箱に入っている白い粉についてもここで説明した
【右】ヤギ舎から少し離れた場所にいるヤギさんに好物のクワの葉を与える

【左】ゴム銃で的当て遊び。他にブランコ、ハンモック、ターザンロープなど
【右】探検に出かける。峡谷の竹橋渡り。小さい子にはちょっと、こわいかも

【観察会の様子-追加】

【行事名】　「福山川の生き物は今年も元気かな？」

【日　時】　2021年7月3日　9時30分～11時30分
【場　所】　集合：阿久比板山公民館
【天　気】　晴
【担　当】　平松裕、浅井一
【参加者】　一般　大人　4　名、子ども　6　名
（指導員：門脇重、田中央、平松裕、森田）
【内　容】
朝8時まで雨が降っていたので、止むことはわかっていたけど早めに行って川の水位を確認して開催しました。始まる前には晴天になり、水位が高いこと、水流が早いこと、底が見えないので足元に注意すること、熱中症に気を付けてなど伝えて川に入りました。
いつもたくさんいるオイカワやカマツカは見つからず、赤いヌマエビが増えていました。
田中央さんが、特徴や生態を踏まえて丁寧に解説してくれて分ち合いにみんなくぎ付けでした。（記：平松裕）

【観察した生き物】
メダカ、モツゴ、マドジョウ、モクズガニ、アメリカザリガニ、ヌマエビ、ハイイロゲンゴロウ、コオイムシ、ヌマガエル、カワニナ、マシジミ、ヤゴ(ギンヤンマ？）、ガガンボ幼虫、ヒルの仲間2種、イシガメ、モノアラガイ、ツマグロヒョウモン、ウシガエル

【観察会の様子】

【左】担当指導員の始めの挨拶　【右】普段より水かさが多く流れも速い

【左】きれいな水のミニ水族館完成　【右】つかまえた生きものたちを一つ一つ説明

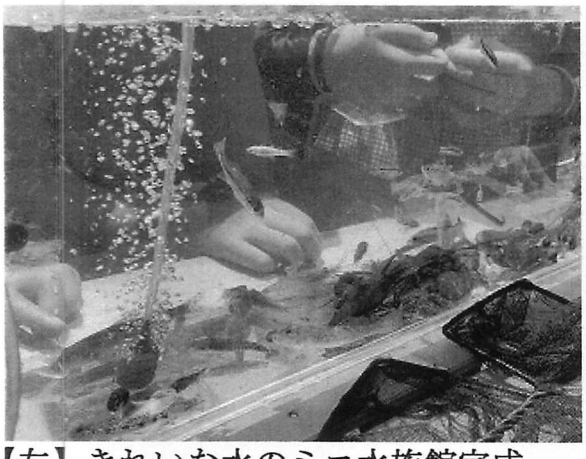
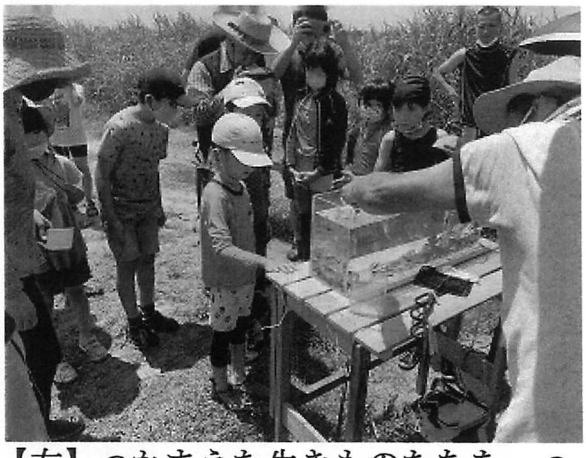
【行事名】　「阿久比川の生き物観察」

【日　時】　2021年7月11日(日) 9：30～11：30
【場　所】　集合：アピタ東第1P
【天　気】　晴
【担　当】　平松裕、田中央
【参加者】　一般　大人　12　名、子ども　15　名
（指導員：浅井一、門脇重、榊原正、鈴木汎、田中央、平松裕）
【内　容】
前日、正躬先生と下見して、予定の前田川にはエビとモツゴ、カニくらいしか見つからず、川底がコンクリートの凸凹で歩きにくかったので、阿久比川本流でやることにしました。
翌朝、草刈りをして、車の移動をお願いして始めました。蒸し暑かったので水の中でみんな気持ちよさそうでした。
初めての阿久比川本流でしたが、そこそこ生き物も捕れて大満足でした。

【観察した生き物】
ウナギ、カマツカ、マハゼ、ゴクラクハゼ、スミウキゴリ、ブラックバス 、カダヤシ、モツゴ、ギンブナ、オイカワ、モクズガニ、テナガエビ、ヌマエビ、スジエビ、アメリカザリガニ、コオイムシ、ヌマガエル、ウシガエルオタマジャクシ、ヒメダカ、ギンヤンマヤゴ、マシジミ、イシマキガイ　　（記：平松裕）

【観察会の様子】

【左・右】阿久比川本流（中流域の下部）。川幅が広く、深さも安全。観察会にもってこいの場所

【左】きれいな水のミニ水族館完成　【右】つかまえた生きものたちを一つ一つ説明

【行事名】　灯火採集＆クロマドホタルはまだいるのかな？　　主催 知多自然観察会（阿久比）

【日　時】　2021年08月28日(土)　19:30～20:30
【場　所】　集合:ふれあいの森付近の雑木林
【天　気】　晴れ
【担　当】　平松裕、榊原正
【参加者】　一般 8名（大人 3名、子供 5名）
　　（指導員3名：榊原正、平松裕、森田）
【内　容】

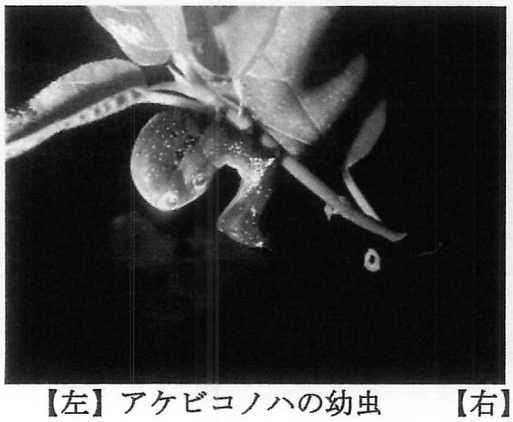
結論から言えば、クロマドホタルの〝ひかり〟は１ヶも見えなかった。
昨年と同時期であり、月明かりもなく真っ暗で好条件で期待していたがダメだった。昨年は地面が少し湿っていたが今回は乾燥していたのでそのせいか…？。「こういうこともあります」と言うことで納得していただく。
もちろん、観察会はこれだけが目的ではなく、灯火採集、ナイトハイクによる観察もあり、こちらは子供たちはもちろん、親御さんも満足な様子でした。例えば、集合時刻が 19:30 だったため、その時刻は既に真っ暗。集蛾灯に照らされたスクリーンにはたくさんのアオドウガネが止まっており、子供たちは、もう、満足？。ナイトハイクではヤンマが寝ているのを見てビックリ等々。（ただし、集合時刻については次回はもっと早めにしたい）
それと今回は、指導員が持ってきた沢山の〝昆虫観察ケース〟（左図参照）が大いに役立った。昆虫をさわれない子がそのケースを利用してスクリーンの昆虫を捕まえていたのがよかった。　　（記、榊原正）

【観察した生き物】
＜ナイトハイク＞
カトリヤンマ、シオカラトンボ（♂、♀）、アケビコノハの幼虫、他
＜灯火採集＞
アオドウガネ、キシタバ、セスジスズメ、カマキリ、カマキリモドキの仲間、ガムシの仲間、他

【観察会の様子】

【左】始めのお話と諸注意

【右】ナイトハイクの一場面



【左】アケビコノハの幼虫

【右】手前の箱の中に数十個の観察ケース

【行事名】　「リース作りや竹の工作で遊ぼう」

【日　時】　2021年11月28日（日）9：30～11：45
【場　所】　集合場所：洋菓子サリュー東
【天　気】　曇り
【担　当】　平松裕、牧野
【参加者】　一般　大人14名、子ども　12名
（指導員名6名：安達、門脇、榊原正、竹内公、平松裕、牧野）
【内　容】
親子連れを中心にたくさんの方に参加いただけました。
ここでの観察会の目玉はヤギさんがたくさんいること。まず、子供たちは、ヤギ達に夢中で桑の葉・笹などの餌をあげて楽しんでいました。離れがたいヤギ達を残し、リースの材料集めに向かいました。
ある程度の材料は用意してありますが、今回は、各自でリースの材料となるツルや木の実を採りながら竹林まで進んで行きました。
竹林の広場ではブランコなどの遊具や人気のパチンコで楽しみました。
その後、ヤギのいる広場に戻りリース作りスタート。お子さんの中には、リース作りよりパチンコやヤギ親子への餌やりに夢中な子もいましたが、たくさんのリースは完成させることができました。
朝は、かなり気温の低下を感じましたが、活動中は、さほど寒さを感じない過ごしやすいよい日でした。　（記、牧野）

【観察会の様子】

【左】始めの挨拶とお話

【右】リース用のツルを各自で切り取る

【左】リース作り。ホットボンド(グルーガン）で飾り付け

【右】作品展示会

【観察会の様子-追加】

大府ブロック観察会　2021(令3)年　1月～12月

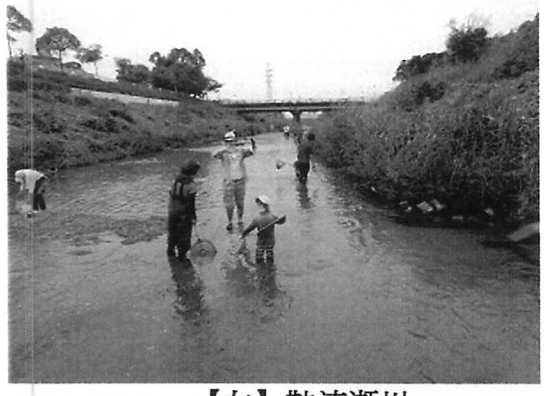
No	年	月	日	曜	種	保険	担当	「テーマ」　●印…主催者	集合場所と時刻	担当指導員(問合せ先)
1	21	1	17	日	受託		大府	「セレトナ森研⑨冬に出会える鳥たち」●セレトナ	セレトナ 9:30	村瀬(0562-46-1974)今西
2	21	2	7	日	受託		大府	「セレトナ森研⑩朽木に集まる虫たち」●セレトナ	セレトナ 9:30	門脇重(0562-46-6807)浅井
3	21	3	7	日	受託		大府	「セレトナ森研⑪春に出会える鳥たち」●セレトナ	セレトナ 9:30	村瀬(0562-46-1974)門脇重
4	21	4	11	日	受託		大府	「①植物おもしろ探検隊」●セレトナ	セレトナ 9:30	村瀬(0562－46－1974)吉川洋
5	21	5	9	日	受託		大府	「春のいきものをさがそう」●大府市環境課	大府市役所 9:30	村瀬(0562-46-1974)今西
6	21	5	16	日	受託		大府	「②昆虫おもしろ探検隊」●セレトナ	セレトナ 9:30	吉川洋(052-381-4426)福岡
7	21	5	23	日	受託		大府	中止「虫・花・樹をさがそう・春」●あいち健康の森公園	健康の森公園管理事務所 9:30	村瀬(0562-46-1974)門脇重
8	21	6	20	日	受託		大府	「③きのこ探検隊」●セレトナ	セレトナ 9:30	村瀬(0562-46-1974)吉川洋
9	21	7	4	日	受託		大府	中止「虫・花・樹をさがそう・夏」●あいち健康の森公園	健康の森公園管理事務所 9:30	村瀬(0562-46-1974)門脇重
10	21	7	9	金	受託		大府	「④灯火に集まる虫たち」●セレトナ	セレトナ 19:30	村瀬(0562-46-1974)水野利
11	21	9	11	土	受託		大府	「⑤秋の鳴く虫さがし」●セレトナ	セレトナ 14:30	吉川洋(052-381-4426)福岡
12	21	9	12	日	受託		大府	「川のいきものをさがそう」●大府市環境課	鞍流瀬川　飛び石付近 9:30	村瀬(0562-46-1974)門脇重
13	21	9	19	日	受託		大府	クリーンアップザワールド●大府市環境課	未定	村瀬(0562-46-1974)吉川洋
14	21	9	26	日	受託		大府	中止「秋のいきものをさがそう」●大府市環境課	健康の森公園薬草園　9:30	村瀬(0562-46-1974)福岡
15	21	10	3	日	受託		大府	「⑥どんぐり探検隊」●セレトナ	セレトナ 9:30	村瀬(0562-46-1974)吉川洋
16	21	10	17	日	受託		大府	「虫・花・樹をさがそう・秋」●あいち健康の森公園	健康の森公園管理事務所 9:30	村瀬(0562-46-1974)今西
17	21	11	7	日	受託		大府	中止「セレトナフェスタ2021-⑦」●セレトナ	セレトナ 9:30	村瀬(0562-46-1974)吉川洋
18	21	12	5	日	受託		大府	「⑧小枝で作ろう森のリース」●セレトナ	セレトナ 9:30	村瀬(0562-46-1974)吉川洋

【行事名】　鞍流瀬川の観察会　主催 大府市環境課

【日　時】　2021年9月12日(日)　09:30～11:30
【場　所】　集合:木村証券大府支店駐車場
【天　気】　曇り時々小雨
【担　当】　村瀬、門脇重
【参加者】　一般20名（大人8名、子供12名)、環境課職員他(5)
（指導員6名：浅井一、門脇重、田中央、村瀬、森田、吉川洋)
【内　容】 近日の自然観察会予定は軒並み中止でしたが、大府市環境課のご尽力で、緊急事態宣言期間延長下で唯一開催された自然観察会になりました。
鞍流瀬川(くらながせがわ)は近自然河川工法で整備された親水性に優れた川です。採集観察された生きものにはオイカワ、カマツカ、スジエビ等が多く目立ちました。
外来種も5種類程含まれていました。雨後の水流がやや有りましたが、足場も優しく、水質も良さそうでしたので快適な水辺の生きもの観察を楽しめました。

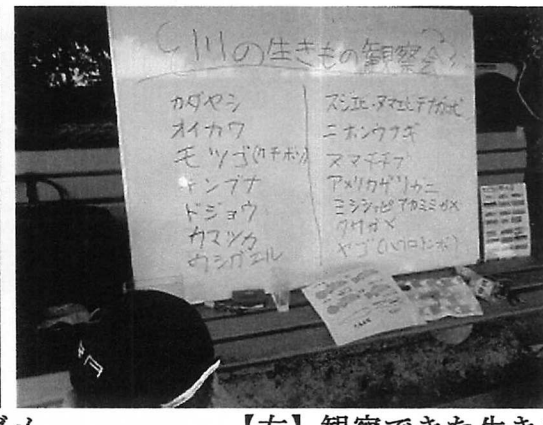
【観察した生き物】
◎動物
カダヤシ、オイカワ、モツゴ、ギンブナ、マドジョウ、カマツカ、スジエビ、ヌマエビ、テナガエビ、ニホンウナギ、ヌマチチブ、
アメリカザリガニ、ミシシツピーアカミミガメ、クサガメ、ヤゴ(アカネ科)、ヤゴと成虫(ハグロトンボ)、シジミ
◎植物
クズ(開花)、ワルナスビ(開花)、ヒメジョオン(開花)、タンポポ(開花)、マルバツユクサ(開花)、トウネズミモチ(結実)
◎その他
カタツムリ、アオサギ

【観察会の様子】


【左】鞍流瀬川

【右】四手網で採集観察

【左】クサガメ、ミシシッピーアカミミガメ



【右】観察できた生きもの

武豊ブロック観察会　2021(令3)年　1月～12月

No	年	月	日	曜	種	保険	担当	「テーマ」　●印…主催者	集合場所と時刻	担当指導員(問合せ先)
1	21	1	24	日	募	協	武豊	「冬の風物・海辺の鳥を見よう」	河和口駅前の海岸 9:30	古川(0569-73-6078)伊藤伸
2	21	4	4	日	募	協	武豊	「里山の春を感じよう」	別曽池公園P 9:30	畑中(080-1631-0413)古川
3	21	5	16	日	募	協	武豊	「野の花や虫たちに会おう」	壱町田湿地P 9:30	伊藤伸(0569-73-5059)畠
4	21	6	12	土	募	協	武豊	「天然のホタルに会おう」	市原農村広場P 19:00	畠(0569-73-3518)畑中
5	21	7	4	日	募	協	武豊	「ジャブジャブと新川の生きものすくい」	市原農村広場の東P 9:30	畠(0569-73-3518)榊原正
6	21	9	5	日	募	協	武豊	「里山の秋を見つけよう」	別曽池公園駐車場 9:30	伊藤伸(0569-73-5059)畑中
7	21	10	17	日	募	協	武豊	「ツルや枝・ドングリ等で工作しよう」	武豊自然公園P 9:30	畑中(080-1631-0413)伊藤伸
8	21	11	13	土	募	協	武豊	「にぎやかな秋の鳥たちを見よう」	中山保育園P 9:30	古川(0569-73-6078)清水

【行事名】にぎやかな秋の鳥たちを見よう

【日　時】２０２１（Ｒ３）年　１月２４日(日) ９:３０～１０：２０
【場　所】河和口海岸
【天　気】小雨
【担　当】古川、清水佐
【参加者】一般　　０名
　　指導員：伊藤伸、畠、畑中、古川　　（畠　記）
【内　容】
　曇りでときどき小雨のはっきりしない天気。開始の9時半は指導員4名のみ。しかし目の前にはオオバンの群れやカモ類がいて、折角なので観察会は中止として研修会に切り替え、少し観察することにした。途中一般参加者１名が来場されたが、事情を話し、自由参加者として加わった。
　波打ち際にオオバンが５～６０羽の集団で居り、「これ程の集団はめずらしい！」と古川指導員。入口から２００ｍほど北に進んで折り返し終了。
【観察できた鳥】
ハクセキレイ、オオバン、ハシビロガモ、マガモ、コガモ、メジロ、モズ、ヒヨドリ、キジバト、アオサギ、キンクロハジロ、ヒドリガモ、ハマシギ、シロチドリ、ハシブトカラス、トビ、イソヒヨドリ、コサギ、カワウ　　ほか

トップページへ

【行事名】里山の春を感じよう（草・花・虫）

【日　時】２０２１（Ｒ３）年　４月　４日(日) ９:３０～１１：３０
【場　所】武豊別曽池公園周辺
【天　気】曇り
【担　当】畑中、古川
【参加者】一般　１６名（大人９、小７）
　　指導員：浅井一、伊藤伸、榊原正、清水佐、畠、畑中、古川　　（畑中記）
【内　容】
　観察コースは例年通り別曽池周辺でした。ほぼ同じ道筋を回りましたが、年々ソーラーパネルが増え続けて、今年度はかって里山が広がり、小川も流れ湿地があったがなくなってしまった。
　それでもウグイスの鳴き声やカエルの声を聴くことができた。
　子供たちはタモや虫かご持参で参加してくれましたが、あいにくの曇り空で、虫があまり見つからず、植物についての話や、カエルとオタマジャクシのことなどを学びました。
　ウラジロの「跳び馬」は今年も大人気で、いいお土産になりました。
　近年自然観察の適地にソーラーパネルの設置がものすごい勢いで進み、自然破壊？が進んでいるので、来年はどうなっているのか？と心配です。

【観察会の様子】

【左】始めの挨拶とお話

【右】蝶などがいないので側溝のオタマジャクシ観察

【左】小川(?) でオタマジャクシすくいた

【右】カエルを見つけたが逃げられ

【観察会の様子-追加】

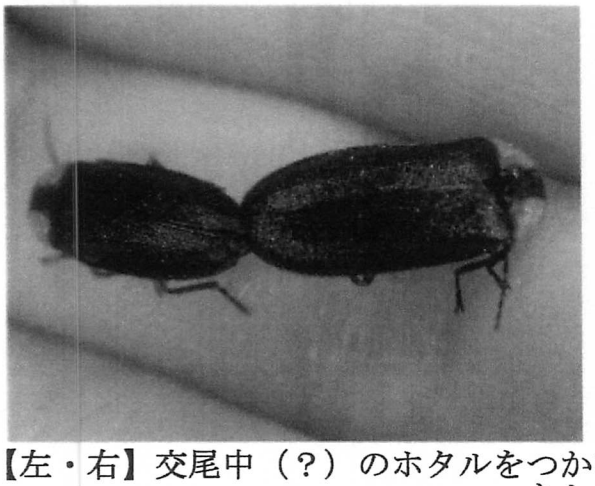
【行事名】天然のホタルに会おう

【日　時】２０２１（Ｒ３）年　６月１２日(土) １９：００～２０：４０
【場　所】武豊　市原農村広場近傍
【天　気】曇り
【担　当】畠、　畑中
【参加者】一般　１０４名（大人５６、小人４８）
　　指導員：伊藤伸、榊原正、清水佐、畠、畑中、牧野　（畠　記）
【内　容】
雨の心配のない曇り空。
　受付準備ができた１８時３０分ごろから参加者が来場。みるみるうちに駐車場が満杯に。たまたま７月の新川観察会用に借りておいた隣接する別の駐車場へ１０数台を案内し、事無きを得ました。本日の参加者は何と１０４名。今までにない大人数でした。
　予定地点まで歩行約１０分。到着したもののホタルの光が見えない。７時５０分になってやっとチラホラ程度。それでも光るごとに歓声が上がった。
　このままでは参加者に申し訳ないと思い別のポイントに移動。「オッ！飛んでる、光ってる、その数、数十匹」大人も子供も光を追い、光に見入っていました。
「光っているところが見られて楽しかった、光るのに会って震えるほど感動した」との感想が聞かれ、来年も続いていくことを願いました。

【観察会の様子】

【左】始めの挨拶とお話

【右】観察地でのホタル探し



【左・右】交尾中（？）のホタルをつかまえた子がいた。ひっくり返しても離れなかった

【以下の４枚】地上に降りたホタルを探す親子

【行事名】野の花や虫たちに会おう

【日　時】２０２１（R３）年　５月１６日(日) ９:３０～１１：３０
【場　所】武豊　壱町田湿地周辺
【天　気】曇りときどき小雨
【担　当】伊藤伸、畠
【参加者】一般　２３名（大人１５、小８）
　　指導員：伊藤伸、榊原正、清水佐、畠、畑中、古川　（畠　記）
【内　容】
　会場へ向かう途中から小雨がぱらつき、「中止」の文字が頭に浮かぶ中現地に到着。
　何と参加者がもう大勢集まっていて、子供たちはタモを振ってやる気満々。
　雲のレーダー画面で雨の予測を確認し、1時間は雨は降らないと踏んで出発。
　道端の花や草の実を観察しながら進んだ。さすがに虫は少ないが、テントウムシや、バッタの子供、カメムシの類がちらほら。
　予定コースを半分で切り上げ集合場所の壱町田湿地へ戻り、事前に許可を得ていた湿地内の見学を実施。
　湿地の一般公開時期には終わっているササユリが、ちょうど満開で、みなさん感激しきり。結果オーライの観察会であった。

【観察会の様子】

【左】受付。手前の車のバックドアを利用して　　【右】始めの挨拶とお話

【左】ハルゼミの抜け殻を観察　【右】壱町田湿地が県の天然記念物になるまでのお話

トップページへ

【行事名】ジャブジャブと新川の生きものすくい　増水のため中止

【日　時】２０２１（Ｒ３）年　７月　４日(日)　９：３０～１１：００
【場　所】武豊　市原農村広場の東下
【天　気】曇り時々雨
【担　当】畠、榊原正
【参加者】※帰らずに最後まで現場にいた一般参加者　一般　２５名（大人１４、小人１１）
指導員：浅井一、大矢晃、門脇重、榊原正、田中央、畠、古川、森田　（畠記）
【内　容】
夜中に強い雨、明け方にも一時強い雨が降り、川は増水して強い流れ。これでは子供たちが川に入れないとすぐ中止を決定。
役場、中央公民館、関係指導員に中止を連絡し、駐車場入り口に「中止」を知らせるボードを立てた車を置いて、さらに係員が立って来場者に中止を伝えた。
しかしながら去りがたい家族が幾組も川を眺めている。
時間の経過とともに少し緩やかな流れになり、ベテラン指導員が川中に立った。これを合図に「自由参加の研修会」として進めた。一般参加者は川に入らず、もっぱら指導員が掬った生き物を水槽に入れ、ミニ水族館を開館。
たちまち水槽に生き物が溢れ、それに目を見張る子供たち。種類の多さに驚く親御さんたち。いまだここがふるさとの川。
来年はどうか天気に恵まれますように。

【水族館の生き物】　ウキゴリ、スミウキゴリ、マドジョウ、ニホンウナギ、ブルーギル、ヤリタナゴ、メダカ、アメリカザリガニ、ヌマエビ、テナガエビ、マツカサガイ、マシジミ、カワニナ、モクズガニ、コオイムシ、ハグロトンボのヤゴ、アカミミガメ　ほか

【観察会の様子】

【左】朝８時頃では川の中の草の緑部分がもっと少なかった。写真は１０時過ぎ撮影のモノ
【右】増水中。子どもたちは田んぼのあぜ道でカエルをつかんでいた。指導員が〝つかみ方〟のコツを教えていた

【左】きれいな水でミニ水族館の出来上がり　【右】ミニ水族館で指導員が捕まえた生きものを説明

【行事名】里山の秋を見つけよう

【日　時】２０２１（Ｒ３）年　９月　５日(日)　９：３０～１１：３０
【場　所】武豊　別曽池公園周辺
【天　気】曇り
【担　当】伊藤伸、　畑中
【参加者】一般　　１９名（大人１１、小人　８）
　　指導員：伊藤伸、榊原正、清水佐、畠、畑中、古川、森田　（伊藤伸記）
【内　容】
　数日雨が続き本日も少し怪しい気配がしたものの、いつも通り観察会を行うことができました。
　途中道路の真ん中に、行く手を遮るような大きな水たまりや、ぬかるみが私たちを待っていました。木切れや草を敷いてふちっこを辛うじて渡りましたが、それはそれでそこに集まる生き物たちを観察する絶好の場所になりました。
　子供たちはトンボやチョウ、バッタなどを追って元気いっぱい。ナンバンキセル、クズ、ゴンズイの花、コナラ、サルトリイバラの実など、秋をいっぱい感じました。

【観察できたもの】　クズ、アメリカセンダングサ、アメリカミズキンバイ、アレチヌスビトハギ、ガガイモ、センニンソウ、ヤマノイモ、キツネノマゴ、トウカイコモウセンゴケ、マルバルコウ、ママコノシリヌグイ、アケビ、ナンバンギセル、メドハギ　ほか

【観察会の様子】

【左】ナンバンギセルの生育場所付近

【右】ナンバンギセル。今回は本数が多かった

【左】別曽池改修記念碑。道などよく整備されている

【右】終わりの話と次回の予定

【観察会の様子-追加】

【行事名】ツルや枝・ドングリ等で工作しよう

【日　時】２０２１（Ｒ３）年１０月１７日(日)　９：３０～１１：４０
【場　所】武豊町自然公園駐車場
【天　気】晴れ
【担　当】畑中、伊藤伸
【参加者】一般　　３６名（大人１７、小人１９）
　　指導員：伊藤伸、榊原正、鈴木汎、畠、畑中　　（畑中　記）
【内　容】
　昨年と同じく前日に雨が降ったこともあり、足元が滑りやすい状態でしたが、最初の自然物探しも楽しく行うことができました。
　途中、クルミやツバキの実、コナラの実など工作材料を拾い、途中アオダイショウの子どもまで見つけることができました。スズメバチの巣もありました。
　駐車場に戻ってからは、それぞれ工作を楽しみ、最後は作品の展覧会をしました。
　今年は木をスライスした板（大）を基にした作品が多く見られました。竹でレーシングカーを作った子もいました。
　家族連れでの参加が多数でしたので、お父さん、お母さん、子供たちと秋の一日を楽しんでもらえてよかったです。

【観察会の様子】

【左】始めの挨拶とお話 & 諸注意

【右】山頂で材料探し

【左】工作会場

【右】参加者の作品

【観察会の様子-追加】

【行事名】にぎやかな秋の鳥たちを見よう

【日　時】２０２１（Ｒ３）年１１月１３日(土)　９：３０～１１：４０
【場　所】中山保育園周辺
【天　気】快晴
【担　当】古川、清水佐
【参加者】一般　　１名（大人１、小人０）
　　指導員：伊藤伸、榊原正、清水佐、畠、畑中、古川　　（清水佐　記）
【内　容】
　空は青く澄み渡り、日差しも暖かく観察会にはもってこいの日となりました。
　しかし　新型コロナウィルスが下火になった週末、この好天が災い（？）してみんなが紅葉狩りに出かけてしまったのか、一般の参加者が１名というやや寂しい会となりました。
　例年の観察経路は、南知多道路のインターチェンジの道が頭上を覆い、雑木林がたくさん伐採されてしまっていたが、その林の奥ではたくさんの鳥のさえずりが聞こえていました。
　池では多くのカモ達が泳いでおり、シロカイツブリが潜水を繰り返している様子も観察できました。
　また上昇気流に乗って舞うトビ、ノスリの姿もありました。アキアカネも多く飛んでおり、田の水たまりに産卵している様子も見ることができました。
　秋をいっぱい感じることができた一日でした。

【観察できた鳥】
　ハシビロガモ、カルガモ、カワウ、メジロ、ムクドリ、ハシブトガラス、ヒヨドリ、モズ、アオサギ、オオバン、ジョウビタキ、シジュウガラ、キジバト、ウグイス、ツグミ、チョウゲンボウ、ノスリ、オオタカ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、キセキレイ、カワラヒワ　　ほか

【観察会の様子】

【左】始めの挨拶とお話 & 諸注意

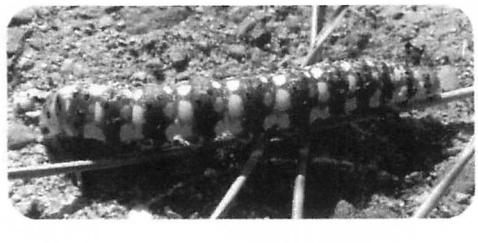
【右】最初の池。遠くにカモが数羽

【左】遠くにノリスが止まっていた

【右】二番目の池での観察

知多ブロック観察会　2021(令3)年　1月～12月

No	年	月	日	曜	種	保険	担当	「テーマ」　●印…主催者	集合場所と時刻	担当指導員(問合せ先)
1	21	1	23	土	受募		知多	「朽木の中の生き物を観察しよう」●梅の館	知多市梅の館 9:30	藤井辰(0562-34-3077)南川
2	21	2	6	土	受託		知多	中止「冬の野鳥の観察しよう」●こども未来館	こども未来館 9:30	吉房(0562-55-9025)古川
3	21	4	24	土	受託		知多	「春の野草と虫さんに会いに行こう」●こども未来館	こども未来館 9:30	吉房(0562-55-9025)吉川勉
4	21	5	15	土	受募		知多	「信濃川の七反田橋周辺の川の生きもの」●梅の館	知多市梅の館 9:30	野村(0562-55-4122)田中央
5	21	6	5	土	受託		知多	中止「信濃川新阿原橋周辺の川の生きもの」●知多市環境政策課	信濃川パークロードP 9:30	野村(0562-55-4122)浅井一
6	21	7	10	土	受託		知多	「海辺の生きものの観察」●こども未来館干潮12:19	新舞子海岸 郷戸広場P 9:30	吉川勉(0569-43-1501)榊原正
7	21	7	24	土	受募		知多	「佐布里池の森の昆虫や野鳥を観察しよう」●梅の館	知多市梅の館 9:30	南川(0569-42-5382)藤井辰
8	21	8	21	土	受託		知多	中止「海辺の生きもの観察」●知多市環境政策課 干潮11:26	新舞子海岸 郷戸広場P 9:30	吉川勉(0569-43-1501)榊原正
9	21	9	18	土	受託		知多	中止「水田や水路の生きものを観察をしよう」●こども未来館	こども未来館 9:30	吉川勉(0569-43-1501)浅井一
10	21	10	2	土	受託		知多	「身近にあるキノコを観察しよう」●こども未来館	知多市旭公園北P 9:30	吉房(0562-55-9025) 降幡
11	21	10	16	土	受募		知多	「佐布里池の森のキノコなど秋の生物を観察しよう」●梅の館	知多市梅の館 9:30	南川(0569-42-5382)降幡
12	21	11	13	土	受託		知多	「旭公園の秋の生物を観察しよう」●知多市環境政策課	知多市旭公園北P 9:30	吉房(0562-55-9025)南川
13	21	12	4	土	募集	協	知多	「日長神社の紅葉を愛でよう」	産業道路日長インター東広場P 9:30	細川(0569-43-3670)吉川勉
14	21	12	18	土	受募		知多	「佐布里池に集まる野鳥を観察しよう」●梅の館	知多市梅の館 9:30	細川(0569-43-3670)古川



【行事名】　春の野草と虫さんに会いに行こう　　● こども未来館 主催

【日　時】　2021年4月24日（土）9：30～11：30
【場　所】　知多市新舞子「こども未来館」周辺（未来館→馬池→稲荷神社→未来館）
【天　気】　晴
【担　当】　吉房、吉川（勉）
【参加者】　30名　大人14人、こども16人　子供未来館職員4名
（指導員：浅井（一）・榊原正・鈴木・田中（央）・藤井（辰）・古川・森田・吉川（勉）・吉房
【内　容】
知多市こども未来館主催の「自然体験クラブ『自然観察会』」の第１回「春の野草と虫さんに会いに行こう」の自然観察会で、昨年度はコロナ禍で中止、今年は参加人数限定で抽選の上で当選された方のみによる開催。親子連れ30人（子供16人）参加とたくさんの親子連れにご参加いただきました。ご参加ありがとうございます。
今年は、比較的に虫が少なかった感じですが、それでも、クビキリギリスやアオスジアゲハ、ヌマガエルなど子供たちは夢中になっていました。ほかにカルガモなどを確認。
（記：吉川）

【観察した生き物】
＊　鳥　　ツバメ、マガモ、ヒヨドリ
＊　植物　マメナシ、ツバキ、イスノキ、クスノキ、ヒサカキ、マサキ、ヤダケ、タンポポ（西洋・日本）、ヒメブタナ、オオジシバリ、ミント、マツバウンラン、ヒメキンギョソウ、コメツブツメクサ、シロツメクサ、チガヤ、カタバミ、オッタチカタバミ、クズ、ヨモギ、オオバコ、ヨシ
＊　昆虫　モンシロチョウ　＊　その他　ミシシピィーアカミミガメの子供の死骸、ヌマガエル

【観察会の様子】

【上】これ何かなー？

【左】虫探しに夢中のご家族

【右】貝探しに全員参加？

【左】見て！カワニナ、タニシ、シジミだよ！

【行事名】　「信濃川の生き物を観察しよう」　　● 知多市梅の館 主催

【日　時】　2021年5月15日(土)　9:30～11:15
【場　所】　知多市梅の館　　実施場所（信濃川新七反田橋周辺）
【天　気】　曇り
【担　当】　野村、田中央
【参加者】　12名　（大人6名・子供6名）　梅の館職員1名
（指導員：浅井一・門脇重・榊原正・田中央・野村・牧野・南川・吉川勉・以上8名
【内　容】
参加者のコロナ対策検温等を済ませて体調確認し、主催者の開会挨拶と観察会からの注意事項を終えて、観察現場の信濃川に向かう。
現地では観察会員のサポート得て梯子を使い安全に川に降りる。川に入ると参加者の皆さんは、草の茂みの下等を盛んに、ジャバジャバと踏み込んでタモで獲物を求めるていた。何が入っているかなと、興味深々で活動し、
参加者が捉えた魚等の生き物をミニ水槽に入れてしばらく各自観察し、その後、指導員の田中氏による魚類等捕らえた生き物の名前や名前の由来の説明を受けました。
今年は魚の種類は少なかったがテナガエビがなぜか多く見られた。
（記：南川）

【観察した生き物】　（魚類）ウナギ、オイカワ、カマツカ、カダヤシ、スミウキゴリ、ヨシノボリ
（甲殻類）テナガエビ、スジヌマエビ、ヌマエビ、モクズガニ、アメリカザリガニ、
（貝類）カワニナ、マシジミ
（水生昆虫）アメンボ、コオイムシ、ハグロトンボのヤゴ、シオカラトンボのヤゴ

【観察会の様子】

【上】始めの挨拶とお話。この後、観察場所へ移動　　【左】〝はしご〟で川へ降りる

【上】川の生きものをタモ網で捕らえる　　【左】捕らえた生きものを指導員が説明

【行事名】　「海辺の生きもの観察」　　●知多市こども未来館

【日　時】　2021年7月10日(土)　09:00～11:15
【場　所】　集合:新舞子海岸郷戸広場P、観察会：西側海岸
【天　気】　梅雨の合間の快晴
【担　当】　吉川勉、榊原正
【参加者】　（一般）こども18名、おとな13名　　（こども未来館職員）4名
（指導員：浅井（一）、門脇重、榊原正、田中央、南川、降幡、牧野、森田、吉川勉
【内　容】
雷雨を伴う長雨が明けて早朝から快晴、暑い日となりました。
干潮は午後０時過ぎで、開始時にはすでに潮が引き始めていました。潮干狩りのお客さんはほとんどいませんでしたが、ウインドサーファーで駐車場は満車、参加者8家族の車の誘導に手間取り、海岸にもサーフボードが広げられていて観察会の範囲はやや絞られることになりました。
オープニングで未来館担当者のごあいさつ、海辺の生き物を探す範囲や危険な生き物について指導員からお話しをした後、サー！海辺の生き物を探しの開始。
参加者の皆さんは潮が見る見るうちに引いていく中での海辺の生き物探し、アサリにも興味津々で砂堀りや岩陰探しを楽しんでいました。また、指導員が参加者の子供たちと一緒に四手網の操作と魚などの追い込みを行い、上げた四手網の中の魚に歓声を上げていました。
その後、捕獲した生きものを、それぞれ生き物の種類別のバットに移しながら、「魚類」と「貝類とその他」に分けて参加者に順を追って説明を行いましたが、参加者からは、特に「ヨウジウオ」に興味を示すとともに、「ヤドカリ」や「カニ」はどうやって大きくなるのなどのほか、”これ何？”など、ワイワイ賑やかに交流が進みました。
最後に、みんなで集合写真をパチッ。　　（記・吉川勉）

【観察した生き物】
◎ 魚　：カレイ・ゴクラクハゼ・ヨウジウオ・ミミズハゼ・フグの仲間・マハゼ、アゴハゼ、ヒメハゼ、ミミズハゼ、ボラの幼魚
◎ エビ：テナガエビ、ユビナガホンヤドカリ、
◎ 貝類：ヒライソガニ・モクズガニ・アサリ・オキシジミ
◎ その他：アナアオサ・テングサ・アマモ・コウホネ・アナアオサ

【観察会の様子】

【左】開始後、貝？探しに夢中

【右】魚類の説明

【左】ほら！ここに魚がいるよ！

【右】貝類・その他の説明

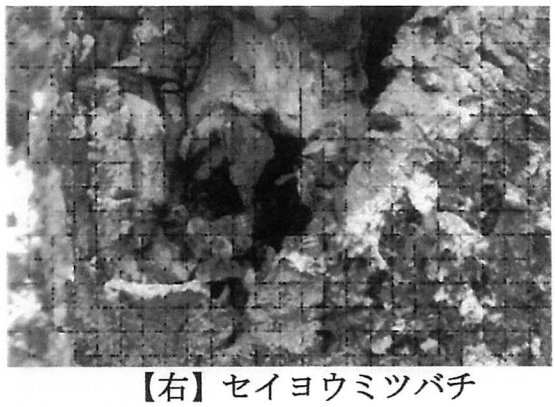
【行事名】　「佐布里の昆虫や野鳥を観察しよう」　　●梅の館主催

【日　時】　2021年7月24日　（土）　9：30～11：30
【場　所】　集合：梅の館
【天　気】　晴れ
【担　当】　南川、藤井（辰）
【参加者】　（一般）15名（大人7名・子供8名）
　　（指導員：藤井辰、古川、牧野、南川、吉川勉、吉房）
【内　容】
　真夏の観察会、日中は33度超えにもかかわらず、子供たちは元気にカミキリ、カナヘビ、コウロギ等平気で捕まえていた。
　マスクをして酸素欠乏苦しい、水分を時々取して、密にならない様に注意をしながら・・・・スズメバチには近づかないよう注意点は多々あるが、子供たちの虫カゴはたくさんの生物でいっぱいだ。
　帰り道での観察は佐布里池からの涼しい風が生き返ったように気持ちよかった。
（記：藤井辰子）

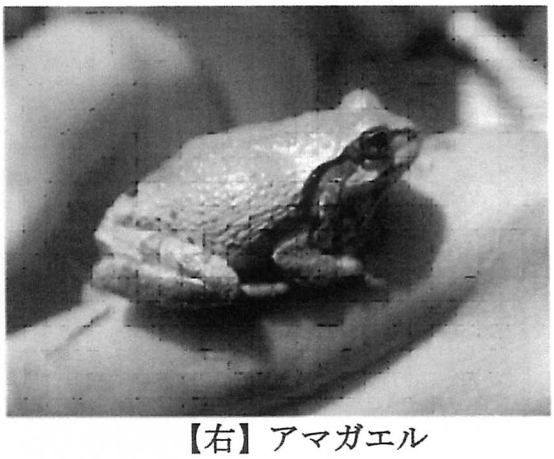
【観察した生き物】
〔昆虫〕ヨツスジトラカミキリ、コメツキ、ショウリョウバッタ、ニイニゼミ、アブラゼミ、クマゼミ、ヒメアカタテハ、ハグロトンボ、チョウトンボ、シオカラトンボ♀、コウロギ、ゾウムシ、ヒシバッタ、アオスジアゲハ、カラスアゲハ、ナミアゲハ、モンシロチョウ、セイヨウミツバチ、スズメバチ
〔水生生物〕マツモムシ、ヒメゲンゴロウ、アメンボウ、オタマジャクシ
〔鳥類〕ホトトギス、ホオジロ、カイツムリ、コゲラ、ヒヨドリ、スズメ、シジュウガラ、ハシブトガラス
〔その他〕カナヘビ、ダンゴムシ、コウガイビル、アマガエル、トノサマガエル、ニホントカゲ、
　　キセルガイ、メジロの巣、サルノコシカケの仲間（コフルサルノコシカケ？）

【観察会の様子】

【左】観察会の挨拶


【右】セイヨウミツバチ

【左】チョウトンボ


【右】アマガエル

【行事名】　「身近にあるキノコの観察」　　●主催：こども未来館

【日　時】　2021 年 10 月 2 日(土)　　9 : 30 ～ 11 : 40
【場　所】　知多市　旭公園
【天　気】　晴
【担　当】　吉房、降幡
【参加者】　一般：大人９名、子ども12名　こども未来館　３名
　　（指導員：降幡、南川、吉川勉、吉房）

【内容】
　コロナ禍で自粛生活がようやく解かれ、久しぶりの観察会である。
　はじめに、キノコのつくりについて資料を用いて説明をした。次に①観察会では食べることのできるキノコを期待するが少ないこと、②毒キノコでも触ったり食べたりして現れる症状が人によって異なること、③カエンタケが出た地区があるのでオレンジ色のキノコを素手でさわらないこと、④観察会が終わったら必ず手を洗うこと、等の注意が４点あった。皆熱心に聞いていた。
　キノコ探しが始まると皆一生懸命。子供の目線は低いので、思いがけないところでのキノコまで探し出し、大人が驚くばかりである。観察会に参加する親御さんは自然に対する関心が強い方ばかりなので、子供達も日頃からその影響を受けていて、鋭い観察力を持っている。小さな子までが終わりの時間を告げるまで熱心にキノコ探しをしていた。全員が多くのキノコを採集することができた。
　最後に、皆で採集したキノコの名前や特徴等の説明が降幡さんからあった。ホコリタケを軽くたたくと胞子が埃のように舞い上がる様子や本物のクロハツとニセクロハツの見分け方に歓声が上がった。キノコの名前の付いた由来を、興味深く聞き感心していた。
　子供達の「楽しかった」と言う声に、自粛生活が続いた中で素晴らしい日となった。
（記：吉房）

【見つけたキノコ等】
＜キノコ＞　コフキサルノコシカケ、クジラタケ、ホコリタケ、シワタケ、ノウタケ、ニガクリタケ、アラゲカワラタケ、カワウソタケ、クロハツ、ヒイロタケ、アカヤマタケ、カワラタケ、ニセショウロ、オニタケ
＜木の実＞　クヌギ、マテバシイ、シラカシ、コナラ、ツブラジイ

【観察会の様子】

【左】最後に皆さんでパチリ

【右】サルノコシカケ発見

【左】クジラタケ

【右】強い毒があるニガクリタケ

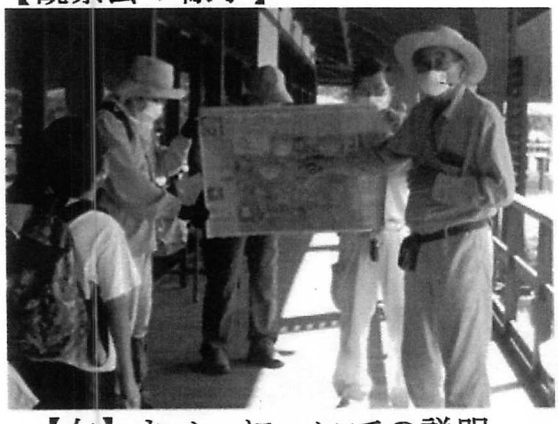
【行事名】　「佐布里池の森のキノコなど秋の生物を観察しよう」
●主催：梅の館

【日　時】　2021 年10月16 日(土)　9:30 ～ 11:30
【場　所】　梅の館
【天　気】　晴れ
【担　当】　南川陸夫　　降幡光宏
【参加者】　一般　15名（大人5人・子供10人）、梅の館　1名
　　指導員：藤井（辰）、降幡、南川、森下（保）

【内容】
梅の館の館長から、はじめの挨拶があり、その後、降幡さんより「キノコ」についての図解説明をされた。キノコを理解して、興味わかせて観察に出かける。
条件としては２日前雨で多くのキノコに出会えそうに期待したが、この林の林床が腐葉土の少なさ等、新たなキノコと出会いは無かったが、大きな枯木に群がって生えていた大きなコフキサルノコシカケの仲間等、10種類のキノコが観察され、子供たちが珍しそうに手にして触れて、感触を体験していた。夏を謳歌したカブト虫、クマゼミ等亡骸、アオダイショウ抜け殻、冬眠を迎えるアマガエルや蛹で春を待つセスジスズメの幼虫が見られ、季節の移り変わりを体験できた観察会であった。　　（記：南川）

【観察した生きもの】
◎キノコ：アラゲカワラタケ、イタチダケ、イグチの仲間、カワラタケ仲間、コフキサルノコシカケ仲間、ツチグリ、ハリタケ、フウセンダケ、ホウロダケ、ヤマドリタケモドキ
◎昆　虫：セスジスズメ幼虫、キチョウ、ベニシジミ、アカタテハ、フクラスズメ、オオカマキリ、ツクツボウシ
◎　鳥　：ヒヨドリ、モズ、カラス、コゲラ、シジュウガラ、メジロ、
◎その他：アマガエル、アオダイショウの抜け殻

【観察会の様子】



【左】キノコについての説明

【右】採れたキノコを展示して説明

トップページへ

【行事名】　「旭公園の秋の生き物を観察しよう」　　●主催　知多市環境政策課

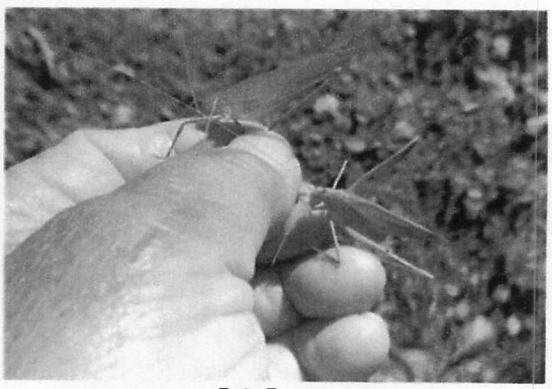
【日　時】　2021年11月13日（土）　9:30～11:30
【場　所】　知多市旭公園
【天　気】　晴れ
【担　当】　吉房　瞳　　南川陸夫
【参加者】　11名（大人4名・子供7名）　知多市関係者2名
　　指導員：浅井一・降旗・南川・吉房

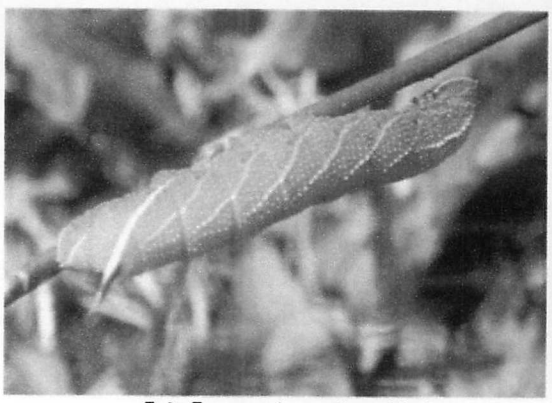
【内容】
　快晴の観察会日和になった。
　主催者知多市環境政策課からの挨拶と観察会から吉房さんからの観察のポイントとラミネートで作成された資料の説明を配布されて公園内の観察に入る。
　子供達は数少なくなったトンボやバッタをタモで追いかける歓声が展開されたし、時より満開のキンモクセイの香りが漂う公園で小鳥の鳴き声も 聞き取れたし、生き物や植物もそれぞれに観察することができた。　　（記:南川陸夫）

【見られた生き物】
　◎せせらぎで見られた水辺の生き物＝カダヤシ、ヌマエビ、カワニナ、タニシ、アマガエル、トノオサマガエル、ヌマガエル、
◎昆虫＝シオカラトンボ、ツユムシ、ヒメアカタテハ、スズメガの幼虫、オンブバッタ、ツユムシ
◎鳥＝ヒヨドリ、メジロ、モズ、カラス、スズメ、シジュウガラ、ハクセキレイ
◎その他＝アブラゼミ抜け殻、カナヘビ
◎植物（主な物）＝キンモクセイ、ヤブニッケイ、ヤマモモ、ナンキンハゼ、ガガイモ、オニグルミ、ヒメブタナ、
イヌビワ、クロガネモチ、アケビ、アマゾントチカガミ、センリョウ、サザンカ、サネカズラ、ノコンギク

【観察会の様子】

【左】樹木の説明をしています


【右】ツユムシ


【左】スズメガの幼虫

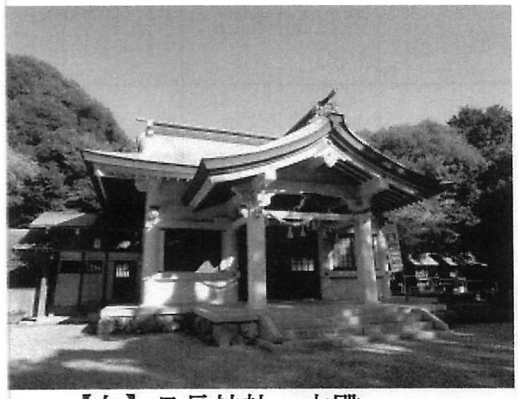
【右】サネカズラの実

【行事名】　日長神社の紅葉を愛でよう

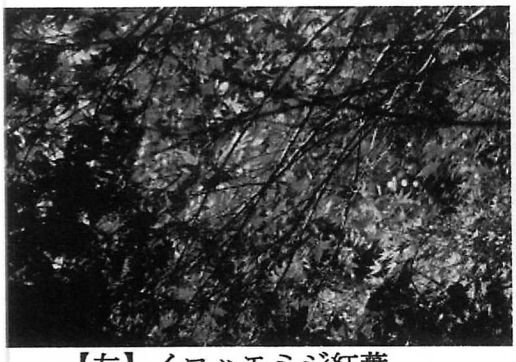
【日　時】　2021年12月4日(土)　09:30～11:30
【場　所】　集合:産業道路日長インター東広場P
【天　気】　晴れ
【担　当】　細川、吉川勉
【参加者】　一般5名（大人4名、子供1名）
（指導員10名：浅井一、榊原正、藤井辰、降幡、古川、細川、南川、森田、吉川勉、吉房）
【内　容】
日長神社の「紅葉谷（もみじだに）」は紅葉のピークを迎え、紅葉狩りを楽しむ人が多く訪れていた。
鎮守の森から空を見上げると、高木に囲まれた狭い空に偶然にも２羽のオオタカとノスリ、トビを同時に見ることができた。
今回、昆虫好きの少年が参加し、根気よく蟻地獄からウスバカゲロウの幼虫を２匹も捕るなど、指導員たちは未来の昆虫博士への期待を抱いた。
（記・細川）

【観察した生き物】
◎植物
ノムラモミジ、イロハモミジ、オオモミジ、トウネズミモチ、ナンキンハゼノキ、シキザクラ、シイ、フジ、センリョウ、マンリョウ、モチ、カナメモチ、ササクサ、コムラサキシキブ、ミミズバエ、フユノハナワラビ
◎動物
昆虫：カブトムシ(幼虫)、コガネムシ（幼虫）、サトクダマキモドキ、キドクガ（幼虫）ハサミムシ、アリジゴク、ジョロウグモ、シロカネイソウロウグモ
鳥類：オオタカ、ノスリ、トビ、コゲラ、メジロ、ヒヨドリ
◎その他
菌類：コフキサルノコシカケ、カワラタケ

【観察会の様子】


【左】日長神社　本殿

【右】紅葉谷　登坂、紅葉を愛でる


【左】イロハモミジ紅葉

【右】神社境内のノムラモミジ

東海ブロック観察会　2021(令3)年　1月～12月

No	年	月	日	曜	種	保険	担当	「テーマ」　●印…主催者	集合場所と時刻	担当指導員(問合せ先)
1	21	1	23	土	受託		東海	「公園の野鳥 を観察」☆ ●東海市施管協	大池公園動植物資料館 9:30	岩崎(052-601-5504)神野
2	21	2	13	土	受託		東海	「朽ち木の虫観察」☆　●東海市施管協	大池公園テニスコート前 9:30	吉村(0562-32-3760)降幡
3	21	5	15	土	受託		東海	中止「ヒメボタルに会おう」☆参加費100円●東海市施管協	上野台公園 21:30	浅井一(080-6960-6053)吉川洋
4	21	7	3	土	受託		東海	「昆虫とオオケマイマイ」☆参加費100円●東海市施管協	しあわせ村玄関前 9:30	吉川洋(052-381-4426)平松俊
5	21	8	1	日	受託		東海	「夏の生き物をみつけよう」☆参加費100円-東海市施管協	加木屋緑地第三駐車場 9:30	浅井一(080-6960-6053)森田
6	21	9	18	土	受託		東海	中止「秋の虫を探そう」☆参加費100円●東海市施管協	大池公園テニスコート前 9:30	平松俊(052-601-1491)森田
7	21	10	16	土	受託		東海	「アサギマダラに会おう」☆参加費100円●東海市施管協	加木屋緑地第三駐車場 9:30	吉川洋(052-381-4426)平松俊
8	21	10	24	日	受託		東海	「公園のキノコを観察」☆参加費100円●東海市施管協	大池公園多目的室 9:30	降幡(0569-43-8060)吉房

（オオワラジカイガラムシの交尾）

【行事名】　「朽ち木の虫観察」☆　　●主催 ： 東海市施設管理協会
【日　時】　2021年02月13日(土)　09:30～1130
【場　所】　東海市　大池公園
【天　気】　くもり
【担　当】　吉村、降幡
【参加者】　一般6家族（16名くらい）
　　（指導員：浅井一、降幡、森田、吉村）
【内　容】
　新型コロナウイルス・緊急事態宣言中のため主催者(東海市施管協)により6家族に制限され開催されました。主催者からのコロナについての対応について説明の後、現地に向かいました。現地で簡単な注意の後、家族ごとに森の中から朽木を運び出して虫探しをしました。昨年より観察できた生き物の種類は少なかったですが主催者のアンケートによると皆さん楽しむことができたみたいです。　(記・吉村)

【観察した生き物
成虫⇒コクワガタ♂♀、ゴミムシダマシの仲間、ゴミムシの仲間、カツオブシムシの仲間？、キマダラカミキリ、ヒゲジロハサミムシ、コガタスズメバチ、クマバチ。
幼虫⇒コクワガタ、カブトムシ、コメツキムシ、ユミアシゴミムシダマシ、カミキリ、キマワリ。
その他⇒ワラジムシ、アオズムカデ、イシムカデ、キセルガイの仲間、コウガイビル、キセルガイの仲間。

【観察会の様子】

【左】開会の挨拶

【右】雑木林でカブトムシ幼虫発見

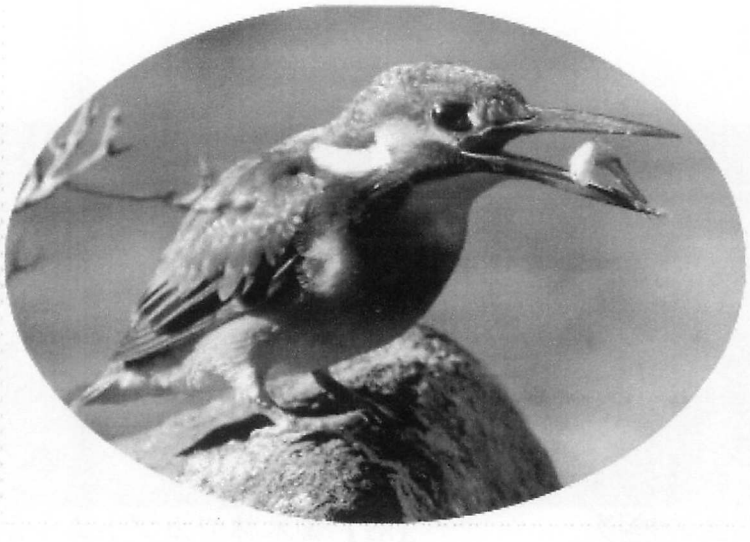
【左】朽ち木を拾い集め冬越し中の虫観察

【右】朽ち木を餌にしているコクワガタ幼虫

【行事名】　「昆虫とオオケマイマイ」　●東海市施設管理協会主催

【日　時】　2021年 7月 3日 9:30～11:30
【場　所】　しあわせ村
【天　気】　晴れ時々小雨
【担　当】　吉川洋、平松俊
【参加者】　一般:42名（大人:19名+子供23名）
（指導員：浅井一、吉川洋）
【内　容】
強い日差しの中に小雨が混じる絶好のマイマイ日和となりました。

【観察した生き物】
オオケマイマイ、イセノマイマイ、ナミコギセル、ナメクジ、コウガイビル、ダンゴムシ、モンキアゲハ、クロアゲハ、カイガラムシ、タマムシ、オサムシのサナギ、オオカマキリの幼虫、アブラゼミ、ニイニイゼミ、日本トカゲ



これまでの観察会へ　　トップページへ

【行事名】　夏の生き物をみつけよう　主催 東海市施設管理協会

【日　時】　2021年8月1日(日)　09:30～11:30
【場　所】　集合:加木屋緑地第3P
【天　気】　晴れ
【担　当】　浅井、森田
【参加者】　一般40名（大人16名、子供24名）
（指導員6名：浅井一、門脇重、田中央、古川、森田、吉川洋）
【内　容】　暑い一日を予想させる強い日差しの下で開会。参加14家族を3班に分けて成長の森ゾーンを班毎に巡回する事にした。
カブトムシ飼育マウンドではキマワリや幼虫類、アベマキ等の林ではカブトムシやカミキリムシ、キジバトの営巣、ビオトープ池ではトンボ、ザリガニ、ウシガエル等話題が尽きず、多様な生きものに触れることができた。
虫篭いっぱいに捕れた昆虫たちを東屋で見せあった後、生きものの話題説明をした。巡回中虫好きの子ども達は多弁となり夢中になって奔走していた。主催者アンケートでも子ども達が満足した様子を保護者が喜び評価していた。
最後に採集した生きものの多くをリリースして散会した。昆虫大好き指導員参集の下で有意義な自然観察会になった。
（記・森田）

【観察した生き物】
◎植物
クリ(結実)、アベマキ(自生の大木)、クズ(開花)、ここからのものは植栽 ->ハギ、キキョウ(開花)、カワラナデシコ(開花)、オミナエシ(開花)
◎動物(昆虫)
カブトムシ、ノコギリクワガタ、コクワガタ、ミヤマカミキリ、ウスバカミキリ、アオドウガネ、ヒメコガネ、キマワリ、ゴミムシダマシの仲間、ウリハムシ
シオカラトンボ、オオシオカラトンボ、ギンヤンマ、オニヤンマ、ウスバキトンボ、ショウジョウトンボ、アジアイトトンボ
ナミアゲハ、ナガサキアゲハ、モンキアゲハ、ツマグロヒョウモン、シジミチョウの仲間
アブラゼミ、クマゼミ、ニイニイゼミ、ショウリョウバッタ、カマキリの仲間、コオロギ(幼生)、クルマバッタ(クルマ模様を確認)、クサキリ、イボバッタ
モリチャバネゴキブリ、ウシアブ(交尾飛行)
◎その他
カタツムリ(イセノナミマイマイ)、アメリカザリガニ、ウシガエル、ツチガエル、ニホントカゲ、ツバメ(飛翔)、ウグイス(鳴き声)

【観察会の様子】

【左】トンボ採り

【右】ウシガエル逮捕

【左】分かち合い

【右】虫篭の中、自慢の甲虫たち

【行事名】　公園のキノコを観察　主催 東海市施管協

【日　時】　2021年10月24日(日)　09:30～11:30
【場　所】　集合:大池公園多目的室
【天　気】　晴れ
【担　当】　降幡、吉房
【参加者】　一般23名（大人10名、子供13名)、協会2名
（指導員4名：浅井一、降幡、森田、吉房)
【内　容】
コロナのため参加者は全員マスクをかけ、手指消毒をしてソーシャルディスタンスをとっての着席である。
はじめに管理協会の方から公園の諸注意、次に降幡さんから本日の本題であるキノコについてつくりや採集の仕方についての説明があった。キノコを拡大した図を利用して説明するので、分かりやすく参加者が興味をもって熱心に聞き入った。参加した子供達も身を乗り出して聞こうとする姿に感心した。その後スズメバチやヤマカカシの対応についての注意を話した。
しばらく雨が降ってないのでキノコの種類が少なく、カワラタケ等サルノコシカケ科の仲間が多く見つかり、参加者全員が「カワラタケ」という名前を覚えてしまった。お父さんもお母さんもとても熱心なので、小さな子供さんまで一生懸命であった。キノコの種類が多く見つかるとよかったが、名前にこだわらず感触から学ぶのは観察会で最も大切なことで、こうして育った子供さんは「図鑑で見たから知ってる」と言う子にはならないことでしょう。以前コウヤクタケが多く見つかった場所で、小さいながらも今年も見つかりうれしかった。

（記・吉房）

【観察した生き物】
◎菌類
カワラタケ、オオカワラタケ、カイガラタケ、チャカイガラタケ、ヒイロタケ、コフキサルノコシカケ、チチアワタケ、ベニタケの仲間、ツヤウチワタケ、カワウソタケ、マンネンタケ、コウヤクタケの仲間、キツネタケの仲間
◎植物
アオギリ、マツボックリ、ヤブミョウガ、ムクノキ(果実)、トベラ(果実)、ヌマスギ(堅果)、スズメウリ(果実)、ヘクソカズラ(果実)、ミズナラ、マテバシイ(堅果)、スダジイ(堅果)、アベマキ(堅果)
◎昆虫
エンマコオロギ、オンブバッタ、コカマキリ、ウラギンシジミ、アオスジアゲハ(遺骸)、アブラゼミ(抜殻)
◎鳥類
シラサギ、ヒヨドリ、カラス、コガモ
◎その他
ミシシッピーアカミミガメ、トカゲ、イセノナミマイマイ、ジョロウグモ、トビズムカデ(遺骸)

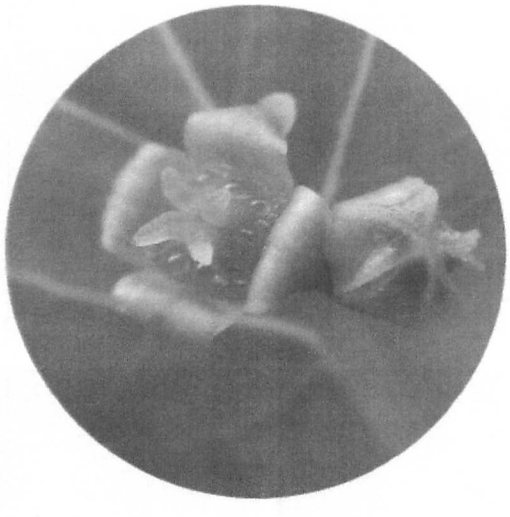
【観察会の様子】

【左】茸のお話　　【右】雑木林は乾燥気味でカワラタケやカイガラタケが目立つ

【左】こっちにもカワラタケ　　【右】採れた茸やドングリ、昆虫類のお披露目

常滑ブロック観察会　2021(令3)年　1月～12月

No	年	月	日	曜	種	保険	担当	「テーマ」　●印…主催者	集合場所と時刻	担当指導員(問合せ先)
1	21	2	28	日	受募		常滑	「朽ち木のダンゴムシたち」●大曽公園	大曽公園P 9:30	森田(0569-42-1708)平松俊
2	21	5	9	日	募	協	常滑	「砂浜の花と虫」	蒲池漁港P 9:30	中井(0569-42-2021)森田
3	21	7	11	日	募	協	常滑	「海辺のカニ、ヤドカリ」(大潮干潮12:54)	蒲池漁港P 10:00	中井(0569-42-2021)森田
4	21	8	8	日	募	協	常滑	「市最高峰86.95mの自然を楽しむ」	高砂山公園P 9:30	森田(0569-42-1708)降幡
5	21	10	3	日	受募		常滑	「雑木林のキノコ」●大曾公園	大曾公園P 9:30	降幡(0569-43-8060)中井



【行事名】　朽ち木のダンゴムシたち　主催 知多自然観察会/常滑ブロック

【日　時】　2021年2月28日(日)　09:30～11:30
【場　所】　集合:大曾公園P
【天　気】　晴れ
【担　当】　森田、平松俊
【参加者】　一般0名
（指導員6名：浅井一、榊原正、田中央、降幡、森下栄、森田）
【内　容】
予定していた親子向け自然観察会は緊急事態宣言中で中止(主催者要請)となり、やむなく自然観察指導員のみで「朽ち木の生きもの研究会」に模様替えして雑木林を探索することにしました。
なお、主催者を大曾公園から知多自然観察会に変更して対応しました。探索した雑木林は研修棟付近の雑木林と弓道場付近の雑木林です。
園内の雑木林は樹木、朽ち木、土壌とも乾燥状態で期待した生きものの数は多く有りませんが、それでもカブトムシ(幼虫)、シロアリの群れ、オカダンゴムシの群れ、ミミズの仲間等冬越し中の虫達の姿を観察できました。
観察途上ではニセアカシア(ハリエンジュ（針槐）)の棘、コゲラの巣穴、オカダンゴムシの外来由来、オウシュウキンポウゲ、野良猫、イセノマイマイやキセルガイについて等、話題も尽きず楽しい時間を過ごすことができました。
一般参加者を募らず、指導員だけで気ままに野山の自然をテーマにしながら楽しむのも一興です。
（記・森田）
【観察した生き物】
◎植物
ニセアカシア(ハリエンジュ（針槐）)、ソテツ(果実)、ビワ(花と果実)、オウシュウキンポウゲ、カラスザンショウ(樹皮)、ウメ(開花)、アオキ(雄花)
◎動物
カブトムシ(幼虫)、キマワリ(幼虫)、コメツキムシ(幼虫)、コクワガタ(遺骸)、シロアリ、オカダンゴムシ、ベニシジミチョウ、ミミズの仲間、イセノマイマイ(貝殻)
◎その他
コゲラ(巣穴)、クロコブタケ、野良猫

【観察会の様子】

【左】伐採木の下探し

【右】明るい雑木林

【左】雑木林に分け入る

【右】枯れ葉めくり

【行事名】　砂浜の花と虫　主催：知多自然観察会(常滑)

【日　時】　2021年5月9日(日)　09:30～11:30
【場　所】　集合:蒲池漁港P
【天　気】　晴れ
【担　当】　中井、森田
【参加者】　一般15名（大人6名、子供9名）
　　（指導員3名：永田、降幡、森田）
【内　容】
5月8日に愛知県のコロナ感染症対策「緊急事態宣言」が5月12日から31日まで発出される事になり、参加者は皆無になるかと不安でした。同日に電話での参加問い合わせが3件(広報とこなめ閲覧2件、知多観HP閲覧1件)有りましたので中止は避けられると確信しました。参加5家族15名を受け付け定時に観察会を開始しました。参加家族用に「蒲池海岸の海浜植物」と「蒲池海岸の虫たち」のラミネート図鑑2枚を手渡し、コース途上で海浜植物を見つけてもらうようにしました。子ども達が好きな虫たちは、容易に採集してもらうために捕虫トラップ(落とし穴)を4ヶ所仕掛けておきました。ハマダイコンに飛来するモンシロチョウ、ハムシ、カメムシなどは子ども達にも手が届きますが、トベラやシャリンバイの花に飛来するモンキアゲハ、クマバチ等は至難です。採集した海浜土壌昆虫は子どもたちに図鑑と照らし合わせてもらいました。途中10分の飲料休憩を挟み11時過ぎには集合場所へ戻り、質問を受けて閉会しました。フリーハンドマイクは参加者との距離感を保て有効でした。
（記・森田）
【観察した生き物】
◎海浜植物
ハマダイコン、ハマヒルガオ、コマツヨイグサ、コウボウムギ、スナビキソウ、オカヒジキ、ハマボウフウ、ハマゴウ、クコ、ダンチク、ツルナ、アツバキミガヨラン
◎海浜昆虫
スナゴミムシダマシ、オサムシモドキ、オカダンゴムシ、ワラジムシ、ヒゲジロハサミムシ、オオハサミムシ、オケラ、セイヨウミツバチ、キムネクマバチ、アリの仲間、ハムシの仲間、テントウムシの仲間、モンシロチョウ、モンキアゲハ、カメムシの仲間(ホオズキカメムシ)
◎その他
オツネンタケ(菌類)、カワウ(鳥類)、クサガメ(両生類遺骸)、フグの仲間(魚類遺骸)

【観察会の様子】

【左】参加者一同

【右】砂浜の虫探し

【左】今日の成果披露

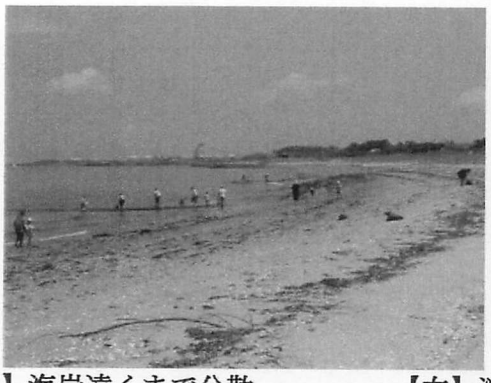
【右】蒲池漁港カワウたち

【行事名】　海辺のカニ、ヤドカリ　主催 知多自然観察会/常滑

【日　時】　2021年07月11日(日)　10:00～12:00
【場　所】　集合:蒲池漁港P
【天　気】　晴れ
【担　当】　中井、降幡
【参加者】　一般36名（大人18名、子供18名）
（指導員3名：降幡、森下栄、森田）
【内　容】
大潮(鬼崎・干潮:12:54 12cm)、梅雨入り(5月16日頃)、梅雨明けは未だ。全国的に大気の状態が不安定で、厳しい蒸し暑さが続く。
当日の参加者は13家族36名。内5家族からは事前の電話申し込みを受けた。鬼崎漁協前で開会挨拶、海辺の危険と熱中症予防についてお願いし海岸へ直行。海辺での活動範囲を定めて約1.5時間を自由活動時間とした。
その間、個々の家族場面で生きものの説明、捕獲の仕方、質問への回答をして過ごした。採れた生きものに満足した頃を見計らい、早めに全員を集めた。採取した生きものをバットに仕分けてもらい、指導員の解説と共に、「驚き(Wonder)」を分かち合った。
コロナ緊縮下、どの家族も屋外での活動を待ち望んで参加されており、「海辺のカニ、ヤドカリと楽しく遊べた」様子でした。
（記・遊びの達人、森田・降幡）

【観察した生き物】
◎海藻・海草
アナアオサ、アマモ、ツルツル、オゴノリ、タンバノリ
◎魚介類
ユビナガホンヤドカリ、イシガニ、イソガニ、ヒライソガニ、ケフサイソガニ、スジエビの仲間
ミミズハゼ、シマハゼ、アゴハゼ、カサゴ
イボニシ(卵嚢付き)、アカニシ(卵嚢)、ムラサキイガイ、アラレタマキビ
◎漂着物(貝殻)
サルボウ、アカニシ
◎その他
フナムシ、ゴカイの仲間コケムシの仲間、エゾカサネカンザシゴカイ、イソガニ寄生虫のフクロムシの仲間

【観察会の様子】


【左】海岸遠くまで分散

【右】消波ブロックの近くはカニとヤドカリの宝庫

【左】ヤドカリ採れた

【右】採れた生きものをバットに仕分け

【行事名】　市最高峰86.95mの自然を楽しむ　主催 知多自然観察会 常滑

【日　時】　2021年8月8日(日)　09:30～11:30
【場　所】　集合:高砂山公園P
【天　気】　晴れ
【担　当】　森田、降幡
【参加者】　一般7名（大人3名、子供4名）
（指導員7名：浅井一、榊原正、降幡、古川、牧野、森田、吉川勉）
【内　容】
TOKYO2020オリンピック閉幕日、年初来の蒸し暑い一日になり熱中症アラートも発令されていた。定時に全14名参集、園内に警告掲示されている危険な生きものスズメ蜂とマムシについて補足説明した後園内約2Kmを左回りで周回する事にした。
公園には展望台、大谷三角点(三等)、雑木林、雑草畑、亀塚池など見所が豊富にあり、生きものも豊かで、それぞれの生態系を感ずることができる。
散策中の子ども達はセミ、アゲハ蝶、トンボ採りに夢中になっていたが捕虫は難しく捕れた数は僅かでした。参加した大人たちは開花、結実中の草木にも関心が深く熱心に質問を頂いた。途中ため池(亀塚池)では手ごろに水が少なく、水辺の生きものも観察する事が出来た。帰路の山登りは老体にはきつく、時々休み時間を入れた。途中栗の木の下にはイガグリが沢山落果しており拾い集めを楽しんだ(中実は無かった)。11時頃、頂上の東屋に戻り観察した生きものについて振り返り解散した。初めての観察地でしたが気づかされる生きものも多く、楽しい観察会になりました。
（記・森田）

【観察した生き物】
◎植物
サクラ(ソメイヨシノ)、クスノキ、イロハモミジ、スモモ(植栽・結実)、カラスザンショウ(開花)、タラノキ、ゴンズイ(結実)、クリ、スダジイ、コナラ、クサギ(開花)、イソノキ(結実)
アレチウリ、アケビ(結実)、ナツフジ(開花)、タカサゴユリ(多株開花)、ヒシ(水草)
◎動物
アブラゼミ、クマゼミ、ニイニイゼミ、ツクツクボウシ
オニヤンマ、ギンヤンマ、シオカラトンボ、オオシオカラトンボ、コシアキトンボ、チョウトンボ、ウスバキトンボ、イトトンボの仲間
ナミアゲハ、キアゲハ、クロアゲハ、モンキチョウ、アオスジアゲハ、ツマグロヒョウモン、シジミチョウの仲間
タマムシ(飛翔)
◎その他
ヌマガエル、ハゼ(淡水性)の仲間、ウグイス(鳴き声)、茸:イグチの仲間、ザイモクタケ

【観察会の様子】

【左】雑木林三角点へ向かう

【右】明るく開けた雑草地

【左】亀塚池　水辺の生きもの観察

【右】雑木林　蜘蛛の巣に捕らわれたアブラゼミ 観

【行事名】　雑木林のキノコ　主催　大曾公園(岩間造園)

【日　時】　2021年10月03日(日)　09:30～11:30
【場　所】　集合:大曾公園P
【天　気】　晴れ
【担　当】　降幡、中井
【参加者】　一般12名（大人7名、子供5名）
（指導員8名：榊原正、中井、降幡、古川、牧野、森下栄、森田、吉川勉）
【内　容】
10月1日にコロナ感染症緊急事態宣言が解除された。「広報とこなめ」で募集した一般参加者12名を含め計２０名、適正規模の観察会になりました。子どもたちは捕虫網持参です。観察会での危険、キノコの基礎知識をレクチャーした後、雑木林に分け入り早速キノコ探しを開始しました。林床はやや乾燥気味で老菌が目立ちました。それでも多数の目で探すと思いの他沢山のキノコを見つける事ができました。木陰にはホタルガやヒカゲチョウの仲間も飛んでおり、子どもたちの絶好の遊び相手になってくれました。テニスコート近くの斜面ではシキザクラが満開で、季節外れの花見もできました。90分ほど雑木林を廻った後で東屋に戻り、採集できたキノコと虫たちを展示してそれぞれの説明と分かち合いをしました。生きもの解説の最後にコロナウィルスのお話を付け加えて無事閉会しました。
（記・森田）
【観察した生き物】
◎菌類
コフキサルノコシカケ、マンネンタケ、ヘビキノコモドキ、カイメンタケ、コツブタケ、チョウジチチタケ、カレバキツネタケ、キイロイグチ、ハナガサイグチ、ヌメリイグチ、ノウタケ、ホウロクタケ、フウセンタケの仲間、ウズラタケ、クロハツ、アラゲキクラゲ、ツヤウチワタケ、アシグロタケ、シロオニタケ、ニオイコベニタケ、ヤマドリタケモドキ
◎昆虫類
クロコノマチョウ、ナミヒカゲ、ホタルガ、クビキリギス、コカマキリ、コバネイナゴ、オカメコオロギ、センチコガネ、スズメバチの仲間(飛翔)、カメムシの仲間
◎植物
ムクロジ(果実)、イチョウ(ギンナン)、シキザクラ、ヒヨドリバナ(開花)、シキザクラ(開花)
◎その他
イセノナミマイマイ、ハサミムシの仲間

【観察会の様子】

【左】キノコの基礎知識レクチャー

【右】キノコ採集

【左】きのこ三兄弟

【右】キノコ観察結果、分かち合い

半田ブロック観察会　2021(令3)年　1月～12月

No	年	月	日	曜	種	保険	担当	「テーマ」　●印…主催者	集合場所と時刻	担当指導員(問合せ先)
1	21	2	6	土	受託		半田	「冬越しをする虫たちの生活」	任坊山公園P 9:30	榊原正(0569-21-7000)牧野
2	21	4	18	日	募	協	半田	「任坊山の春-虫や野草の観察」（あいちの自然観察会）	任坊山公園P 9:30	榊原靖(0569-21-3497)安達
3	21	6	13	日	受託		半田	中止「亀崎海岸の生き物」干潮●半田市環境課	亀崎海浜緑地P 9:30	山田和(0569-22-4660)加藤
4	21	8	7	土	受託		半田	「ナイトハイクと灯火に集まる虫」●半田市環境課	半田運動公園第4P 19:00	榊原正(0569-21-7000)山田和
5	21	9	18	土	受託		半田	中止「神戸川の生きもの」●半田市環境課	青山公園P 9:30	榊原靖(0569-21-3497)森下保
6	21	10	2	土	受託		半田	「任坊山の秋-アサギマダラに会えるかな」●半田市環境課	任坊山公園P 9:30	石川由(0569-23-1101)牧野
7	21	12	11	土	募	協	半田	「康衛池のカモと阿久比川河口の生き物」	瑞穂記念館P 9:30	鈴木汎(0569-22-0908)榊原正

【行事名】　「冬越しをする虫たちの生活」

【日　時】　2021年2月6日（土）　9:30～11:30
【場　所】　任坊山公園
【天　気】　晴れ
【担　当】　榊原正、牧野
【参加者】　一般18名（大人8名、子ども　10名）
（指導員：安達、榊原正、榊原靖、鈴木汎、田中央、藤井辰、古川、牧野、森下栄、森田琢、山田和）
【内　容】
一般参加は、半田こどもエコクラブの皆さんでにぎやかな観察会ができました。
まず、宮池東側を歩きました。大きなエノキの幹でヨコズナサシガメ幼虫の集団を観察。暖かい日差しにナナホシテントウとクビキリギスが姿を現しました。シュロの葉にオオカマキリの卵が2つ。木の幹に人の目玉のような模様を確認しました。
その後、任坊山の森の中で朽ち木の中で越冬している虫たちを探しました。一番多く出たのはコガタスズメバチの女王バチ。幼虫はキマワリ、コクワガタ、カミキリムシ、ユミアシゴミムシダマシ。その他、ヒゲジロハサミムシ、トビズムカデ、ジムカデ、ダンゴムシなどたくさんの虫たちに出会えました。
（記：牧野）

【観察会の様子】

【左】太いエノキの幹の北側に黒い〝かたまり〟　【右】かたまりの一部を手のひらに載せた→動きだした

【左】シュロの葉裏にオオカマキリの卵（卵のう）　【右】指導員の一人がクビキリギスをつかまえてきた

【観察会の様子-追加】

【行事名】　「任坊山の春－虫や野草の観察」

【日　時】　４月１８日（日）　9:30～11:20
【場　所】　任坊山公園
【天　気】　曇り一時晴れ
【担　当】　榊原靖、安達
【参加者】　19名（大人8名、子ども11名）
（指導員：浅井一、石川よ、石川由、榊原正、榊原靖、鈴木、田中央、藤井辰、森田、山田和、吉川勉）
【内　容】
前日は一日中強い雨・風で大荒れでしたが、当日はすっかり雨は上がり、雲が多めではあるもののいい天気になりました。例年になく多くの参加者があり、指導員も多数が参集してくれました。親子での参加が多く、にぎやかな観察会になりました。
新たに整備された宮池エリアの遊歩道で草花遊び（イタドリの葉っぱ鉄砲、ヤエムグラのひっつき虫、シロツメクサの指輪など）をした後、任坊山の森に入ります。
森の中の遊歩道の上にクロバイの白い小さな花が散っていました。クロバイの花は森のてっぺんに咲くのでなかなか間近に見ることができませんが、任坊山では最上部にあるみはらし台の階段脇に背の低いクロバイの木があって、階段を途中まで昇るとすぐ近くで見ることができます。今年もちょうど花盛りで、ほんのり甘い香りがする純白の花を楽しむことができました。
子どもが多いので興味の中心は虫になります。ウバタマムシやクビキリギスが姿を見せてくれました。コナラなどの大木の幹にオオワラジカイガラムシがたくさん付いていました。この昆虫、オスとメスが全く違う姿をしています。人だかりの中心にあったのは誰かが森の中から持ち出した朽ちかけた樹木。クワガタやキマワリの幼虫、ヒゲジロハサミムシなど多くの虫が出てきて子どもたちに大人気でした。
はじめにいい天気に恵まれたと書きましたが、観察が終わって解散を宣言した途端ににわか雨。かなり大粒の雨で、あわてて退散しました。　（記；榊原靖）

【観察した生き物】
イタドリ、ヤエムグラ、シロツメクサ、クロバイ、ウバタマムシ、オオワラジカイガラムシ、クビキリギス、コ（？）クワガタの幼虫、ヒゲジロハサミムシ、キマワリの幼虫

【観察会の様子】

【左】担当者の始めの挨拶とお話　【右】池の近くの〝自然広場〟。クビキリギスもいた

【左】展望台の階段からクロバイの花の観察する。手が届くところの花で香りも楽しむ

【行事名】　「ナイトハイクと灯火に集まる虫」　●半田市環境課

【日　時】　2021年８月７日（土）　19:00～20:30
【場　所】　半田運動公園
【天　気】　晴れ
【担　当】　榊原正、山田和
【参加者】　13家族
（指導員：安達、石川よ、石川由、加藤、榊原正、榊原靖、鈴木、平松裕、牧野、森下栄、山田和、山田竜）
【内　容】
下見は8/1(日)午後5時から実施した。今回の下見は散策路の茂みから入って、樹液が目立つコナラやクヌギに赤布でマークしておいた。もちろん、茂みの入り口（２ヶ所）も赤布でマークした。これらは、例年のナイトハイクの観察コースでカブトムシなどが余り見られなかった場合、ここに入って探してみようという作戦であった。結果はナイトハイクで〝それなり〟に見られたので（昨年は大感動だった！）茂みから入ることはなかった。このようにナイトハイクは〝まあまあ〟であった。
灯火採集の結果は極めて貧弱であった。ナイトハイクを終え、何が集まってるかなとワクワクの期待を胸に、灯火採集場所に帰ってくるのであるが、大型昆虫の姿は見えず、例年、相当数集まっているアオドウガネの頭数(?) も例年に比べてぐっと少ない。それでも、子どもたちはスクリーンに止まっている虫に我れ先に顔を近づけて嬉しそうに観察していた。指導員の説明も熱心に聞いていた。この状況に「この観察会も捨て難いモノがある」と思った次第。
なお、この観察会では、ナイトハイク中に見る昆虫は、一切、捕獲せず、観察するだけで通り過ぎます。　（記：榊原正）

【観察会の様子】

【左】主催者が受付で検温と手の消毒を実施

【右】始めの挨拶と諸注意

【左】カブトムシが５，６匹止まってる

【右】ムカデが時々、いる

【観察会の様子-追加】

【行事名】　「任坊山の秋-アサギマダラに会えるかな」　　●半田市環境課主催

【日　時】　2021(令3)年10月２日（土）　9:30～11:20
【場　所】　任坊山公園
【天　気】　快晴（＆夏日）
【担　当】　石川由、牧野
【参加者】　19名（８家族）
（指導員：浅井一、石川よ、石川由、加藤、榊原正、榊原靖、鈴木、田中央、藤井辰、古川、牧野、森下栄、森下保、森田、山田和）
【内　容】
台風16号が関東沖合を北東方向に進んで行ったお陰か、本日は快晴でした。
さて、観察会は…。主催の環境課の話に続いて指導員の話の後、観察会に出発。
観察会はグループ分けせず、私が先頭で進んだが、一般参加者が適当に続くが、そこに、指導員が適当に混ざって自分の周りの人に話しかけたりしているので、いつも、３～４０メートル(?)ぐらいのダラダラとした行列でした。もっとも、このことは、多人数時のいつものパターンで全く普通の状況です。
先頭の私がペースメーカーですが、私が多くの参加者に説明したいときは、後続が半分以上集まるまで待って、説明し始めます。その場面は今回は２回。「コツブタケ」と「ササクサ」でした。
アサギマダラは、蝶道（散策路）を飛ぶのを３回ほど出会ったが、いずれも、子供たちがタモで追いかけるので、ヒラヒラした優雅な飛翔を見せることなく、足早に飛び去ってしまった。それでも、出会えただけ運が良かったでした。
なお、今回の観察会開催は、あちこちの公的機関主催の自然観察会が９月々末までコロナのため中止だったためか、ウズウズしていた半田市内の指導員がたくさん出席することが出来たので、この意味でも大変よかったでした。　　（記：榊原正）

【観察した生き物】
コツブタケ、ササクサ、ホタルガ、アサギマダラ、ほか色々

【観察会の様子】

【左】恒例のシイの実拾い。ここのシイの実は知多半島で一番大きい…と、説明している
【右】アサギマダラを見るや否や子どもはタモを持って追っかける。当然、上空に逃げる

【左】追っかけた子の多くは、道ばたの最強最悪の〝くっつき虫〟のササクサの被害に遭う
【右】オオカマキリとハラビロカマキリ。アベリアの枝にいたのを素手でつかんで見せた

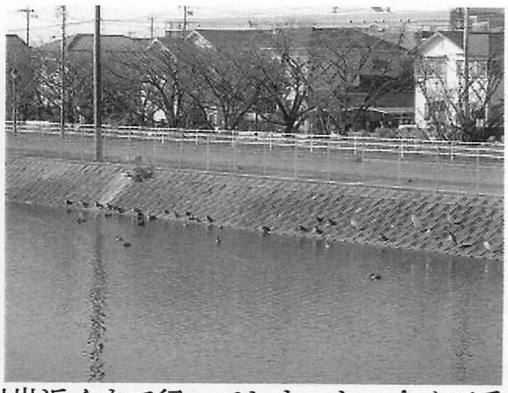
【観察会の様子-追加】

【行事名】　「康衛池のカモと阿久比川河口の生き物」

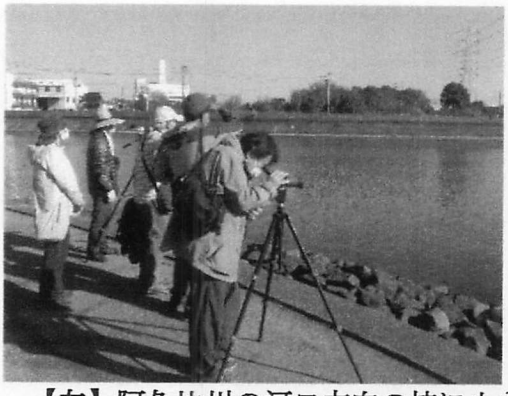
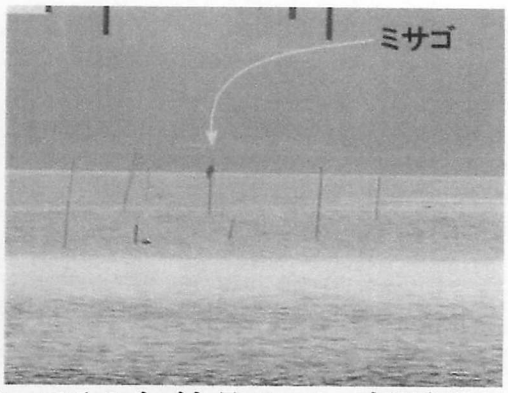
【日　時】　2021(令3)年12月11日（土）　9:30～11:20
【場　所】　集合：瑞穂記念館Ｐ
【天　気】　晴れ
【担　当】　鈴木、榊原正
【参加者】　大人　１名
（指導員10名：浅井一、門脇重、榊原正、榊原靖、鈴木、古川、森下栄、森下保、森田、山田和）
【内　容】
絶好な観察会日和であった。が、結論から先に言えば、少々、残念な観察会であった。
と言うのは、第一観察場所の康衛池は、ほぼ、例年通りで、まあまあ、であったが、第二観察場所の阿久比川が、何というか、鳥の種類数や頭数(?) が少なくて、この観察会に常連の参加者は内心ガッカリでした。もっとも、これが〝自然〟と言うことはよく分かっているので、当然ながら、誰も文句も言わず素晴らしい青空の下、テクテクと予定のコースを進みました。
良かったことは、今までは上空を飛ぶミサゴの観察が多かったけど、今回は、遠くであったが杭の上に止まっていたので、鳥観察用スコープでその精悍な姿を正面から見られたこと。悪かった(?)ことは、セイタカシギが普通なら20羽以上、対岸に整列していてもおかしくないのだが、それが1羽も見あたらなかったこと。今回、もし整列していたら、黒い頭と白い頭がそれぞれ何羽ずついるか数えようと始めに申し合わせていたがそれが出来なかった。
ちなみに、この観察会の翌日、今回の観察場所から上流5,6百メールにセイタカシギが50羽ぐらい整列していた。　（記：榊原正）

【観察できた鳥】
カイツブリ、ヒドリガモ、オオバン、ホシハジロ、キンクロハジロ、ハシビロガモ、オナガガモ、マガモ、コガモ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、カンムリカイツブリ、カワウ、ミサゴ、
＜見なかったもの＞…例年、見えていたのに…　カルガモ、セイタカシギ、

【観察会の様子】



【左】このフェンスの下にいた鳥は一目散に対岸近くまで行ってしまった。全く可愛げ無し
【右】対岸にヒトが通ったので、即、移動、中間の法面（のりめん）に待避している鳥たち
（ダイサギ、コサギ、アオサギ、鴨類）

【左】阿久比川の河口方向の杭に止まってるミサゴを見ている。右図参照
【右】同上のミサゴ。数百メートル先。スコープで勇姿がはっきり見えた

【観察会の様子-追加】

東浦ブロック観察会　2021(令3)年　1月～12月

No	年	月	日	曜	種	保険	担当	「テーマ」　●印…主催者	集合場所と時刻	担当指導員(問合せ先)
1	21	2	13	土	募	協	東浦	「冬の生き物に会おう」	東浦自然環境学習の森P 9:30	岩本(0569-58-0952)山田公
2	21	4	3	土	募	協	東浦	「里山の春を見つけよう」	東浦自然環境学習の森P 9:30	岩本(0569-58-0952)山田公
3	21	4	11	日	受託		東浦	「春の里山の恵みを探そう」●東浦町環境課	東浦自然環境学習の森P 9:30	竹内秀(0562-83-9023)桑原
4	21	5	15	土	受託		東浦	中止「ヒメボタルに会おう」●東浦町環境課	うのはな館P 21:30	田中央(0562-34-6040)岩本
5	21	6	12	土	受託		東浦	中止「明徳寺川の生き物に会おう」●東浦町環境課	うのはな館P 9:30	田中央(0562-34-6040)水野恭
6	21	7	17	土	受託		東浦	「初夏の里山で生き物を探そう」●東浦町環境課	東浦自然環境学習の森P 9:30	竹内秀(0562-83-9023)桑原
7	21	7	23	金	募	協	東浦	「森の中で虫探し＆灯火に集まる虫」	高根の森P 19:00	水野恭(080-3648-4467)水野利
8	21	8	7	土	受託		東浦	「須賀川の生き物に会おう」●東浦町環境課	藤江コミュニティセンターP 9:30	田中央(0562-34-6040)水野恭
9	21	9	25	土	募	協	東浦	中止「身近にあるきのこを見つけよう」	高根の森P 9:30	岩本(0569-58-0952)降幡
10	21	10	17	日	募	協	東浦	「里山の秋を見つけよう」	東浦自然環境学習の森P 9:30	水野恭(080-3648-4467)岩本
11	21	11	6	土	受託		東浦	「秋の宝物で工作をしよう」●東浦町環境課	於大公園このはな館 9:30	竹内秀(0562-83-9023)山田公

【行事名】　里山の春を見つけよう

【日　時】　令和3年４月3日（土）9：30～11：30
【場　所】　東浦自然環境学習の森
【天　気】　曇り
【担　当】　岩本、山田公
【参加者】　一般８名
（指導員：浅井一、岩本、門脇重、榊原正、竹内秀、田中央、藤井辰、古川、南川、）
【内　容】
雨の予感がする風が吹くものの、春も真っ盛り。コナラの新しい葉が少しずつ開きはじめ、春が来たよと伝えているようでした。ウグイスが気持ちよさそうにさえずって、谷渡りまでさえずるものの姿はなかなか見せてくれません。温暖化のせいか季節が早く巡りで、３月末には桜が満開。週末の雨で桜は散り小学校入学式は葉桜となってしまい、ピンク色のない入学式になります。
自然環境学習の森の駐車場から新池（ため池）を通りながらゆっくりと散策を行いました。
常緑樹の深緑、地面にはタンポポの黄色、ハルジオンのうつむいたつぼみ、カラスノエンドウの濃いピンクなどさまざまな自然の色を観察することができました。タンポポに混じってヒメブタクサやオニタビラコ、ホトケノザやヒメオドリコソウ、カラスノエンドウやスズメノエンドウが見られました。イタドリやワラビの食べ方、芹やタケノコの食べ方の話をしながら歩みを進めます。タケノコもたくさん採れました。
太陽が少し顔を出すとキチョウやモンシロチョウ、モンキチョウやテントウムシが見られました。コナラの幹に、オオワラジカイガラムシが複数いるのも発見し、春を満喫することができました。

【観察した生き物】
◎植物：シロツメグサ、カラスノエンドウ、レンゲソウ、オオイヌノフグリ、タチイヌノフグリ、マツバウンラン、タネツケバナ、ナズナ、キュウリグサ、オランダミミナグサ、ツメクサ、キツネノボタン、スミレ、ハハコグサ、オニタビラコ、オオジシバリ、オニノゲシ、ホトケノザ、ヒメオドリコソウ、ヒメグブタクサ、スズメノヤリ、スズメノカタビラ、スギナ（ツクシ少ない）、ヨモギ、セイヨウタンポポ、ムラサキケマン、ギシギシ、ハナニラ、アサツキ、スイバ、イタドリ、アシ、ワラビ、セリ、ゼンマイ、ミツバアケビ、クズ、コナラ、ヤツデ、モウソウチク（外来種）、ヤダケ、
◎昆虫：キチョウ、モンシロチョウ、ツマグロヒョウモン、ツチイナゴ、ナナホシテントウ、セイヨウミツバチ、アシナガバチ、ウスタビガ（繭-まゆ）、オオワラジカイガラムシ
◎爬虫・両生類など：アマガエル、ミシシッピアカミミガメ、イシガメ、タニシ、ミミズ、
◎鳥類：カワウ、ウグイス（声）、スズメ、カワラヒワ、コジュケイ、ヒヨドリ、ハシブトガラス、

【観察会の様子】

【左】始めの挨拶とお話

【右】ゼンマイを採ってた道にムラサキケマンの花

【行事名】　「冬の生き物たちに会おう」

【日　時】　22021年2月13日(土)　9:30～12:00
【場　所】　東浦自然環境学習の森
【天　気】　曇り
【担　当】　岩本、山田公
【参加者】　一般：２３ 名
（指導員：岩本、門脇重、榊原正、竹内秀、田中央、永田孝、藤井辰、古川、水野恭）
【内　容】
曇り空。風もなく　どんより暖かいが、タンポポもオオイヌノフグリも花を閉じて、冬の生き物たちの息づかいが見づらいスタートとなった。
それでも、今日はドライバーいるのかなあ、マイナスじゃなくてプラスもって来ちゃった。といった若いお母さんたちやお父さんも含め大人１１人子供１２人と、賑やかな会となった。途中、田んぼの脇の水たまりをのぞき込んで、マルタニシがいるねえ。カエルの卵はまだだねえ。といった会話も聞かれた。タモで探るとハゼの仲間やシオカラトンボのヤゴがつかまった。
林の中へ入ると、竹藪の竹と競争しながらも立ち枯れ、木が朽ち始めた木の下からはカブトムシの幼虫が何頭も見られた。丸々と太ってしっかりと朽ち木の腐葉土を食べましたといった感じだ。
朽ち木の中からはコクワガタの 幼虫がみられた。ただ、コクワガタは当たりが悪かったのか幼虫はほんの少し。ノコギリクワガタの幼虫もいたようだ。成虫はいなかった。その代わりに珍しいと言われるチビクワガタが何頭も見られた。スズメバチの女王さんや、虹色に光るヒゲナガニジイロゴミムシダマシという何やら名前の長い虫が見られた。
池にはオオバンやマガモ、カイツブリも見られ例年通りの姿にホッとした。帰りはコゲラが見送ってくれた。（記：竹内秀）

【観察した生き物】
◎植物…トウカイタンポポ、セイヨウタンポポ、スイバ、オオイヌノフグリ、ホトケノザ、
◎鳥…コゲラ、メジロ、コガモ、マガモ、オオバン、カイツブリ、
◎その他…コクワガタ（幼虫）、カブトムシの幼虫、スズメバチの女王、チビクワガタ、マルタニシ、シオカラトンボのヤゴ、クマバチ、オオミノガの幼虫

【観察会の様子】

【左】たくさんの人が集まり…

【右】真冬の里山を進むと

【左】田んぼ脇の水たまりをのぞく

【右】　どんどん進む

【行事名】　「春の里山の恵みを探そう」　●東浦町環境課主催

【日　時】　令和3年４月11日（日）9：30～12：00
【場　所】　東浦自然環境学習の森
【天　気】　晴れ
【担　当】　竹内秀、桑原
【参加者】　一般15名
（指導員：岩本、門脇重、榊原正、竹内秀、田中央、藤井辰、古川、水野恭、森田）
【内　容】
朝は気温が低く、太陽が笑い出すと暑いくらいの陽気になる青空の広がる日でした。春も真っ盛りでコナラの新緑が美しい状況でした。朝の気温のせいか、チョウなどの昆虫の姿はやや少なく感じました。新型コロナウイルス対策のため、町環境課主催の観察会は今年は申込制に。定員はすぐ埋まったようでした。
役場の環境課の方のあいさつの後、日程とタケノコのあく抜き用のぬかの話がありました。さあ出発というとき、指導員の一人が蝉の唐揚げを出して、ナッツの味がすると紹介がありました。夏の夜。羽化したばかりのクマゼミを採集して冷凍庫に入れておいたものだとのこと。唐揚げ粉をまぶして天ぷらにしたとのことでした。何人かが口にしました。たしかにナッツのような味がして案外食べられるものだと思いました。
自然環境学習の森の駐車場から新池（ため池）を通りながらゆっくりと散策を行い、ワラビの出るやぶへ。ノイバラのとげにきずつけられながらも、年齢の大きい指導員中心にやぶでしゃがみこんでワラビの目になります。水の中を探るとザリガニの赤ちゃんたちがいっぱい。1センチくらいのものから5センチくらいのものまで大きさはバラバラでした。メダカやタニシも見られました。
今年は、３月中旬から暖かい日が続いたので、桜はすでに3月末には散り始め4月には葉桜となり、八重桜が明徳寺川沿いに咲く頃となりました。来週に予定されていた於大祭りは中止となり、それでも川沿いのライトアップだけはされるという日程となっています。地球温暖化の影響が年々明らかになってくるようになりましたが、それでも、常緑樹の深緑、地面にはタンポポの黄色、ハルジオンの薄ピンク色、レンゲソウの濃いピンクなどさまざまな自然の色を観察することができました。
一週間前とくらべ緑の量が増え、スイバの赤い目立たない花がよく咲いていました。早々と藤の花が咲きはじめ、木の高いところで咲いたキリの薄紫色の花がおちていました。どこかでシュレーゲルアオガエルの優しい鳴き声が聞かれ心安らぐ気持ちになりました。取り残したたけのこが背丈よりも高くなっている隣で、タケノコ採りの作業を親子共同作業で汗を流します。それぞれにたくさんのお土産もでき、春を満喫することができました。

【観察した生き物】
◎植物：シロツメグサ、カラスノエンドウ、レンゲソウ、オオイヌノフグリ、タチイヌノフグリ、マツバウンラン、タネツケバナ、ナズナ、キュウリグサ、オランダミミナグサ、ツメクサ、ハナイバナ、スミレ、ハハコグサ、オニタビラコ、コオニタビラコ、ノミノフスマ、オオジシバリ、オニノゲシ、ホトケノザ、ヒメオドリコソウ、スズメノヤリ、スズメノカタビラ、スギナ、ヨモギ、セイヨウタンポポ、ムラサキケマン、ハルジオン、ギシギシ、ハナニラ、スイバ、イタドリ、アシ、ワラビ、セリ、ゼンマイ、クズ、コナラ（雄花）、カクレミノ、ヤツデ、ヤマハゼ、モウソウチク（外来種）、ヤダケ、ヒメブタナ、フジの花、キリの花、アケビの花、ヤマグワ、ノイバラ、アオキの花、
◎昆虫：ベニシジミ、ヤマトシジミ、キチョウ、モンキチョウ、モンシロチョウ、ルリタテハ、ナナホシテントウ、フタホシテントウ、ベニカミキリ、
◎爬虫・両生類：ミシシッピアカミミガメ、イシガメ、タニシ、カナヘビ、ザリガニ、イタチ、シュレーゲルアオガエル（声）
◎鳥類：ヒヨドリ、ハシブトガラス、メジロ、アカゲラ、シジュウカラ、カイツブリ、カルガモ、オオバン、ウグイス

【観察会の様子】

【左】はじめの挨拶とお話（ここで米ぬかを配付）　【右】観察コースの一場面

【行事名】　「初夏の里山で生き物を探そう」　　●東浦町環境課主催

【日　時】　令和3年７月17日（土）　9:30～12：00
【場　所】　集合：東浦自然環境学習の森Ｐ
【天　気】　晴れ
【担　当】　竹内秀、桑原
【参加者】　一般：37名
　　（指導員：浅井一、門脇、竹内秀、田中央、南川、森田）
【内　容】
コロナの影響で環境課に申し込みをしてとのことで少なめ。去年は中止となったので2年ぶりの観察会となった。夏の生き物を探しにたくさんの親子が集まった。梅雨明け宣言はまだ出ていない午前中(午後には宣言された)熱中症に気をつけながらの観察会。日差しはきついが日陰は風が吹いてほっとできるといった日となった。
駐車場からもトンボたちが飛び回る姿が見られた。また、池の脇のマダケに花が咲き枯れる寸前の姿を見せていた。（新聞やテレビでも報道された）
自然環境学習の森のこ道を進んでいくと、ウグイスの声、谷渡りの鳴き声まで聞かれた。数年前までは春の鳥の鳴き声であり、こんな初夏の季節に聞かれることはなかった。これも地球温暖化の影響か？山に行かずにここで鳴き続けなければならない何かが起こっていることだと感じた。
トンボたちの捕まえ方のレクチャーのあと、注意深くタモを振る子供たちの姿か見られた。虫かごの中はシオカラトンボの雌や雄、大物のオニヤンマが捕まったときは歓声が上がり、目の美しさと黄色と黒色の長い尻尾にさすがトンボの王様だねといった声も聞かれた。
途中、ヤギさん(除草のための2頭)やマムシにも出会った。
木道を進んでいくと子供たちのお目当てのカブト、クワガタムシが集まる木が何本かあり、運が良ければこの時期に観察ができる。参加者は注意深く周囲を探し、ノコギリクワガタやカブトムシを見つけることができた。
この学習の森では、水辺の環境保全や竹を切って竹灯籠を作るなどのボランティアが活動されており、今日は活動日だった。「観察会があるのなら伝えておいてくれればもっと集めておいたのに」と言いながら、何匹かのクワガタ、カブトムシを分けていただいたおかげで、観察会を終えて分かち合いをした後に、子供たちでジャンケン大会ができた。ほしいと手を上げた家族にはそれぞれにお土産ができた。

【観察した生き物】
昆虫：モンキアゲハ、アゲハ、アオスジアゲハ、ヒラタクワガタ、ノコギリクワガタ、カナブン、タマムシ、
　コシアキトンボ、オニヤンマ、シオカラトンボ、オオシロカラトンボ、タイワンウチワヤンマ、チョウトンボ、アジアイトトンボ、
　モンシロチョウ、ヤマトシジミ、カラスアゲハ、ナガサキアゲハ、コミスジ、クロコノマ、ツマグロヒョウモン、
　ニイニイゼミ、アブラゼミ、狩りバチの仲間、コガネグモ、カバキコマチグモ、コガタスズメバチ、
　キリギリス(声)、ショウリョウバッタ、カマキリ、
両生類：アマガエル、ヌマガエル、ウシガエル（声）、
鳥類：ウグイス、ツバメ、ヒヨドリ、カイツブリ
植物：ガマ、ミゾソバ、ヨウシュヤマゴボウ（外来種）、クズ(花)、
その他：カナヘビ、マムシ、

【観察会の様子】

【左】観察中の危険について　お話

【右】ヤギ牧場　餌やり

【行事名】　「須賀川の生き物に会おう」　●東浦町環境課主催

【日　時】　令和３年８月７日（土）　9：30～11：40
【場　所】　集合：藤江ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰP
【天　気】　晴れ
【担　当】　田中央、水野恭
【参加者】　一般：32名
（指導員：浅井一、岩本、小田、門脇重、榊原正、竹内秀、田中央、水野恭）
【内　容】
夏の暑さ真っ盛りのとても暑い日でしたが、たくさんの参加者があつまり須賀川で生き物観察会を実施しました。 江コミュニティセンター駐車場に集合し、指導員から川に入る際の服装や履物についての注意及びタモの使い方や生き物の捕まえ方のコツ等の説明を受けました。
その後須賀川へ移動し、親子で参加した小さな子どもから大人まで、川の中に入り、指導員から教わったとおり、足を使い、タモに生き物を追い込み採取していました。
みなさん、暑さも時間が経つのも気にならないくらい夢中になって色々な生き物を採取していました。
採取した生き物は指導員が用意した水槽に入れ、名前や特徴について、解説をしました。また、アメリカザリガニやカダヤシ、ミシシッピアカミミガメなど、外国の生き物が国内に持ち込まれた経緯についても説明を受けました。
特に小学生の年代のみなさんが大変興味を持って講師の説明に聞き入っている様子が印象的でした。生き物や環境について学習できる良い機会になりましたね。解説後は、特定外来生物についてが駆除し、その他在来種は、参加者のこどもたちと協力して川に放流しました。
来年も観察できる生き物が増えるといいなと思いました。　（記：水野恭）

【観察できた生き物】
＜魚類＞ギンブナ・モツゴ・タモロコ・カマツカ・マハゼ・タイリクバラタナゴ（外来種）・カダヤシ（特定外来生物）
＜甲殻類＞シナヌマエビ（外来種）・チュウゴクスジエビ（外来種）・テナガエビ・モクズガニ・アメリカザリガニ（外来種）
＜は虫類＞ミシシッピアカミミガメ（外来種）
＜こん虫＞クロアゲハ・ナガサキアゲハ・ハグロトンボ・シオカラトンボ・アブラゼミ・クマゼミ・ツクツクボウシ・ヒメガムシ
＜その他＞ナガエツルノゲイトウ（特定外来生物）、アレチウリ（特定外来生物）

【活動の様子】

【左】始めの挨拶とお話　【右】雨後のためか、小さい子には、ちょっと、深かった観察地

【左】きれいなミニ水族館で生き物の説明　【右】説明後の触れ合いタイム

【活動の様子-追加】

【行事名】　「里山の秋を見つけよう」　　主催 知多自然観察会/東浦

【日　時】　2021年10月17日(日)　9:30～11:30
【場　所】　集合:東浦自然環境学習の森Ｐ
【天　気】　晴れ
【担　当】　水野恭、岩本
【参加者】　一般21名（大人14名、子供7名）
　　指導員：岩本、浅井一、桑原、門脇、榊原靖、竹内秀、田中央、牧野、南川、藤井辰、水野恭、森田、（12名）
【内　容】
　今年はいつまでたっても暑く、朝夕は少し気温が下がってきたとはいうものの、衣 替えができない。やっと明日から気温が下がるという予報。風もなく太陽も雲の間か ら顔をのぞかせて暑さを感じるほどだった。山羊の除草作業員がのんびり草を食むの を見ながら秋の野原を楽しんだ。「命をつなぐプロジェクト」の学生さんたちも参加 し、県の事業「県民参加型生物多様性モニタリング調査」も行われていた。
　子供たちはイナゴやコオロギ、チョウ、テントウムシなどを手で捕まえたり、たもで 捕まえたりして楽しんだ。アケビやヤマノイモのむかごは子供たちよりも、大人たち の方に人気があったようだった。
　田んぼには稲穂がたれて実りを感じさせ、湿地帯にはセイタカアワダチソウの花やア シの実の群落が見られた。栗のイガやコナラの枯れ枝に大きなキノコが見られ、「実 り」の秋を楽しむことができた。
　人懐こい、餌くれモードの２ひきのヤギにクズの葉をあげるのも楽しかった。” ひっつきむしをたくさん「身につけている」参加者がいて、今日見られたひっつき虫 は、アレチヌスビトハギ,チヂミザサ、アメリカセンダングサ、イノコヅチかなとい うことと、オナモミを見なくなったということが話題になった。　　（記・竹内秀）

【観察できた植物や生き物】
◎樹木つるの実：ゴヨウアケビ（ちょうど食べごろ）、ヤマノイモのむかご、アキグミ（わずかに色付く）、シャシャンボ（色付く）、アオツヅラフジ　、ノブドウ、カラスウリ、コナラ、（ドングリ）、クリ　、センダン、ツルウメモドキ、コムラサキシキブ、クズ（さや）
◎草の実：イヌタデ、アメリカセンダングサ、アレチヌスビトハギ、イノコズチ
◎草の花：ツリガネニンジン、ミゾソバ、、セイタカアワダチソウ、アキノノゲシ、キクイモ、ススキ、
◎昆虫・蜘蛛類：イナゴ、ツチイナゴ、エンマコオロギ、オンブバッタ、オオカマキリ、ハラビロカマキリ、ヤマトシジミ、モンシロチョウ、キチョウ、ナナホシテントウ、ススメバチ、セイヨウミツバチ、ジョロウグモ、
◎鳥類：ハクセキレイ、メジロ、
◎その他：両生類・爬虫類：ヌマガエル、カナヘビ

【観察会の様子】

【左】ミゾソバの花盛り

【右】ヨシとセイタカアワダチソウ

【左】さわるとふわふわしたキノコ

【右】秋の実りと花を楽しみながら

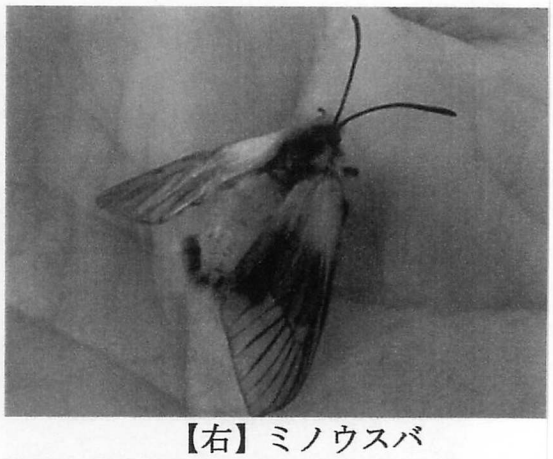
【行事名】　「秋の宝物で工作をしよう」　　●東浦町環境課主催

【日　時】　2021年11月６日（土）９時30分～11時30分
【場　所】　於大公園　このはな館周辺
【天　気】　晴れのち曇り
【担　当】　竹内秀、山田公
【参加者】　一般：２グループ（５名）
　　指導員：岩本、門脇、鈴木、桑原、田中央、藤井（６名）
【内　容】
　暖かい日差しの中、於大公園の中を１時間ほど散策して秋の宝物を探しました。紅葉も少し始まり秋を感じることができました。落葉したサクラやカツラ、トチノキは黄色に色づいたり、落葉が始まっています。カツラの落ち葉はとても良い香りがしました。羽がついたモミジの種はクルクル回って落ちてきました。クワの木に立派なサルノコシカケがついていました。
　赤い実を付けたマユミの木にきれいな色のミノウスバがいました。
　真っ黒いムクロジの実、ハクウンボクの実、コナラやクヌギのドングリを拾いました。いろいろと観察しながら、工作用の材料の宝物を集めることができました。
　このはな館の外で、拾った落ち葉や木の実、指導員が持ってきた木の実やなどの材料を使って工作をしました。グルーガンを使ってそれぞれ工作を楽しみました。
（記・岩本）

【観察できた植物や生き物】
（植物）コナラのどんぐり、クヌギのどんぐり、ムクロジの実、ハクウンボクの種、モミジの種、ツバキの実、ホオノキの実、カツラの葉、ホオノキの大きな葉、大きなサルノコシカケ
（昆虫）ミノウスバ

【観察会の様子】

【左】椿の実が落ちてるよ


【右】ミノウスバ

【左】大きなサルノコシカケ

【右】ホオノキの果実

美浜・南知多ブロック観察会　2021(令3)年　1月～12月

No	年	月	日	曜	種	保険	担当	「テーマ」　●印…主催者	集合場所と時刻	担当指導員(問合せ先)
1	21	1	23	土	受募		美南	中止「地層岩石調べ化石採集」●南知多町環境課	南知多町JAあいち知多 みさき支店P 9:30	田中達(090-1626-3231)河原
2	21	2	28	日	受募	協	美南	中止「冬鳥と旅鳥カワウの子育て」●美浜町環境課	美浜町総合体育館正面玄関 9:30	神野(080-5169-3964)榊原靖
3	21	5	8	土	受募		美南	中止「山海川生き物観察」●南知多町環境課	山海ふれあい会館(旧山海小)P 9:30	田中達(090-1626-3231)中村
4	21	5	22	土	受募	協	美南	中止「山で発見ヒメボタル」●美浜町環境課	美浜町時志観音P 21:30	永田寛(0569-82-3151)岩橋
5	21	6	12	土	受募		美南	中止「ウミウシを見つけよう」●南知多町環境課	南知多町県水産試験場P 9:30	田中達(090-1626-3231)中村
6	21	6	23	水	募	協	美南	「クサフグの集団産卵を見よう」	南知多町聖崎公園P 14:30	大矢晃(052-841-6048)大矢美
7	21	6	26	土	受募	協	美南	「干潟の生き物と漂着物」●美浜町環境課	美浜町奥田農協のすぐ北のJA美浜西支店P 9:30	永田孝(0569-82-3151)中村
8	21	7	24	土	受募	協	美南	「海辺の生き物」●美浜町環境課	美浜町冨具崎港P 9:30	永田孝(0569-82-3151)永田寛
9	21	8	7	土	募	協	美南	「ウミホタルの発光を見よう」	南知多町聖崎公園P 18:30	大矢晃(052-841-6048)大矢美
10	21	9	4	土	受募	協	美南	中止「布土川の生き物観察」●美浜町環境課	美浜町布土公民館P 9:30	斉藤(090-4213-2898)田中達

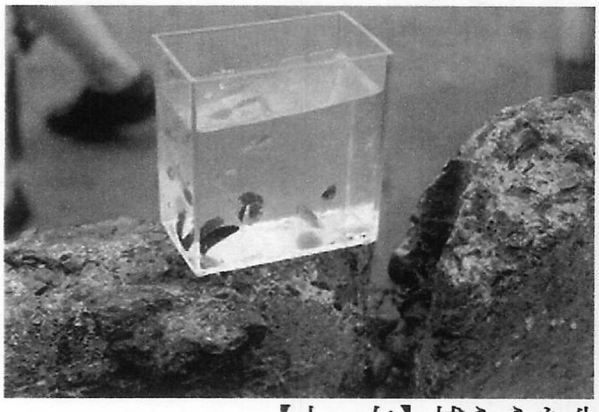
【行事名】　「干潟の生き物と漂着物」　　● 美浜町環境課主催

【日　時】　令和３年6月２６日（土）　９時３０分から１１時３０分頃まで
【場　所】　集合：美浜町ＪＡあいち知多美浜西支店Ｐ
【天　気】　曇り
【担　当】　永田孝、中村
【参加者】　一般：　２２名
（指導員：浅井一、岩橋、門脇重、田中央、永田孝、中村、森田）
【内　容】
美浜町ＪＡあいち知多奥田支店の駐車場に集合し、担当の永田から観察会での注意事項、危険生物等の説明があり、山王川沿いに徒歩で移動しました。奥田海岸では、午前１１時までの約１時間で海岸での生き物の観察、採取等を行いました。参加者はカニやエビ、ハゼ、ヤドカリなどを見つけては楽しそうにしていました。指導員の捕まえた熱帯魚のチョウチョウウオの仲間やヨウジウオなどを見て驚いていました。午前１１時には採集を終えて、捕まえた魚やカニ、貝などをみんなで観察しあい、指導員から生き物の説明を聞いて観察会は終了しました。

【観察した生き物】　メジナ、マハゼ、アゴハゼ、ギンポ、ヨウジウオ、チョウチョウウオの仲間、クジメ、フグの仲間、ミズクラゲ、イソガニ、ヒライソガニ、ガザミ、ヤドカリ、ハマグリ、マテガイ、アナアオサ、ヒジキ、ヨコエビ、コアマモ、ナミイソカイメン、イボニシ、ゴカイの卵、ハスノハカシパン、スナモグリ

【観察会の様子】

【上・左】生きもの採集。干潮は13:00頃なので、潮はもっと干っていく



【上・左】捕らえた生きものを指導員が説明

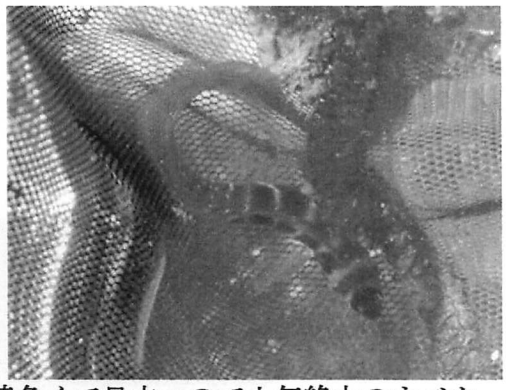
【観察会の様子−追加】

【行事名】　海辺の生き物　　● 美浜町環境保全課

【日　時】　2021年07月24日（土）　09：30～11.30
【場　所】　美浜町冨具崎港南側の磯場
【天　気】　晴れ
【担　当】　永田　孝
【参加者】　一般：40名　　美浜町環境課職員：　2名
　　指導員：永田　孝、岩橋、森田、榊原靖、田中央
【内　容】
　穏やかな風が時折吹き、観察日和でした。冨具崎港駐車場に集合。美浜町職員挨拶後、観察会の注意と説明。
　ホテル小野浦側より磯場に移動し、各家族ごとに生き物観察と採集を行う。
　途中、水分補給の声かけや採取のお手伝いをして１１時にそれぞれ採取した生き物を持ち寄り集合。
　リピーターも多く、また初めての親子参加も夢中で観察していらっしゃいました。
　ビーチサンダルでの参加もあり注意が必要かも。アオサを得意げにアオサと答える子供が増えました。
　怪我や体調不良も無く終了できました。

【観察した生き物】
◎魚の仲間
　ナベカ、アゴハゼ、シマスズメダイ、ダイナンギンポ
◎ウニ・ヒトデ・ナマコの仲間
　ムラサキウニ、サンショウウニ、ハスノハカシパン（殻）
◎エビ・カニの仲間
　ヒライソガニ、イシガニ、イワガニ、タカノケフサイソガニ、カメノテ、クロフジツボ、イワフジツボ、イソスジエビ
◎貝やイカ・タコの仲間
　マガキ、ナミマガシワ、スガイ、イボニシ、イボニシ（卵）、タマキビ、マツバガイ、ヨメガカサガイ、キクノハナガイ、ウノアシ、カラマツガイ、ヒザラガイ、ヒメケハダヒザラガイ、ツメタガイ、ウチムラサキ、クチベニガイ
◎クラゲやイソギンチャクの仲間…ヨロイイソギンチャク、ミドリイソギンチャク、タテジマイソギンチャク
◎カイメンの仲間…ダイダイイソカイメン、クロイソカイメン、ナミイソカイメン
◎海藻の仲間…アナアオサ、オゴノリ、イシゲ

【観察会の様子】

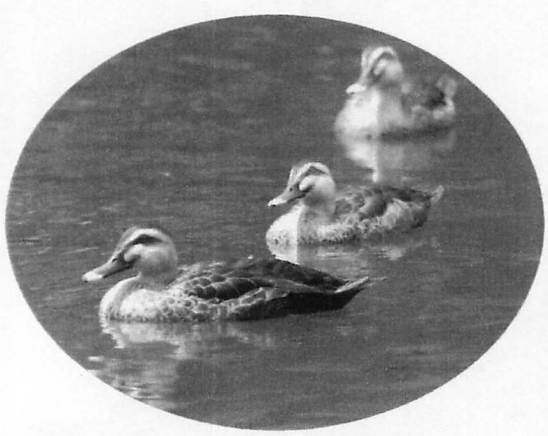

【左】カニさん獲ったよ～　【右】黄色くて目立つので人気絶大のナベカ

【左】潮だまりには何がいるかな？　【右】最後の解説はソーシャルディスタンスをとって

臨時の観察会

下記表には、学校、役場、子ども会などの団体から自然観察会等の依頼を受け実施したものの中からホームページにアップされたものだけを掲載しています。

No	テーマ	主催者	実施日
1	加木屋緑地「ふるさとの自然に親しもう」④/全4回	東海市 花と緑の推進課	(2021.3.13)
2	加木屋緑地「ふるさとの自然に親しもう」①/全4回	東海市 花と緑の推進課	(2021.6.12)
3	加木屋緑地「ふるさとの自然に親しもう」②/全4回	東海市 花と緑の推進課	(2021.7.31)
4	東海市上野新川「上野新川で生き物を調べよう」	東海市エコスクール事業	(2021.8.22)
5	加木屋緑地「アサギマダラを観察しよう」ふるさと再生プロジェクト ③/全4回	東海市 花と緑の推進課	(2021.10.16)
6	於大公園「令和3年度知多地域みどりの少年団交歓会」	知多農林水産事務所林務課	(2021.11.23)



【行事名】　ふるさとの自然に親しもう　④/全4回　主催 東海市 花と緑の推進課

【日　時】　2021年03月13日(土)　09:30～11:30
【場　所】　集合:加木屋緑地公園P
【天　気】　雨（雷雨）
【担　当】　浅井一、吉川洋
【参加者】　一般18名（大人6名、子供12名）
（指導員7名：浅井一、田中央、藤井、古川、森田、吉川洋、吉房）
【内　容】
第4回イベントは「カブト虫の幼虫を育て観察しよう」です。早朝からの雷雨にもめげず、市民6家族18名程が参加し、カブト虫幼虫の生態観察、樹木の観察、菜の花の観察、桜の植樹(ジンダイアケボノ)、タイムカプセルの設置などの行事を実施しました。毎回雨風に悩まされるイベントで今回も雨の中、当初申込みの半分以下の参加でしたが春が来たことを思わせる盛り上がりになりました。次回こそは晴れ日になると思います。
（記・浅井一）
【観察した生き物】
◎話題になった植物
アベマキ、コナラ、ナワシログミ、クスノキ、エノキ、ジンチョウゲ、ジンダイアケボノ(植樹桜)、メリケントキンソウ
◎話題になった昆虫
カブシムシ(幼虫)、コガネムシ(幼虫)、コクワガタ(遺骸)
◎その他
メジロ(群れ)、ウグイス(鳴き声)

【観察会の様子】

【左】最後に皆で記念撮影

【右】タイムカプセル設置

【左】カブトムシ等が集まるアベマキのお話

【右】カブトムシの幼

【行事名】　加木屋緑地 ふるさとの自然に親しもう　①/全4回　主催　東海市花と緑の推進課
　　受託運営　知多メディアスネットワーク
　　協力　知多自然観察会・知多半島生態系ネットワーク協議会・いのちをつなぐプロジェクト・学生GAIAプロジェクト・日本エコロジスト支援協会
【日　時】　2021年06月21日(土)　15::00～20:00
【場　所】　集合:加木屋緑地公園P
【天　気】　晴れ
【担　当】　吉川洋、浅井一
【参加者】　一般約50名（大人20名、子供30名）
　　(指導員3名：浅井一、森田、吉川洋)
【内　容】　当初予定日(5/15(土))は県内に緊急事態宣言が発令されたため延期された。緊急事態宣言中のイベント開催について主催者の対応方針が整いコロナ感染症対策を万全にして本日開催となった。全国的にワクチン接種が始まって約1ヶ月経ったが高齢者等の第1回接種率が30%程度でマスク姿の緊張感は会場に今も続いている。「密」を避けるため受付時に参加者は(水Gr)ホタルイベント、(太陽Gr)植栽イベント、(鳥Gr)ビンゴイベントの3班に分けられ、各イベントを30分ずつ交代して巡回する方法がとられた。
　知多自然観察会はヘイケボタル観察イベントコーナーを担当し資料を4台のテーブルに分散配置して密集を軽減した。ヘイケボタル数匹の成虫をミズゴケと共にシャーレに入れて、虫めがねで観察できる様にした。幼虫の餌のカワニナやタニシ等は池や小川から当日採取し同様に展示した。なお、、幼虫は2週間程前に地域の小学校児童によって小川に放流済み。苗植えもあり、5時30分という明るい時間から始まり日没後1時間、ホタルの姿形、光る生態も観察でき、参加者には好評であった。会場には主催者が用意した大型説明パネルもあり、家族連れがしっかり目を通していた。
　最近は誰でもがカメラ付きスマホを持っており、虫めがね代わりにモニター画面に映した拡大映像を見せたら好評でした。途中から皆がスマホを虫めがね代わりに使い始めました。全体の解説は吉川講師が担当し、主催者提供のフリーハンドマイクを利用できたので参加者との距離感を保つのに効果的であった。
　行事計画に際しては協力組織が多い割に打ち合わせ機会が少なく、シナリオや役割り、陣容体制、タスクが定まる直前まで準備に手間取った。私見であるが関係者のリモート会議ができれば当初の混乱は回避出来ると感じた。今後は必須の手段になると思う。次回第2回は臨時追加で7月31日(土)「自然の生きもの観察会」が同会場で予定されている。
（記・森田）

[補足]
ホタルは成虫で放流する予定の個体で市が育てているもの。今年は病気が出て生育数がとても少なくて(昨年までは毎年合計10,000匹ほど。今年は幼虫で2,000匹？ほどのような話でした。ここに放した数も数百だそうです。羽化までに約3週間かかるのでほとんどはまだ蛹だと思われます。
当日準備中に市が放流したもの以外に先週数匹は観察されていたので、当日観察された数の1割ほどがここで自然に育ってきた個体だと思われます。
中止になった５月のイベント絡みでヒメボタルの話もしておきたかったので、加木屋町にも多いナミコギセル、オオケマイマイが用意でき、見せることにしました。より小型のオカチョウジガイは、最近天気が良すぎたせいか見つけられず、オカモノアラガイも今回は見つけられなかったので諦めました。
（追記・吉川洋）

【観察した生き物】
◎植物
フジバカマ
◎動物
ヘイケボタル、ヒメタニシ、オオタニシ、カワニナ、オオケマイマ、キセルガイの仲間、シオカラトンボ、アメリカザリガニ
◎その他
アマガエル(鳴き声)

【観察会の様子】

【左】ヘイケボタル解説大パネル

【右】ヘイケボタル解説コーナー

【行事名】　ふるさと再生プロジェクト 生きものたちをみつけよう　②/全4回　主催　東海市花と緑の推進課
受託運営　知多メディアスネットワーク
協力　知多自然観察会・知多半島生態系ネットワーク協議会・命をつなぐプロジェクト・学生GAIAプロジェクト・日本エコロジスト支援協会
【日　時】　2021年07月31日(土)　16::00～18:00
【場　所】　集合:加木屋緑地公園P
【天　気】　曇り後雷小雨
【担　当】　吉川洋、浅井一
【参加者】　一般約50名（大人20名、子供30名）
（指導員6名：浅井一、門脇綾、門脇重、田中央、森田、吉川洋）
【内　容】
加木屋緑地成長の森ゾーン(里山ビオトープ)でイベントを実施した。
東京オリンピック2020大会半ばでしたが、全国的に新型コロナウイルス感染者数が急増中でした。天気予報では雷注意報も有り全体的に進行を早めて行事が進行、途中から遠雷が鳴り出した。
イベントは前回同様、「密」を避けるため受付時に参加家族は(水チーム)、(太陽チーム)、(鳥チーム)の3班に分けられ、森の生きもの、水辺の生きもの、ふじばかま植栽イベントを30分ずつ交代して巡回する方法がとられた。
知多自然観察会は水辺の生きものコーナーを担当し、ビオトープの成り立ちの説明、中池とその周辺の水生昆虫、タニシ、外来種のカダヤシ、ザリガニ捕りと観察をサポートした。子どもたちが持参したたも網や捕虫網の多くは小さ過ぎ実用には向かないため、主催者が用意した大きなたも網を利用した。子どもたちはたも網の扱いに不慣れで、泥沼と奮闘していた。イベントは予定30分前、遠雷と小雨が降り出した時点で切り上げられた。参加家族の声は概ね「楽しく学べた」様でした。
（記・森田）

【観察した生き物】
◎水辺の植物
ヒメガマ、ヨシ、カキツバタ、ミゾハギ、アサザ、イグサ、コウホネ、ミゾソバ、アオミドロ
◎水生動物
シオカラトンボ、同左ヤゴ、ギンヤンマ、ウスバキトンボ、ガムシ、マツモムシ、オオタニシ、ヌマエビ、テナガエビ、カダヤシ、アメリカザリガニ
◎その他
アブラゼミ、同左抜け殻、キマダラカメムシ、ショウリョウバッタ、同左脱皮殻、ツマグロヒョウモン、アマガエル
ハギ、キキョウ、ナデシコ、オミナエシ、フジバカマ

【観察会の様子】

【左】受付

【右】水チーム

【左】鳥チーム

【右】太陽チーム

【行事名】　「上野新川で生き物を調べよう」　●東海市エコスクール主催

【日　時】　2018年8月22日（日）　9：30～11：20
【場　所】　上野新川
【天　気】　晴れ
【担　当】　南川
【参加者】　一般　18名　（大人9人　子供9人）　東海市の職員２名
　　指導員：浅井（一）・門脇（重）・田中（央）・南川
【内　容】
　今年はコロナの感染防止の為、家族グループに分かれて密を避けての観察会の実施である。
　暑さも少し和らぎ、観察日和となった。市の職員の方の挨拶と東海市を流れる川の現状と自然環境についての説明と、観察会から田中氏より川の生き物の観察方法、捕え方、注意事項等の説明が有り、家族グループに分けて川に入り観察が始まりました。
　子供たちはタモを片手にお父さん、お母さんと一緒になりタモに入った生き物を嬉しそうにバケツに入れたりし、川のあちらこちらで川の生物を捕まえて楽しんでいました。
　今年も捕らまえられた川の生き物を、家族グループでミニ水族館を広くかこみ、分かち合いを行いました。今年も参加された皆さんが熱心にこの川の生き物を観察されて、有意義なものになりました。（記：南川）

【観察した生き物】
＜さかな＞ウナギ（３匹20ｃｍ～25ｃｍ）、フナ、ウキゴリ、スミウキゴリ、ドジョウ、カダヤシ、ブラックバス、
＜その他＞モクズガニ、スジエビ、ナゴヤダルマガエル、ヌマガエル、イシガメ、ミシシッピアカミミガメ、アメリカザリガニ、ギンヤンマのヤゴ、シオカラトンボのヤゴ、アメンボウ

【観察会の様子】

【左】観察会についての注意事項と挨拶

【右】獲物を求めて川での観察風景

【左】ミニ水槽で泳ぐ捕れた魚たち

【右】捕れた川の生物を説明しています

【行事名】　ふるさと再生プロジェクト アサギマダラを観察しよう）　③/全4回　主催　東海市花と緑の推進課
受託運営　知多メディアスネットワーク
協力　知多自然観察会・知多半島生態系ネットワーク協議会・命をつなぐプロジェクト・学生GAIAプロジェクト・名古屋ECO動物海洋専門学校・日本エコロジスト支援協会
【日　時】　2021年10月16日(土)　08:30～12:00
【場　所】　集合:加木屋緑地公園P
【天　気】　晴れ
【担　当】　浅井一
【参加者】　一般18名（大人8名、子供10名）
（指導員3名：浅井一、榊原正、森田）、主催者スタッフ(約10名)、学生スタッフ(約30名)
【内　容】
成長の森ゾーンで第3回目イベントを実施。一般参加者数を三蜜規制したためか、協力団体スタッフ(主に県GAIAプロジェクト応募学生)が多数になりました。企画内容は命をつなぐプロジェクト・学生GAIAプロジェクト・名古屋ECO動物海洋専門学校の学生達が殆どを準備されたので、知多自然観察会は協力7団体の一員として、彼らの補助的立場で参加させて頂きました。全体のコンセプトは「アサギマダラを観察しよう」を主題にしつつ、緑化植栽(葉牡丹、春の七草、大高菜)や家族向けネィチャービンゴゲーム等を併用した、SDGsへの関心を深める活動でした。応募参加された一般家族の満足度は子どもたちの「楽しかった」との返事で達成されたと感じました。
（記・森田）

【観察した生き物】
◎植物
フジバカマ、オミナエシ、ハギ、アレチヌスビトハギ、セイタカアワダチソウ、緑化植栽(ナズナ、ゴギョウ、ハコベラ、ホトケノザ、オオダカタカナ、ナノハナ)
◎昆虫
アサギマダラ、ナガサキアゲハ、ツマグロヒョウモン、テングチョウ、ウスバキトンボ、コバネイナゴ、ツチイナゴ、エンマコオロギ、
マツモムシ
◎その他の動物
ジョロウグモ、カダヤシ、アマガエル、オタマジャクシ(ウシガエル)、アメリカザリガニ、スジエビ、カワニナ、カナヘビ

【観察会の様子】

【左】開会式

【右】アサギマダラのお話とクイズ

【左】アサギマダラ塗り絵

【右】飛来したアサギマダラ数頭

【行事名】　2021年度(令和３年度)　知多地域みどりの少年団交歓会
●知多農林水産事務所林務課

【日　時】　2021年10月23日(土)　9:00～12:00
【場　所】　東浦町於大公園
【天　気】　晴れ
【担　当】　南川、水野恭（知多自然観察会の担当）
【参加者】　みどりの少年団員及び引率教師、各市町担当者、
県農地林務課担当

（指導員19名：浅井一、岩本、門脇重、榊原正、榊原靖、
鈴木、竹内秀、田中央、畠、平松裕、降幡、水野恭、
村瀬、森下保、森田、山田和、吉川勉、吉川洋、吉房）

【内　容】
＜当初の日程＞

9：00～ 9：10	受付（このはな館前）
9：15～ 9：35	開会式（このはな館前芝生広場）
9：35～11：00	自然観察
11：00～11：30	記念植樹　＆　記念写真
11：30～	閉会式

雨天決行であったが絶好の晴天で上記の日程通り快適に実施できた。
参加市町及び団員数を配慮された７班が整列し、開会式。
式後、班ごとに園内の各方面の散策路に散って、動植物を観察。
参加者への配付物の一つに〝レンズ付き観察ケース〟があったが、それに色々なモノを入れての観察もした。
11:00 までに各班が、順次、開会式をした芝生広場に到着。
記念植樹は「みどりの少年団交歓会」の長い歴史の中で（知多自然観察会が関わることになって以来）初めてのことであったが、みどりの少年団の本来の活動の一つであることから行事に組み込むことは歓迎である。
その記念植樹も少年団の代表だけでなく、一応にも、団員全員に体験させたことは大いに有意義と感じた…と同時に、雨天だったら、とても、そんな余裕はなかったであろうと思うと、本当に、野外活動は天候に左右されるモノだと尽々思う次第でした。
また、今回はコロナ感染予防のため、指導員は受付に健康チェック票を提出し、引き換えに〝フェースガード〟をいただき、マスク＋フェースガードで観察会に臨みました。
なお、終了後にも、主催者から参加した指導員へ有用なお土産を沢山いただきました。感謝します。

（記：榊原正躬）

【活動の様子】

【左】開会式

【右】幹周の測り方（観察会の一部）

【左】拾った木の実など（観察会の一部）

【右】記念植樹。桜の木を２本

【左】記念撮影。少年団-前、指導員-最後列

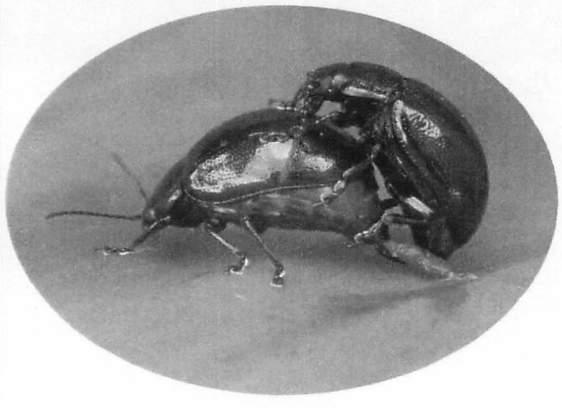
【右】閉会式

これまでの観察会へ　　トップページへ

発 表 の 場

知多自然観察会が実施する行事ではなく、会員個人の体験や活動したことを掲載しています。

No	テ ー マ (ページ)	提 供 者	アップ日
1	蝉(セミ）の天ぷらを食す (81)	榊原正躬	(2021. 4.11)
2	ニホンミツバチの解放巣 (82)	榊原正躬	(2021. 8.10)
3	ムカデの卵 (83)	平松裕規	(2021.10.12)
4	チャダイゴケ （キノコの仲間） (84)	古川明正	(2021.12. 7)
5	仙人の髭（ひげ）-センニンソウの果実- (85)	榊原正躬	(2021.12. 9)
6	モグラの捕獲（…を狙って） (86)	榊原正躬	(2021.12.14)
7			
8			



蝉(セミ) の天ぷらを食す

食した日(観察会当日) : 2021.4.11(日)　　このページのアップ日 : 2021.5.2 (榊原正躬)

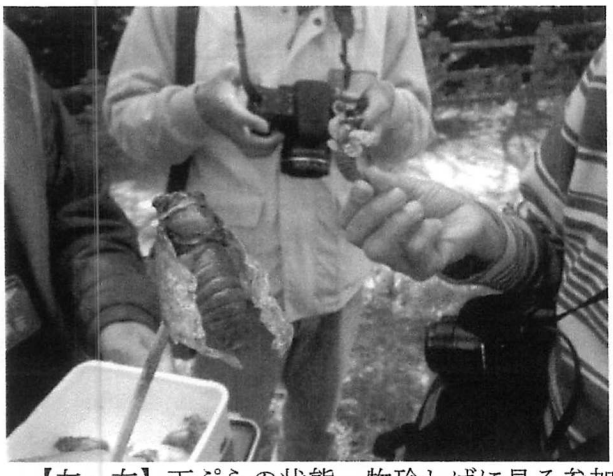
皆さん　こんにちは　(^o^)
今でもコロナの話題が一番だなんて、昨年の今頃、想像していた人はいたんでしょうか。
それはさておき、
過日、セミの天ぷらを食べました。
※ 恐らく"素揚げ"と思われるがここでは"天ぷら"と称す
生まれて初めての体験でしたので、いつものごとく、皆さんに紹介します。

－－－－－－－－－－－

会員の古川氏が 2021.4.11 に実施された東浦の観察会に１０ヶ (匹) ぐらい持って来た。
その場で、まず、古川氏が食べて見せて、参加者に勧めたので、私は、即、カブリついたが、ほかの人は見るだけで手を伸ばす人はいない。(ほかにも誰かが食したかも知れないが私は見てないし、聞いてもいない)
子どもの一人が持って行ったが、怖くなってか食べられないと返しに来た。(それも私が遠慮無くいただいた。ご馳走さんでした)
当然ながら、本日は例年通りの自然観察会であり"セミの試食"がメインでないので、この程度の話題で終わって、普段の観察会になった。
(※写真説明の後に、補足説明があります。　　写真撮影日 : 観察会当日)

－－－－－－－－－－－

【左】セミの天ぷらを10ヶほど持参。参加者は誰もが初めて見たのでは…。私は初めてであった
【右】子どもの一人が勇気出して、食べてみるっと言って一つ持って行った。



【左・右】天ぷらの状態。物珍しげに見る参加者は多いが、持って行く人は、ほとんど、いなかった

－－－－－－－－－－－

＜補足説明＞
・このセミは、夜に羽化したばかりのセミとのこと。夜、探し回る
・触感や味は何ら違和感なく"良し"であった…これは私の感想です

以上です。

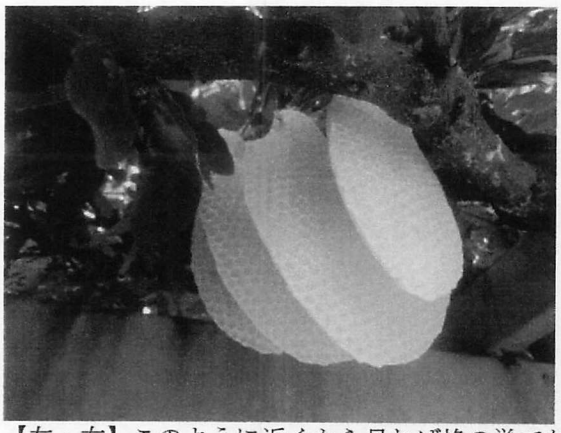
ニホンミツバチの解放巣

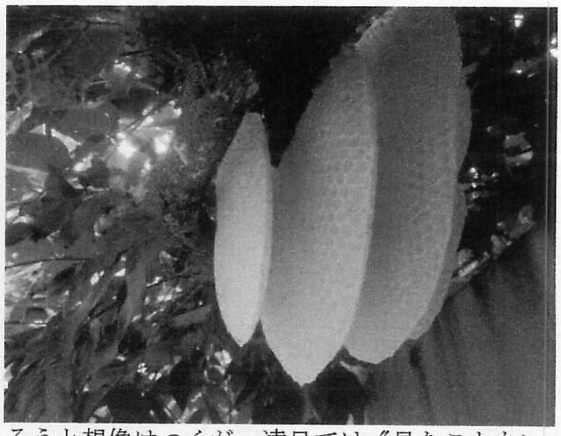
2021.8.10 アップ　（榊原正躬）　写真：2021.8.9 撮影

会員の皆様　こんにちは(^^)/

オリンピックは閉幕しましたが、暑さ、コロナ禍はまだ続くようです。如何お過ごしでしょうか。
さて、
昨日(2021.8.9)、写真のモノを初めて見ましたので紹介します。
結論から言えば、そのモノは、表題の通り、「ニホンミツバチの解放巣」と呼ばれるモノのようです。
何を勘違いして女王蜂がここを選んだかですが、当然、すぐに、放棄…ということです。
知人の知り合いの養蜂業者によると、時々、あるとのことです。
撮影場所は、近隣市町の児童公園の藤棚でした。（もちろん、私が見つけたのではありません）

写真をクリック→ビッグサイズ





【左・右】このように近くから見れば蜂の巣であろうと想像はつくが、遠目では〝見たことないキノコ〟に見える

現場写真

ムカデの卵

2021.10.12 アップ　　（榊原正躬）

このところ(10/12現在)、コロナ新規感染者が極めて少なくなっています。

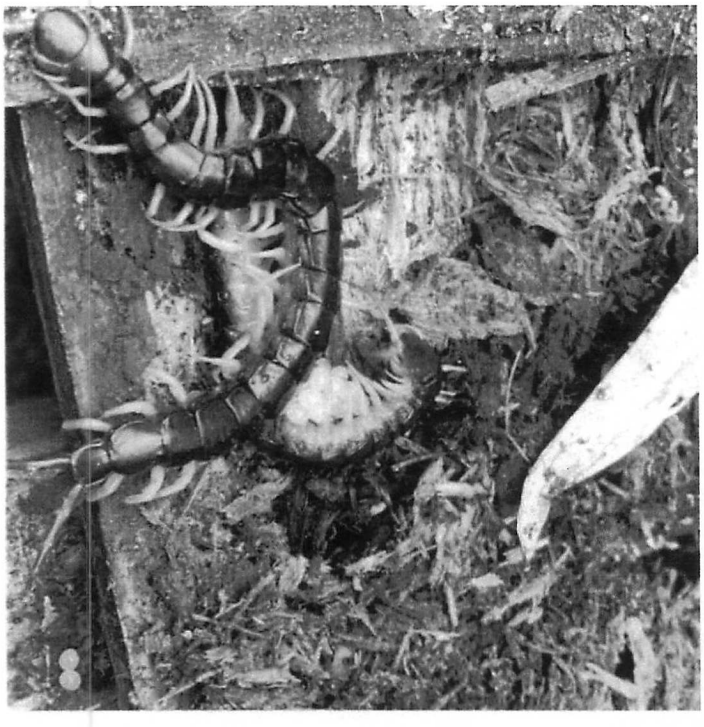
さて、ずーとフェースブックを見てなくて、本日、久しぶりに見てみたら、平松裕規氏（会員）が2021年６月に表題の〝ムカデの卵〟を出していました。

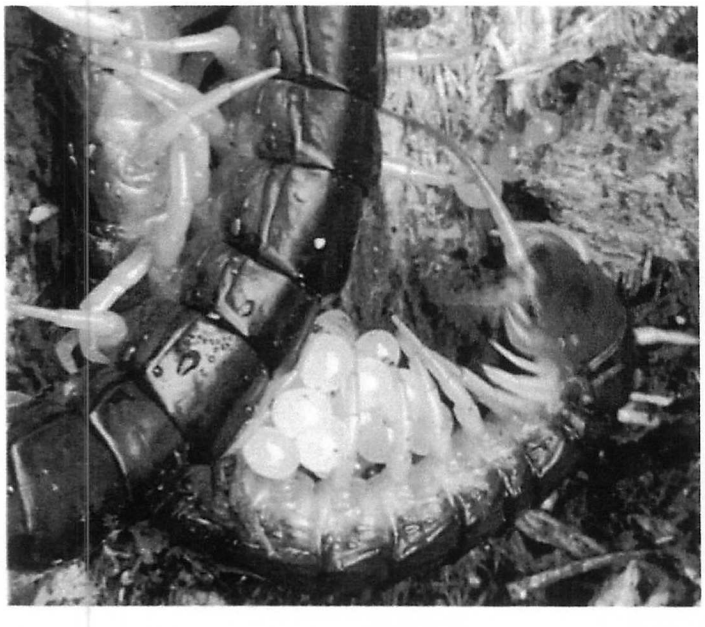
これは図鑑等で写真を見ることはあっても、現実は、なかなか、遭遇することが珍しいと思われるので紹介する次第です。

以下は、当人のフェースブックからのコピーです。

平松 裕規
6月26日 ·

ドラムの小屋を改造してたら、ムカデが産卵中でした。





28

いいね！　コメントする

Y ko Itou
ムカデやらヘビやら・・・(◎_◎;)
いいね！ 返信する 15週間

北井 子
うわっ‼、初めて見ました。
タベも特大のが出没
嫌ですね～
いいね！ 返信する 15週間

H mi Gorai
孵化したらムカデだらけになってしまいそう
いいね！ 返信する 15週間

小泉 子
えー！つがいでいるんですかね？？
ムカデはすごく好きではないけど、すごく嫌い
です。
いいね！ 返信する 15週間

小泉 子
調べたら、母娘なんだそうです！
なんかじーんとしました。娘が卵を守って
母さんが餌を運ぶそう！！
https://rescue.epark.jp/G2_12/C2-12

RESCUE.EPARK.JP
ムカデとはどんな害虫
法や退治の仕方をご紹介

いいね！ 返信する 15週間

石原 一
デカそうですが、何センチ位ですか?
いいね！ 返信する 15週間

＜榊原正躬のコメント＞

２匹のムカデが〝母娘〟とは、この人の〝
い。

なお、冒頭の〝ドラム〟とは、平松氏が食
山の

山羊(ヤギ) の〝名前〟の一つ

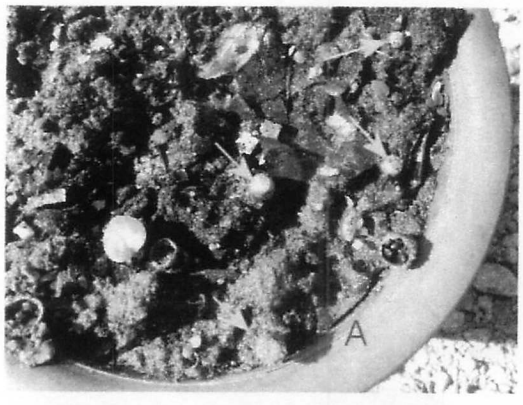
チャダイゴケ　　（キノコの仲間）

2021.12.7 アップ　（榊原正躬）

会員の皆さん　こんにちは　(^^)/

表題のキノコは、前々から、一度見てみたいと思っていたキノコでした。

それが先日(2021.12.4) の観察会「日長神社の紅葉を愛でよう」で見ることが出来ましたので
皆さんにも紹介します。（当日の観察会報告でも写真が掲載済み）
なお、
写真の鉢は、会員の古田氏が「これは何だろうか」っと観察会に持参してきたもので、それを見た会員の降幡氏が、即、「チャダイゴケ」と解説したところでした。



【左図】
植木鉢の土(?) に生えてきたチャダイゴケ
黄矢印にチャダイゴケ
口(?) が開いていたのは[A]だけ
口の径は５㎜程度。これまで図鑑で見てたが、
こんなに小さいモノとは想像してなかったので、
ちょっと、複雑な感動でした。
いずれにしても、この奇妙なキノコに会えたので、
今回の観察会は私にとって、極めて有意義でした。
もっとも、
今日の紅葉谷でも、しっかり探せばあったかも知れません。
全国どこでもあるということですので…。

【左】[上図Ａ]の拡大図　　【右】コップ(?) の中の粒。これにプラス、10粒ほど入っていた

※この粒が何なのか興味ある方はネット上に回答がありますのでご自分で…。
※また、種名はコチャダイゴケと思われますが、とても同定できませんので
「チャダイゴケ」としてあります。

＜追加編集＞
連絡の翌日(2021.12.8)、会員の吉川洋行氏がら写真の添付送付がありましたので紹介します…↓

＜同氏のコメント＞
これは二つ池セレトナでの以前のキノコ観察会の時のものです。たぶんハタケチャダイゴケです。
チャダイゴケ、そんなに珍しいものではないとは思います。二つ池公園などでも見られますし。
変形菌の多い美浜あたりならもっと多いのかなと思いますし。
＜私のコメント＞
こういう紹介写真が多いので、私はこのキノコは、勝手に、２～３ｃｍはあるのだろうと…。
それが、５㎜程度だったので、初めて見たとき、〝複雑な感動〟だった訳です。

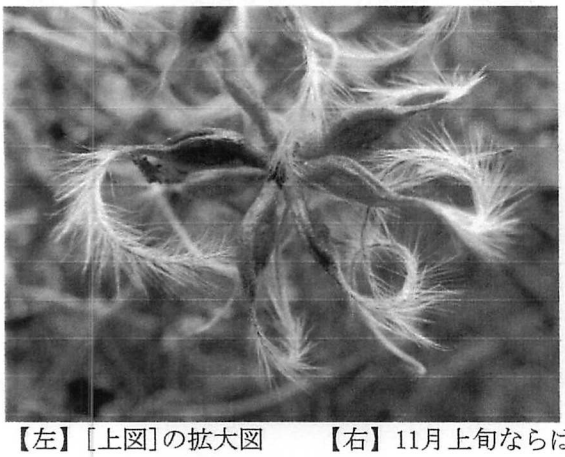
仙人の髭（ひげ）　【センニンソウの果実】

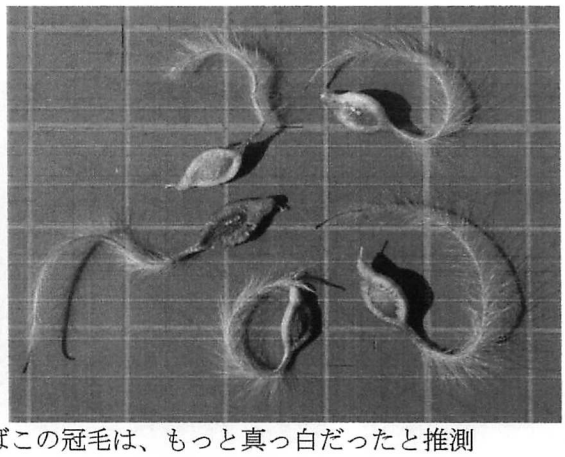
（※ この花 & 髭は知多半島で特別に珍しいということではないですが、昨今は少ない）　2021.12.9
アップ　（榊原正躬）

会員の皆さん　こんにちは　(^^)/

センニンソウの果実に付く冠毛を、私としては初めて撮りましたので、
皆さんに紹介します。
　さて、話は少々長くなりますが…(^_^;)
センニンソウの花を見ることのできる観察会は、私の出席する観察会では９月初旬の武豊の「別曽池」、それと、８月下旬の阿久比の「クロマドホタル」の下見のときだけです。出会えば必ず名前の由来を得意気に説明します。しかし、今までは、今回のような写真（説明用画像）を持っていなかったので、ほとんど説得力は無かったのです。来年からは、この写真を忘れず（？）に持参します。
ところで、
種名の由来は、子どもにも分かりやすいモノがありますが、由来の元となる〝語句〟が現在では子どもにとって〝死語〟、または、死語同然となっているモノも、まま、あります。仙人もそれに近づいているような気がします。そういうことから、得意気な(?) 説明には写真(画像) は必要条件です。
なお、この写真を撮ることになった経緯は後段に記します。

【左図】2011.11.30 撮影（阿久比にて）
センニンソウの果実(?)に付く冠毛。
この羽毛が仙人の髭(ひげ) に似てることが種名の由来。
なお、
この場所のセンニンソウはタタミ３畳(じょう、死語？)ほどの広さで、他の雑草を覆っていたが、この写真のような部分は、ホンの一部分で、あとは、写真にならないようなボロボロだった。
早い話、11月上旬頃が撮るには適しているカモ…。
来年、もっといい写真に頑張ってみます。
　（忘れなかったら）





【左】[上図]の拡大図　　【右】11月上旬ならばこの冠毛は、もっと真っ白だったと推測

【左】阿久比のリース作りの下見で撮ったモノのモノ　　【右】会員 藤井辰子氏の 2021.10.15 のフェースブックのモノ

モグラの捕獲（…を狙って）

2021.12.14 アップ　（榊原正躬）

会員の皆さん　こんにちは　(^o^)/

正直言って、この情報は時期尚早で恐縮です。と言うのは、本日(2021.12.14)、罠(ワナ) を仕掛けたばかりで、実物が獲れていませんし、この先も、獲れるかどうか、むしろ、獲れないであろうと思われるからです。

と、思うのは、"落とし穴" 作戦は、ネット上でもその成果報告が余りなく、"捕獲器" 作戦は、その商品の「取り扱い説明書(取説)」通りに設置できないからです。

なお、設置場所は知人(本会々員) が耕作している広大な畑の縁(ふち) です。

また、仕掛けは、同上の知人やネット、特に後段に掲載の "参考文献"? の情報をもとに仕掛けました。

いずれにしても、モグラをしっかり観たり、撮ったりしたことがないので、挑戦したことです。来年の夏までには、目的を達成したいです。（知多自然観察会のホームページにちゃんとしたモグラの写真がないので…）

（※アドバイス等、歓迎です）→ masami@japan-net.ne.jp（←クリック）

＜落とし穴＞

【左】1.5リットルの筒型ペットボトルの底を切り取るの完成　【右】掘った穴に口を下にして埋める…落とし穴

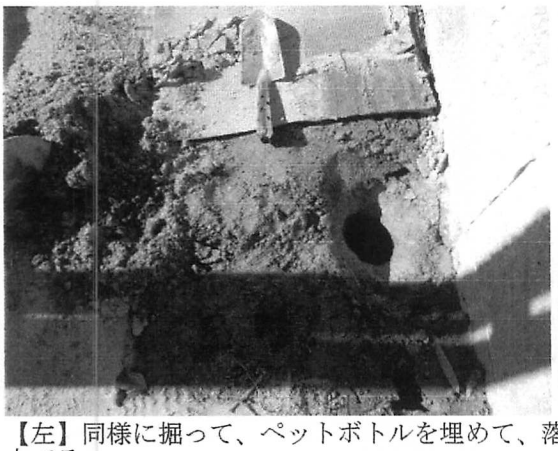
●落とし穴…１ヶ所目

【左・右】畑の境界に住宅のブロック壁が有り、そこの防草シート（?）をめくると、明らかなモグラの通路がある

【左】移植ごてで掘って、ペットボトルを入れて完成　【右】忘れないと思うが、念のため〝マーク〟を立てる

●落とし穴…２ヶ所目

【左・右】10mぐらい離れた場所でめくってみると、〝本通り〟と思われるような通路がある



【左】同様に掘って、ペットボトルを埋めて、落とし穴完成　【右】ここにも、一応、目印のマークを立てる

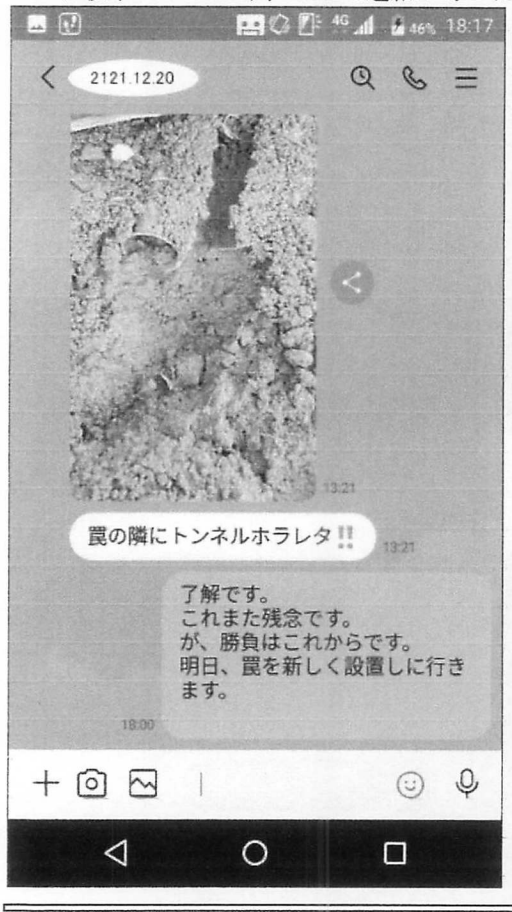
＜市販の捕獲器＞

※ 捕獲器の自作(ＤＩＹ) も考えたが、明らかに市販品の方が手っ取り早い…(^_^;)　※意外と安価

【左】この下には、絶対、モグラの巣があるであろう場所のシートをめくったら、〝本通り?〟がある
【右】早速、捕獲器にその場の土をこすり付ける。もちろん、作業は、すべて、手袋をして行う

【左】この捕獲器は前後どちらから入っても閉じこめられる（両扉式）　【右】設置場所の目印は〝木のふた〟

六日後(2021.12.20)、LINEで連絡があった…↓



「勝負はこれから…」と言うのは…

捕獲器は新品で購入直後のモノだった。
今回は設置の仕方もモグラからすれば違和感ありありだと思う。
こうして春まで埋めておけば、この器具がこの土地の臭いになじむ。
今後、当分寒いので、モグラ捕獲活動は休憩。

従って、
春以降が勝負と言うこと。

＜参考文献＞

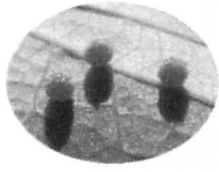
※市販の捕獲器の取説からの写真コピー…↓
【1】

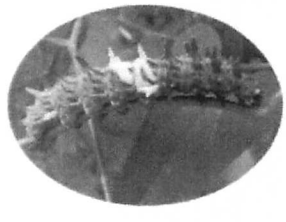
令和３（2021）年度　知多自然観察会役員一覧表

役　名	氏　名	住 所
顧　　問	降幡　光宏	常滑市
代　　表	榊原　　靖	半田市
副 代 表	南川　陸夫	知多市
〃	榊原　正躬	半田市
庶　　務	吉川　　勉	知多市
会　　計	森田　琢磨	常滑市
会計監査	山田　公子	東浦町
〃	牧野　靖子	半田市
阿久比ブロック世話役	平松　裕規	阿久比町
大府　〃	村瀬　由理	大府市
武豊　〃	畠　　烈	武豊町
知多　〃	南川　陸夫	知多市
東海　〃	浅井　一光	名古屋市
常滑　〃	森田　琢磨	常滑市
半田　〃	山田　和男	半田市
東浦　〃	竹内　秀代	東浦町
美南※１　〃	中村　秀樹	美浜町

※１…美浜・南知多ブロック

以上　2021年2月21日
（総会開催日）現在





会員専用ページの内容 … ↓　　※トップページからリンクあり

http://chitakan.com/kaiin/493731.html　　※パスワードあり

1．知多自然観察会　会則

2．知多自然観察会　役員一覧

3．「会員用事業計画」及び「年報」
　※ 年報は 60MB 程度ありダウンロードに時間がかかります。

4．「総会報告」（総会議事録）

5．「役員会報告」（役員会議事録）

6．観察会の運営について

7．観察会の保険と安全について…2015 年２月総会で配付
　※観察会（ブロック主催）中に病院へ行くような
　　ケガが発生した場合（2015 年 10 月 5 日の具体例）

8．保険対象（県協議会へ保険料を納入）行事とは
　　…年間予定表で[協]と記入のある観察会

9．観察会カレンダー
　・エクセル, カラー, A4 判）　　・pdf, カラー, A4 判

10. 観察会の報告(記録)様式

11. 観察用品購入補助金の請求の仕方(申請方法)

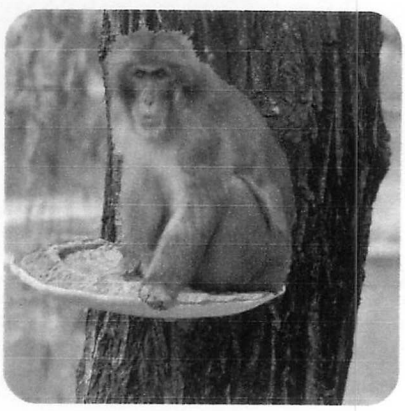
12. 年度途中に入会される方の会費の支払い方

13. 県民センター観察会の実施案の例（2013 年度の実施案）
　・川……130914 県民セ観察会-明徳寺川-実施案-最終版
　・海……130921 県民セ観察会-野間海岸-実施案-最終版
　・公園…131005 県民セ観察会-任坊山公園-実施案-最終版

14. みどりの少年団交歓会-実施案
　・2013 年 10 月 19 日実施の「みどりの少年団交歓会」-実施案-最終版
　・上記[10.][11.]の最終版が出来るまでの過程（日程）

15. 年報の改定案…新しいページ割り当て
　※2008. 2. 17 提案
　※過去の話（掲載しなくても構わない話）

16. 環境省　水性生物調査結果-集計用紙
　エクセル(xls)ファイル　　PDF ファイル



＜右の写真についての説明＞
　サルノコシカケと呼ばれながら、サルが腰かけている写真を見たことがない。それが、2021. 1. 1 にヤフーニュースで見たので、刺激されて、ネット上からサルノコシカケとサルの写真を別々に拝借し、2021. 1. 4 に合成して作ったもの。

持ち寄りギャラリー　（お見せしたい1枚）

「マユタテアカネの顔」2021.10.21 永田 孝

「床板の下にマムシ」2021.4.20 平松裕規

「オオコンボウヤセバチ」2021.10.15 藤井辰子

「蟻地獄のヌシ」2021.12.4 森田琢磨

「羽化直後のジャコウアゲハ ♀」2021.9.7 榊原正躬

「シジュウカラ」2020.12.15 牧野靖子

編　集　後　記

今回の年報も印刷製本を業者に発注です。持ち込んだ原稿の写真印刷ですので校正という過程はありません。即ち、誤字脱字やおかしなレイアウト等すべて出来上がりは担当が編集したとおりです。従って何かありましたら担当の方へご連絡下さい。次年度の年報に反映させて頂きます。

さて、編集面では次回の準備として「持ち寄りギャラリー」を設けましたが、それ以外は例年通りです。

近年は年報作成にあたって会員へ年報に掲載するための記事やイラストなどを募集していませんので年報の内容は「編集にあたって…」に記載したごとく知多自然観察会のホームページにアップされているものばかりです。

その代わりホームページ上の「発表の場」のページはできるだけ投稿どおりに掲載します。なお、「発表の場」のページに投稿したいが[やり方が分からない]という方はワードやエクセルで原稿を作りそれを私（榊原正）へ添付で送信していただければそれをホームページへアップしますので遠慮無く送信して下さい。ただし、投稿者のレイアウト通りに掲載できるとは限りません。

いずれにしても、今回も業者の制作ですので見栄えはＯＫです。内容及び構成は今後とも要検討です。

＜追記＞

今回もコロナ禍での編集でありましたのでそれに関しての一言。昨年と同様で飲み会はもとより喫茶店でのお喋りの誘いも無く、遠出も出来ず、その点では、今回も、編集に打ち込めたと言ったところでしょうか …（^_^;）

（年報担当：榊原正躬）

知多自然観察会
代表　榊　原　　靖
bugweed6493@gmail.com

11月下旬の果実

12月初旬の蝶